SHARP

レーザープリンタ

取扱説明書（共通編）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。（0-1ページに記載しています。）

この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

● **お願い** ●

- この取扱説明書ではこの製品をご使用いただくにあたり、導入者および利用者がお使いのWindowsやMacintoshコンピュータについて実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。
- OS（オペレーティングシステム）に関する事がらについては、必要に応じてOSの説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- この取扱説明書で説明している画面の表示は、お使いのコンピュータの種類や設定により異なる場合があります。
- この取扱説明書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および別売品の使用誤りや、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- この取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

■商標について

- Microsoft、MS、Windows、Windows NT、Windows、 Internet Explorerは 米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM、PC/ATは 米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumは 米国Intel Corporationの登録商標です。
- NEC、PC-9821、PC98-NXは 日本電気株式会社の商標および登録商標です。
- PostScriptは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- セントロニクスは 米国Centronics Data Computer Corporationの登録商標です。
- NetWareは Novell,Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Power Macintosh、MacOS、漢字Talk、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriterは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- PCLは米国Hewlett-Packard Companyの登録商標です。
- その他、取扱説明書の中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために、以下の内容を必ずよくお読みください。

◆ 絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

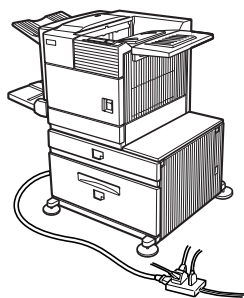
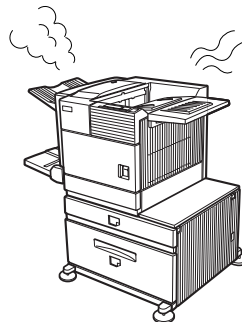
◆ 絵表示の意味

△ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
図の中には、具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

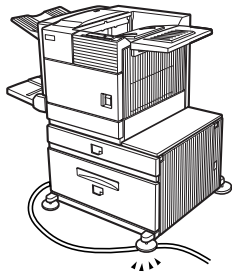
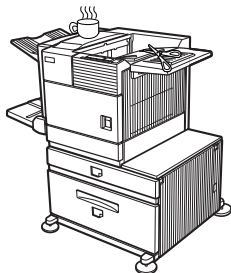
⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。
図の中や近くに、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、しなければならないことを表しています。
図の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

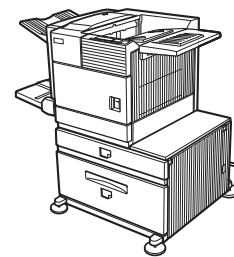
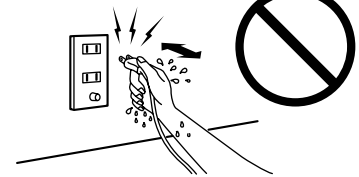
⚠ 警告

電源は15A以上、100Vの専用コンセント（アース端子付）以外で使用しないでください。またタコ足配線はしないでください。それ以外の電源で使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常があるときは、使用しないでください。異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにメインスイッチを切り（ファクス機能が拡張されている場合は、ファクス電源スイッチも切ってください。）、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

⚠警告

雷がなりはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、メインスイッチを切り（ファクス機能が拡張されている場合は、ファクス電源スイッチも切ってください。）、電源プラグをコンセントから抜き、インタフェースケーブルを取りはずしてください。

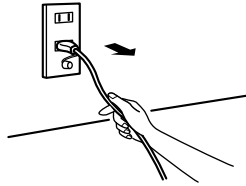
電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

本機の上に水などの入った容器または内部に入り込むおそれのある金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

本機のキャビネットは外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり、
感電のおそれがあります。

本機を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

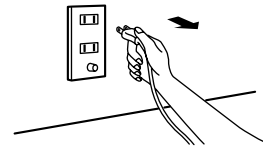
アース線（電源コードとともに出ている黄／緑色のコード）をアース端子（アース工事されているもの）に必ず最初に接続してください。
アース線が接続されておらず、万一漏電した場合は火災、感電の原因となります。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。なお、アース工事は、お買いあげ販売店または電気工事店にご依頼ください。（アース工事は有料です。）

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

万一、金属片や水などが機器の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り（ファクス機能が拡張されている場合は、ファクス電源スイッチも切ってください。）、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そしてお買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。
そのまま使用すると、
火災・感電の原因となります。

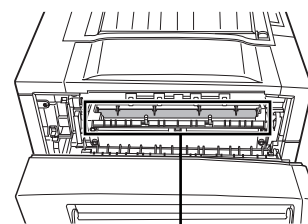
本機を運搬するときは、必ず2人～4人程度で運搬してください。
本機は約50Kg（多目的給紙トレイを含む）の重さがあるため、一人で運搬するとけがの原因となることがあります。
本機の運搬のしかたについては0-6ページの説明を参照してください。

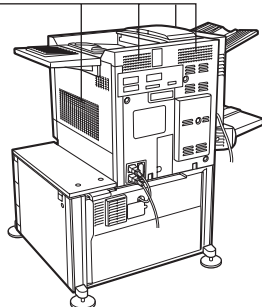
⚠注意

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っぱらないでください。
電源コードを引っぱると、コードが芯線の露出、断線などで傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機を移動させる場合は、メインスイッチを切り（ファクス機能が拡張されている場合は、ファクス電源スイッチも切ってください。）、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（アース線は電源プラグをコンセントから抜いたうえ、最後にはずしてください。）
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また製品の重さに十分耐える場所に設置してください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
各種周辺装置を装着している場合、凹凸になっている床やぐらついた床の上、また傾いた所など不安定な場所には置かないでください。すべり落ちたり倒れたりして危険です。
またこの製品の質量に十分耐えるしっかりと安定した場所に必ず水平状態で設置してください。（各種周辺装置を装着したときの質量目安：約166Kg）
本機の重心は、正面向かってやや左側にあります。
周辺装置の多目的給紙トレイまたは給紙デスクが装着されていない状態で、本機左側の側面カバー（または周辺装置の両面モジュール）を開くと、重みで転倒することがありますのでご注意ください。

長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

定着部は高温になっています。
紙づまりの処置や消耗品の交換などの際は、定着部には触れないでください。やけどをしないよう十分に注意してください。

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがないでください。また、本機の通風孔をふさぐ場所には設置しないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

トナーまたは、トナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投じないでください。
トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。

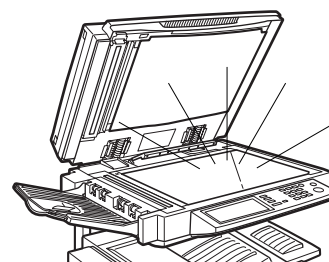
トナーまたは、トナーの入った容器（トナーカートリッジ）は子供の手の届く所へは保管しないでください。

コンピュータと接続する際には、本機とコンピュータの電源を切ってから接続してください。感電の原因となります。

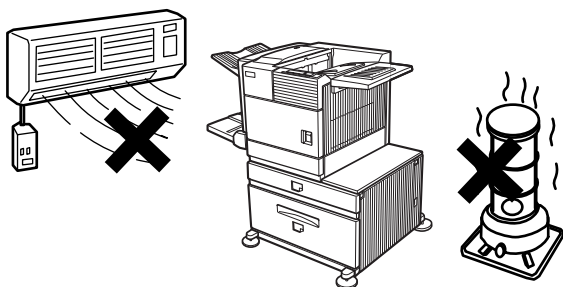
周辺装置の給紙デスクをご使用のときは、必ずアジャスター（すべりどめ）を床面に接触させて、しっかりと固定してください。（5箇所）

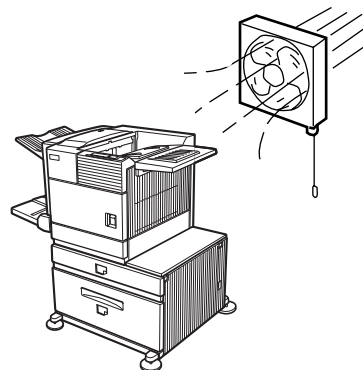
オフィスの模様替えなどで機器を少し移動させるような場合にはアジャスターを解除方向に回して床面から離した上、移動させてください。
（移動後にはアジャスターを元どおり床面に接触させて、機器が移動しないように固定してください。）

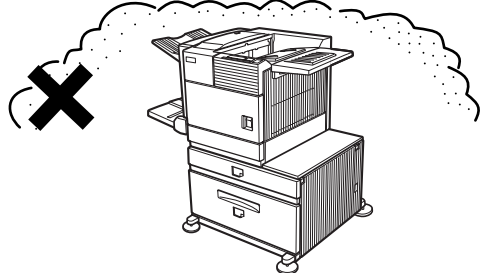
用紙の補給や紙づまりの処置、お手入れのときなど、側面、前面カバーなどを閉じるときや給紙トレイを出し入れするときは、指などをはさまないようにしてください。

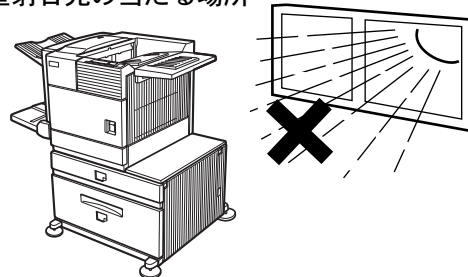
スキャナユニットをご使用のときは光源を直視しないでください。
目を痛めるおそれがあります。

設置場所について

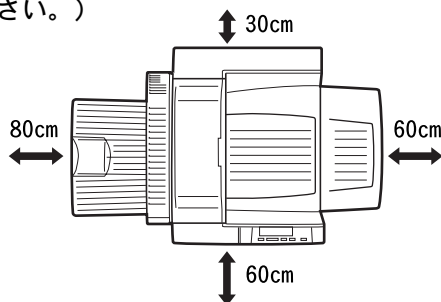
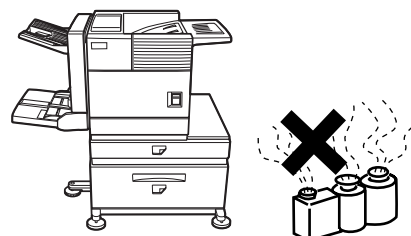
機器の性能は、設置場所の環境条件により影響を受けます。次のような場所には設置しないでください。

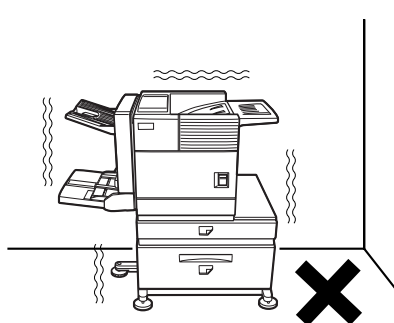
● 高温・高湿・低温・低湿の場所（ストーブ、加湿器、クーラーなどの近く）

● 用紙が湿ったり、機器内部に露が発生し、紙づまりや印刷汚れの原因となります。
（使用環境：温度15℃～30℃、湿度20%～85%）
なお、超音波式の加湿器には加湿器用純水器をご使用ください。
水道水等を給水するとミネラル成分も噴出されるため、機器内部に汚れが付着し、印刷汚れの原因となります。

● 通気性の悪い場所

● 印刷中、機器内部でオゾンが発生します。その量は人体に悪影響をおよぼさないレベルですが、大量に印刷する場合には臭気が気になることがありますので、窓や換気扇のある部屋に設置し、ときどき換気してください。
※窓のそばに設置される場合は直射日光の当たらない場所をお選びください。

● ホコリの多い場所

● 機器内部にホコリが入ると、印刷汚れや故障の原因となります。

● 直射日光の当たる場所

● プラスチック部品が変形したり、印刷汚れの原因となります。

● 機器の周辺は、ゆとりをもって操作のできるスペースを取ってください。通風のためにも必要です。（壁などから下図の寸法程度離して設置してください。）

● アンモニアガスの充満している場所

● ジアゾコピーなどのそばに置くと、印刷汚れの原因となることがあります。

● 振動の多い場所

● 故障の原因となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

ただし、コピー機能、ファクス機能、ネットワークスキャナ機能などが使用できるマルチファンクション（多機能）プリンタに拡張するときに必要な、マルチファンクションコントローラーが装着された状態では、次の文面が適用されます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

- 海外では使用できません。
  この製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では安全規格や、回線のインタフェースの仕様が異なり使用できません。

  <This machine is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>

とくに注意していただきたいこと

- 周辺装置のハードディスクドライブを装着した場合には、振動や衝撃を与えないでください。
  とくに電源を入れた状態では、絶対に移動させないでください。

運搬のしかたについて

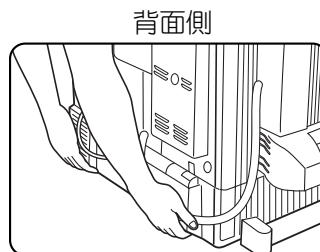
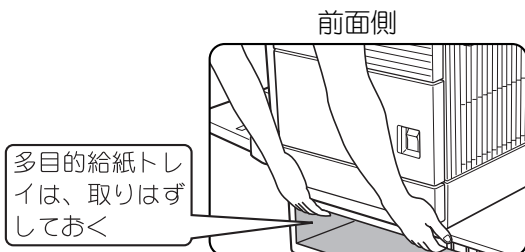
下図の位置を持って水平状態で持ち運んでください。

● お願い ●

- 本機の重心は、正面向かってやや左側にあります。転倒防止のため、力のかけ具合に注意してバランスよく持ち上げ／持ち運びを行ってください。
  周辺装置の両面モジュールが装着されている場合は、特に左側が重くなります。持ち運びの前に、必ず両面モジュール（両面モジュールが装着されていない場合は側面カバー）が本体側に閉じた状態でロックされていることを確認してください。また持ち運びの際、両面モジュールを持たないでください。重みで両面モジュールが本体からはずれ、取り落とす可能性があり、大変危険です。

前面側は、多目的給紙トレイを取りはずしたうえ、図の位置を持ちます。
多目的給紙トレイの取りはずし／取り付けかたについては、4-4ページを参照してください。
多目的給紙トレイは、必ず取りはずしてください。取りはずさずに引き出した状態で持ち運ぶと、腰を痛めたり、手をはさんでけがをする原因となります。

前面側

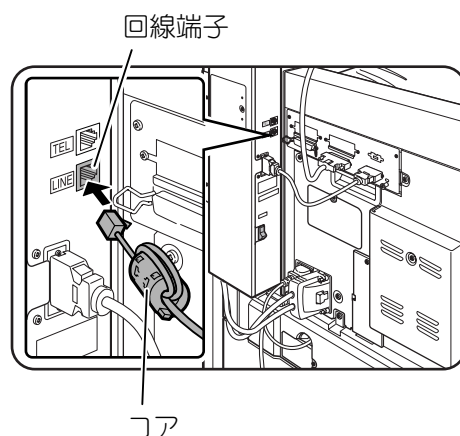
背面側

■ 周辺装置の給紙デスクを装着している場合は

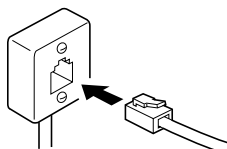
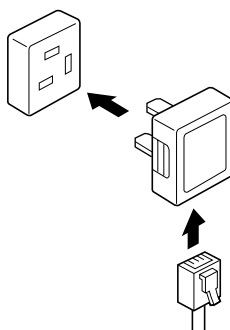
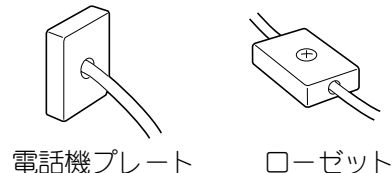
給紙デスクの底面に移動用のキャスターが付いています。給紙デスクのアジャスター（すべりどめ）のロックを解除したうえ、転倒しないようにしっかりとささえながら、ゆっくりと静かに押して移動させてください。
アジャスターのロック解除／ロックのしかたについては、0-4ページを参照してください。

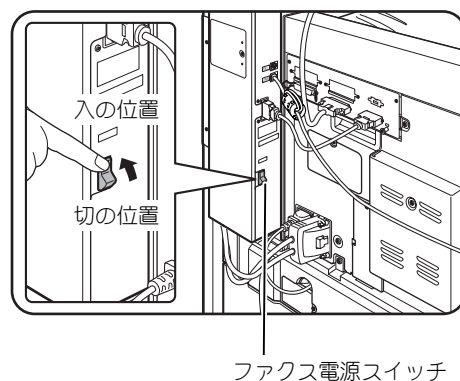
ファクシミリについて

周辺装置のファクス拡張キットにより、本機をファクシミリとしてご使用になるときは、正しくお使いいただくために次のことに注意してください。
なお、ファクス機能の使用方法については、ファクス拡張キットに付属のファクス編取扱説明書をご覧ください。

■ 回線の接続について

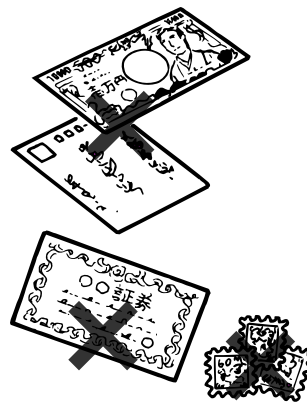
本機器と電話線コンセントとの接続は、必ず付属の接続ケーブルをお使いください。接続する際、図のように接続ケーブルのコアが付いている方を、本機背面に取り付けられたファクス拡張キットの回線端子に差し込んでください。もう一方の端子（コアが付いていない方）は電話線コンセントに差し込みます。

■ 電話線コンセントの種類について

電話線コンセントには、次のものがあります。

■ ファクス電源スイッチについて

本機をファクシミリとしてお使いになるときは、本機背面に装着されたファクス拡張キットのファクス電源スイッチを、いつも“入”にしておいてください（切らないでください）。ファクス電源スイッチが入っていないと、ファクシミリの機能を使用することができません。

複製禁止事項

周辺装置のスキャナユニットの機能を使って読み取り、複製したものを所有するだけで、法律で罰せられることがあります。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券などを複製することは禁止されています。
  たとえ見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
  （通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類の複製も禁止です。（外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律）
- 未使用郵便切手、官製ハガキの類は政府の許可を受けないで複製することは禁止されています。（郵便切手類模造等取締法）
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証紙類などの複製も禁止です。（印紙等模造取締法）

複製に注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数を複製する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手に複製しない方がよいと考えられています。

著作権にも注意すること

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図画、映画および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は複製を禁止されています。

もくじ

第１章　お使いになる前に

第２章　コンピュータから印刷する

第３章　プリンタの基本設定

第４章　機器の管理

第 5 章　周辺装置の使いかた

第 6 章　キーオペレータープログラム

第 7 章　知っておいていただきたいこと

第 8 章　付録

第１章

お使いになる前に

この章は、この製品をお使いいただく前の基本的な知識を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

ページ

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

この製品は各種周辺装置（別売品）を装着することにより、ローカルプリンタからネットワークプリンタへ、さらにコピー機能、ネットワークスキャナ機能、ファクス機能を拡張できるマルチファンクション（多機能）対応プリンタです。

この取扱説明書では、プリンタとして使用する場合の基本的な使いかたをはじめ、用紙補給、紙づまり処置、日常のお手入れなど、機能を拡張した場合においても共通する操作事項について記載しています。
コピー機能、ネットワークスキャナ機能、ファクス機能、ネットワークプリンタ機能を拡張されている場合はそれぞれの取扱説明書が用意されています。操作する機能に応じて、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

周辺装置の略式名称について

次の周辺装置は、取扱説明書上の説明文において説明を簡略化するため、一部を除き、略式の呼び名で表記しています。

「DSPF付スキャナユニット」と「SPF付スキャナユニット」（1-7ページ）
いずれの装置にも共通する機能の説明においては、総称して「スキャナユニット」と表記しています。

- 「スキャナユニット」はコピー機能やファクス機能を使用する際、原稿の画像を読みとるための装置（原稿自動送り装置）となります。「スキャナユニット」のタッチパネル画面に表示されるメッセージでは、「スキャナユニット」のことを「原稿自動送り装置」の呼び名で表記しています。
- 読みとった画像をコンピュータ上で扱える画像データとして利用するためには、本機をネットワークプリンタとして使用できる状況に加え、周辺装置のネットワークスキャナ拡張キットが必要です。

「両面モジュール」（1-7ページ）
用紙の両面に出力を行うための装置です。この装置には「両面モジュール」単体と、用紙を手差し給紙でセットできる手差しトレイが付加されたタイプの「手差しトレイ付き両面モジュール」とがあります。本書では、一部のページを除き、これら両方の装置を総称して「両面モジュール」と表記した上、「手差しトレイ付き両面モジュール」を基準とした説明を行っています。したがって手差しトレイに関する説明は「手差しトレイ付き両面モジュール」でのみ対象となります。また「両面モジュール」の説明ページにおいて、排紙トレイが装着された状態のイラストを使用しておりますが、この排紙トレイは、単体タイプの「両面モジュール」では別売品となります。（付属品ではありません。）

「３段給紙デスク」と「大容量給紙デスク」（1-7ページ）
いずれの装置にも共通する機能の説明においては、総称して「給紙デスク」と表記しています。

この取扱説明書に記載の原稿/用紙サイズ表記について

本機では、インチ系の定形サイズやAB系の定形サイズの原稿/用紙に対応しております。本機で対応している定形用紙サイズは、次の通りです。

サイズ名		ミリメートル換算した寸法
英数カナ表示の操作パネルでの表記	タッチパネル式の操作パネルでの表記	
レジャー	11x17	279×432mm
リーガル	8-1/2x14	216×356mm
フルスキャップ	8-1/2x13	216×330mm
レター	8-1/2x11	216×279mm
エグゼクティブ	7-1/4x10-1/2	184×267mm
インボイス	5-1/2x8-1/2	140×216mm

この取扱説明書では、インチ系サイズの表記について、タッチパネル式の操作パネルでの表記に準じています。

原稿/用紙サイズの「R」表記について

縦長方向および横長方向のいずれの向きでもセットできるサイズの原稿や用紙（A4、B5、8-1/2x11サイズなど）の場合、横長方向でのセット状態を示すときは、サイズの後に「R」を付けて表記（A4R、B5R、8-1/2x11Rなど）し、縦長方向でのセット状態と区別しています。（縦長方向でのセット状態を示すサイズ表記では「R」は付きません。）
なお横長方向でしかセットできないサイズ（A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13）については、この区別を必要としないため「R」を付けずに表記しています。

「R」が付いているサイズ表記　A　横長方向でのセット状態

「R」が付いていないサイズ表記　A　縦長方向でのセット状態（ただし横長方向でしかセットできないサイズを除く）

おもな特長

用途に応じて機能を拡張できるマルチファンクション対応プリンタ

周辺装置の組み合わせによって、ローカルプリンタからネットワークプリンタへ、さらにコピー機能、ネットワークスキャナ機能、ファクス機能を拡張できるマルチファンクション(多機能)対応プリンタです。両面出力を行うための両面モジュール、用紙を大量にストックしておける増設用の給紙装置、出力された用紙を仕分けする排紙装置など、生産性を向上させる別売品の周辺装置が各種用意されています。

600dpiの高解像度印刷

600dpiの高解像で、精細かつ高品位な美しい印刷が行えます。しかもスムージング処理時は1200dpi相当の高画質で出力されます。

モノクロ高速印刷

A4サイズで、1分間に35枚あるいは45枚の出力スピード。

PostScriptに対応

PS3拡張キットにより、本機をPostScript互換プリンタとして使用できます。(PostScript3対応)

国際エネルギースタープログラムに適合

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

省エネルギー機能について

環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすための工夫として、国際エネルギースタープログラムのガイドラインに準拠した、次のような2つの省エネルギー機能を備えています。

予熱モード

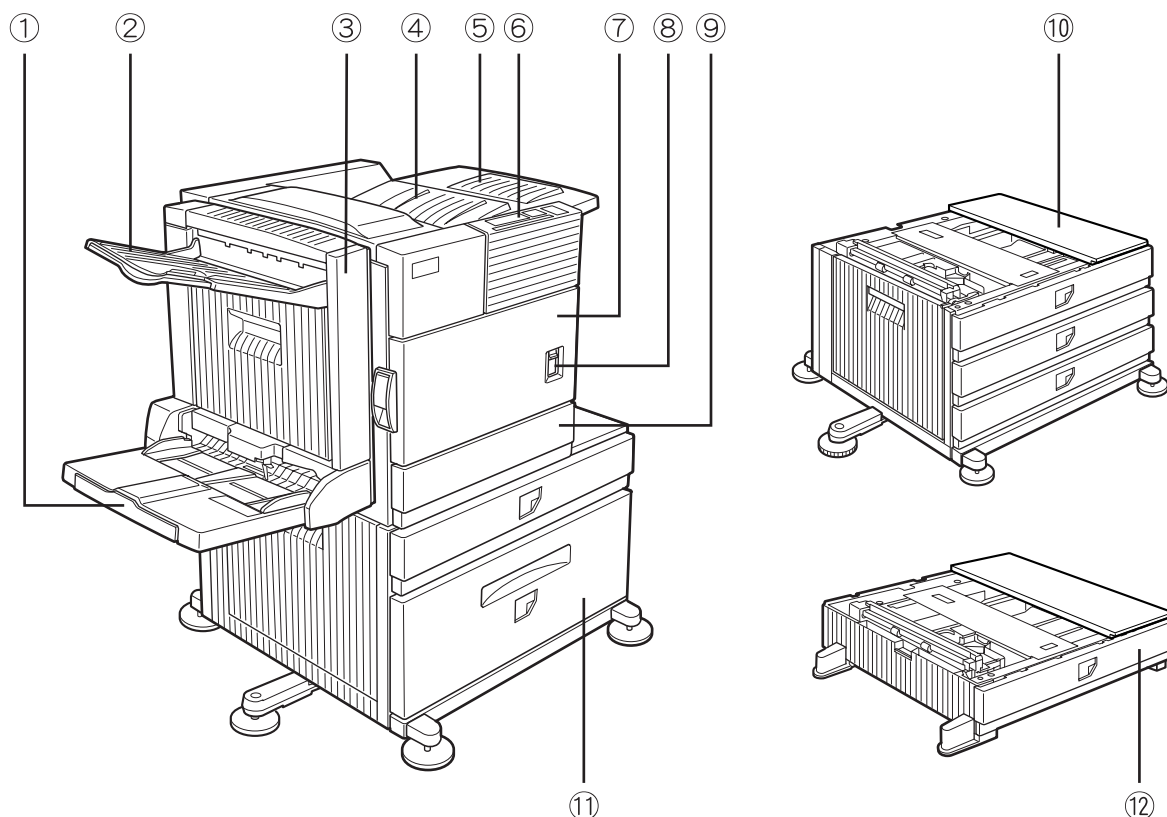
予熱モードとは、待機状態のときキーオペレータープログラムで設定された時間が経過すると、自動的に定着部の温度を下げて低消費電力状態で待機する機能です。

オートパワーシャットオフモード

オートパワーシャットオフモードとは、待機状態のときキーオペレータープログラムで設定された時間が経過すると、自動的に表示部や定着部の電源を切り、最も低消費電力な状態で待機する機能です。予熱モードと比べ、節約される電力は大きくなりますが、復帰時間は長くなります。このモードはキーオペレータープログラムではたらかないようにすることができます。

プリンタ機能として使用しているときは、予熱モードおよびオートパワーシャットオフモード状態のときに印刷データを受信すると、それぞれのモードは自動的に解除され、定着部の温度が復帰した後、印刷動作を開始します。
本機は、印刷データの受信およびファクス受信時、また操作部のキー操作やコピー、ファクス用の原稿セット操作などが行われると、それぞれのモードは自動的に解除されます。

各部のなまえとはたらき

外観

① **手差しトレイ（手差しトレイ付き両面モジュールの一部分）**※1

② **排紙トレイ**※1**（手差しトレイ付き両面モジュールの一部分）**

③ **両面モジュール**※1
両面プリントを行うためのモジュールです。

④ **上部排紙トレイ**
プリントされた用紙がここに出てきます。

⑤ **上部排紙トレイ延長モジュール**※1
A3、B4サイズなどのプリントされた用紙の落下を防ぐ延長台です。

⑥ **操作パネル（1-9ページ）**

⑦ **前カバー**
トナーの補給などを行うときに開けます。

⑧ **メインスイッチ**
電源を入／切するスイッチです。

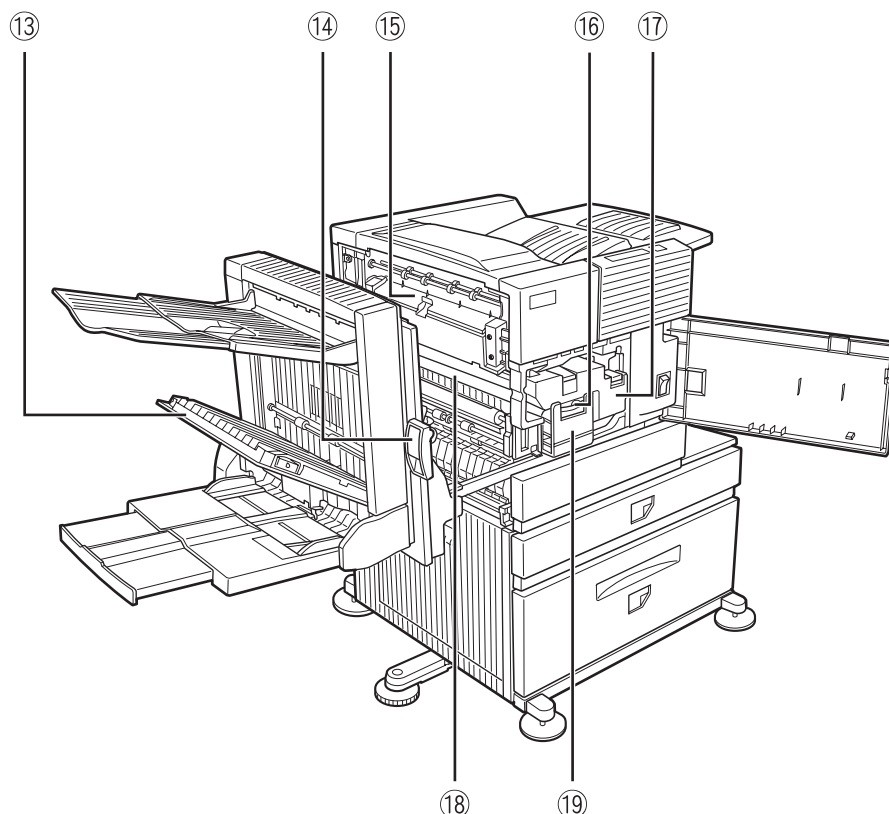
⑨ **1段給紙トレイ**

⑩ **3段給紙デスク**※1**（1-23ページ）**

⑪ **大容量給紙デスク**※1**（1-24ページ）**

⑫ **多目的給紙トレイ**※1**（1-21ページ）**

※1 ①、②、③、⑤、⑩、⑪、⑫は周辺装置です。これらの装置についての説明は1-7ページをご覧ください。
周辺装置の構成は、お買いあげの製品によって異なります。
なお、⑩、⑪、⑫の装置については、本機をお使いいただくためにいずれかの装着が必要です。（⑩または⑪の装置を装着する場合は、周辺装置の電源ユニット（1-8ページ）の装着も必要です。）

内部

⑬ **両面モジュール側面カバー**
両面モジュールで紙づまりしたときに開けます。

⑭ **側面カバー開閉つまみ**
本体で紙づまりしたときなど、このつまみを押し上げながら側面カバーを開けます。

⑮ **定着部**
用紙上に転写された画像を熱により定着させるところです。

⚠ 注意
定着部は高温になっています。紙づまりの処置の際には、やけどをしないよう十分に注意してください。

⑯ **現像カートリッジ**※2
デベロッパー（現像剤）が入っている容器です。交換時期がきたら取り出して、新しいカートリッジと交換します。（別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書に現像カートリッジの交換方法が記載されていない場合は、お客様での交換操作は行いません。）

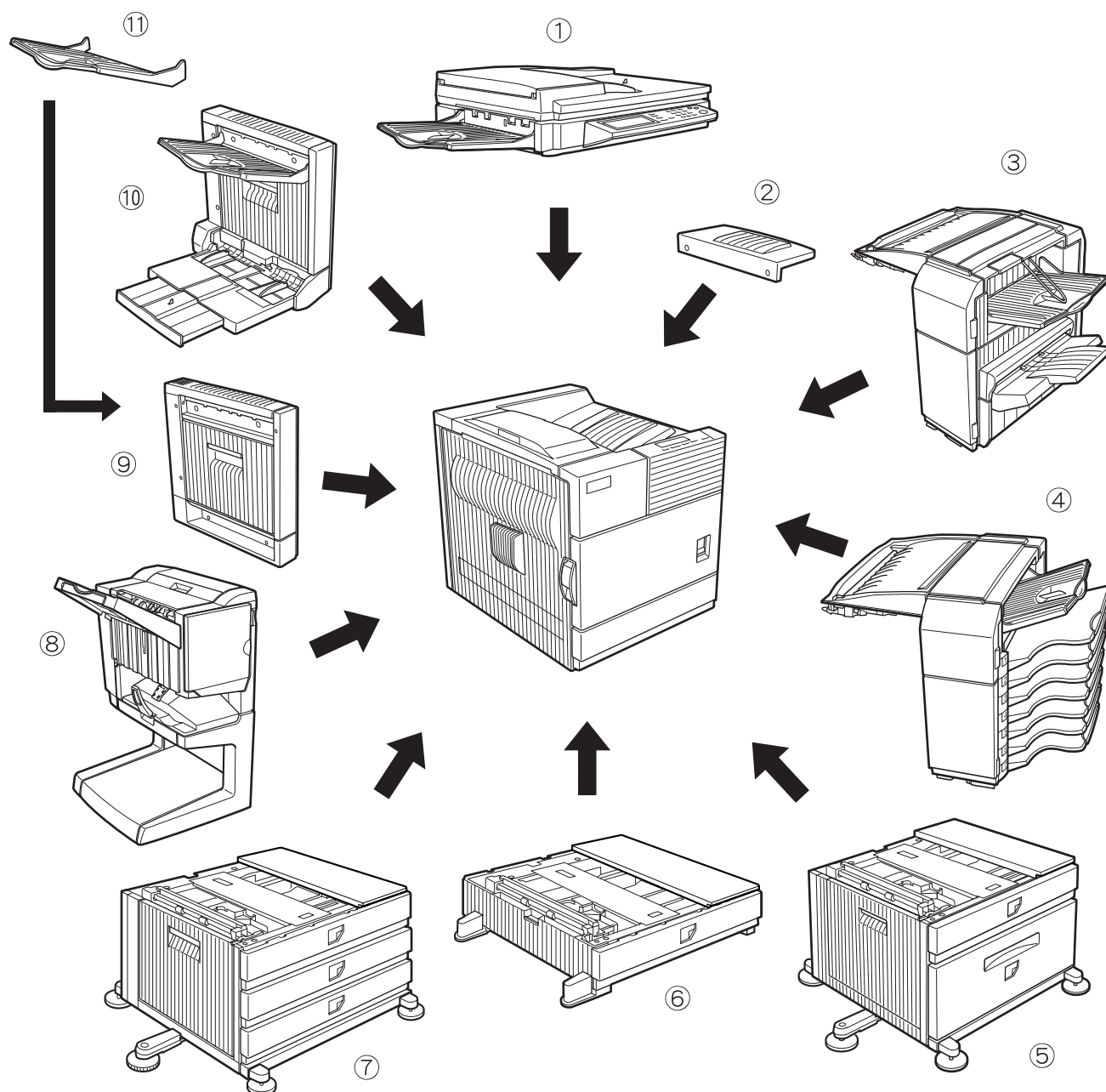
⑰ **トナーカートリッジ（ドラム／トナーカートリッジ）**※2
トナーが入っている容器です。トナーがなくなったら取り出して、新しいカートリッジと交換します。

⑱ **感光体ドラム**
表面に感光体を塗布したドラムです。この感光体上に画像が形成されます。

● **お願い** ●
触れたり、キズをつけたりしないようにしてください。

⑲ **カートリッジロックレバー**
トナーカートリッジなどを交換する際、このレバーを手前に倒して引き出します。

※2　各カートリッジの交換/装着方法については、別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書をご覧ください。

周辺装置のなまえとはたらき

① **DSPF付スキャナユニット（AR-EF1）またはSPF付スキャナユニット（AR-EF2）**
シート原稿を自動的に給紙搬送し、連続読み取りが行えるモノクロスキャナです。
DSPF（Dual Single Pass Feeder）付スキャナユニットは、両面シート原稿に対応し、表と裏面の画像を一度に読み取ることができます。ＳＰＦ（Single Pass Feeder）付スキャナユニットは、片面シート原稿の読み取りに対応しています。
いずれも給紙搬送ができないブック原稿や厚手原稿などの読み取りが行えるフラットベッドタイプの原稿台も備えています。

② **上部排紙トレイ延長モジュール（AR-TE4）**
上部排紙トレイに取りつけます。A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13サイズの用紙を出力する場合に必要です。

③ **フィニッシャー（AR-FN6）**
ページ順あるいはページごとに仕分けされた出力紙を取り出しやすく1部ずつずらして出紙することができます。
また、ページ順に仕分けされた出力紙をステープルすることができます。

④ **メールビンスタッカ（AR-MS1）**
7段のビン（棚板）を装備した出力紙の仕分け装置です。プリンタモードで出力する際、プリンタドライバで出紙させるビンを指定することができます。あらかじめビンごとに個人別、部門別などによって利用者を区分けしておき、利用者がそれぞれ所定のビンに出力することで、他の区分けの利用者による出力紙と明確に分別された仕分けを行うことができます。
コピー、ファクスモードでの出力紙は、7段のビンとは別の最上段のトレイに出紙されます。

⑤ **大容量給紙デスク（AR-D13）**
2段のトレイを備えた給紙装置です。上段は多目的給紙トレイと同等のトレイです。下段のトレイにはA4サイズの標準紙(64g/m²紙)を約2200枚収納することができます。

⑥ **多目的給紙トレイ（AR-MU1）**
用紙を収納します。標準紙(64g/m²紙)で約550枚入ります。また官製ハガキや封筒（指定サイズのみ）などの特殊紙をセットすることができます。

⑦ **３段給紙デスク（AR-D14）**
３段のトレイを備えた給紙装置です。最上段は多目的給紙トレイと同等のトレイです。下2段のトレイにはそれぞれ標準紙(64g/m²紙)で約550枚入ります。

⑧ **サドルフィニッシャー（AR-FN7）**
ページ順あるいはページごとに仕分けされた出力紙を取り出しやすく1部ずつずらして出紙することができます。またページ順に仕分けされた出力紙をステープルしたり、用紙中央にステープルして中折りする中とじ製本が行えます。
さらに周辺装置のパンチユニットを装着すれば、出力紙にファイリング用のパンチ穴をあけることができます。

⑨ **両面モジュール（AR-DU3）**
自動両面プリントを行うための装置です。

⑩ **手差しトレイ付き両面モジュール（AR-DU4）**
自動両面プリントを行うための装置と用紙を手差し給紙でセットできる手差しトレイを装備しています。

⑪ **排紙トレイ（AR-TE3）**
単体タイプの両面モジュールの出紙口に取り付けます。

1

ある周辺装置を装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの「周辺装置組み合わせリスト」をご覧ください。
周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた製品によっては、一部標準装備されているものもあります。

■ その他の周辺装置

- **スキャナラック（AR-RK1）**
  スキャナユニットを装着するために必要な置き台です。高さは固定式です。

- **電源ユニット（AR-DC1）**
  周辺装置を装着する場合、電源を供給するために必要な装置です。

- **プリント・サーバー・カード（AR-NC5J）**
  ネットワークプリンタとして使用するために必要なNICカード(Network Interface Card：ネットワークインタフェースカード)です。

- **マルチファンクションコントローラー（AR-M11）**
  コピー、ファクス、ネットワークスキャナ機能を使用するために必要なプリンタコントローラーです。

- **PS3拡張キット（AR-PK1）**
  本機をPostScript互換プリンタとして使用する場合に必要なキットです。（PostScript3対応）

- **ハードディスクドライブ（AR-HD3）**
  プリンタ、コピー機能での画像の読み込み容量を拡張します。（ファクス機能では使用しません。）またプリンタ機能で、送られてきたプリントデータをすぐに出力せずにいったん保留するジョブリテンション機能(2-9ページ)を使用する場合に、この装置の装着が必要です。

- **ファクス拡張キット（AR-FX5）**
  ファクス機能を使用するために必要なキットです。

- **ハンドセット（AR-HN5）**
  受話器のセットです。ファクス機能を拡張した際、通話する場合に必要です。

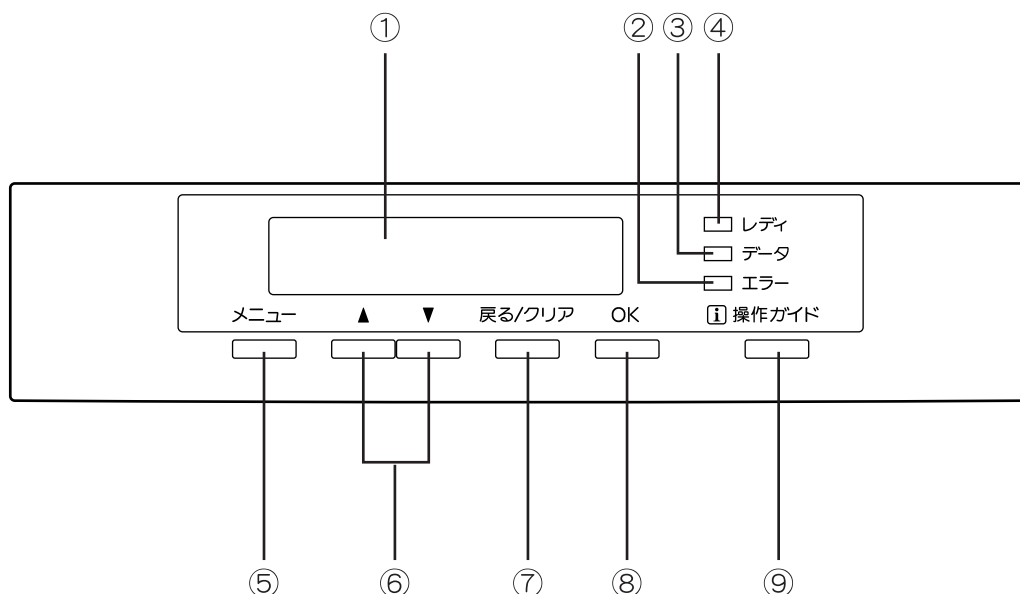
- **ファクス用増設メモリー （8MB）（AR-MM9）**

- **ネットワークスキャナ拡張キット（AR-NS2）**
  ネットワークスキャナ機能を使用するために必要なキットです。

- **済みスタンプユニット（AR-SU1）**
  スキャナユニットを使用して読み込みの終わった原稿に常に済スタンプを押す場合に必要なユニットです。

ある周辺装置を装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの「周辺装置組み合わせリスト」をご覧ください。
周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた製品によっては、一部標準装備されているものもあります。

操作パネル

本機の前面にある操作パネルのディスプレイと表示ランプは、プリンタの現在の状態を表示します。またプリントするために必要な設定を、操作パネル上のキーで設定することができます。

① **メッセージ表示部**
プリンタの現在の状態を英数カナ文字で表示しています。
メッセージで表示される［ｉ］は［操作ガイド］キーを表します。

② **[エラー]ランプ**
用紙やトナーの補給が必要になった時や紙づまりの際に点灯します。また本機に異常が生じたとき点滅します。

③ **[データ]ランプ**
プリントデータを受信中やプリント中に点灯または点滅します。またジョブリテンション機能（2-9ページ）でジョブデータが保存されているときにも点灯します。

④ **[レディ]ランプ**
このランプが点灯している時、プリントデータの受信ができます。

⑤ **[メニュー]キー**
プリンタ環境設定（3-2ページ）、ユーザー設定（3-13ページ）、ジョブリテンション機能（2-9ページ）で保存されているジョブデータの印刷の実行など、各種のメニューグループを選択します。また各メニューグループの設定画面から、ジョブ状況画面に戻るとき押します。

⑥ **[▲/▼]キー**
各メニュー／機能を選択したり、数値の設定をするときに押します。

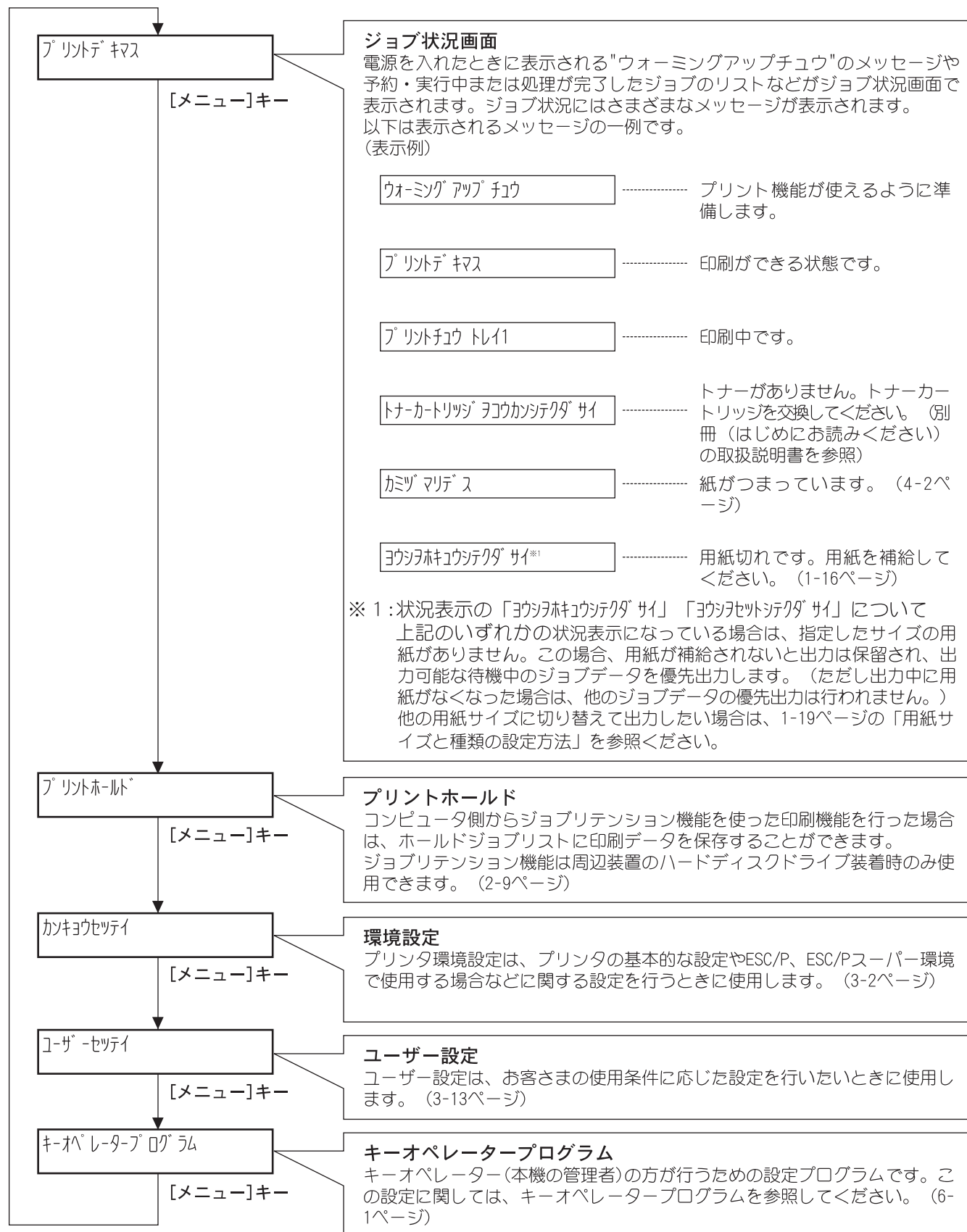
⑦ **[戻る／クリア]キー**
各メニュー選択時に前の画面に戻りたいときや、実行中ジョブの中止および削除、あるいは選択した待機中ジョブを削除する場合などに、このキーを使用します。

⑧ **[OK]キー**
選択されたメニュー／機能を決定します。

⑨ **[操作ガイド]キー**
紙づまりを知らせるメッセージとともに［ｉ］の文字が表示されているときは、［操作ガイド]キーを押すと簡単な操作手順をメッセージでお知らせします。操作手順をお知らせしているときに、［操作ガイド]キーをもう一度押すか［戻る／クリア]キーを押すと、［操作ガイド]の表示モードは解除されます。印刷中や待機状態のとき、このキーを押すと押している間、総印刷枚数とトナーの残量情報が表示されます。

メニューグループ一覧とキー操作補足（英数カナ表示の操作パネルを使用している場合）

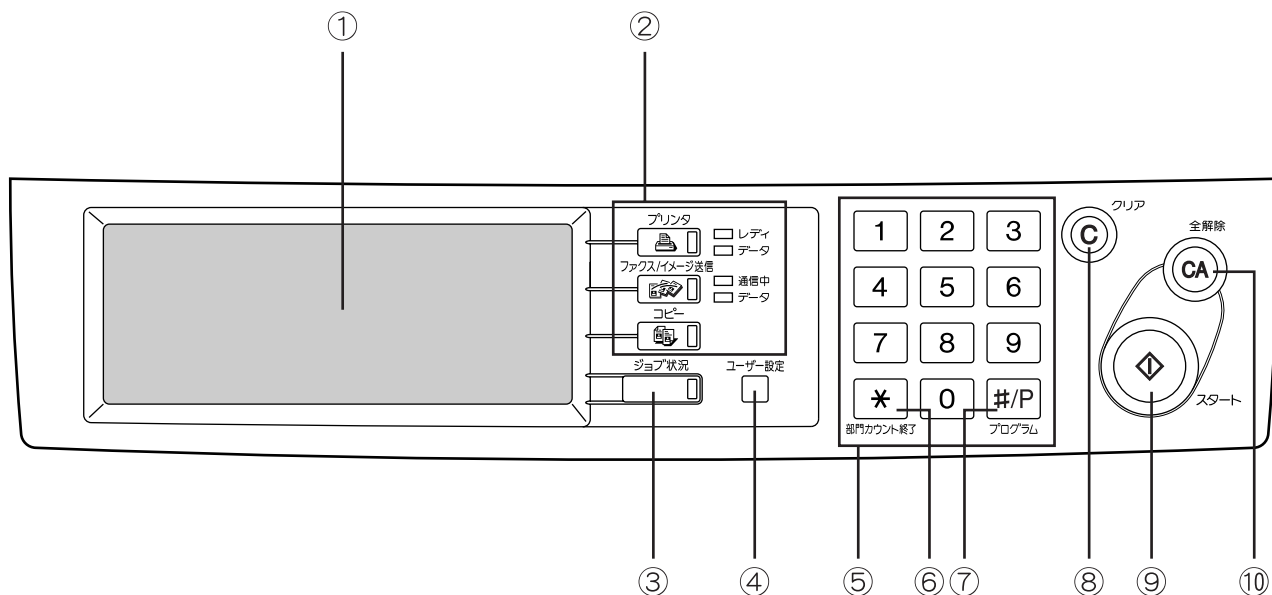
メニューグループは下記のように5種類に分類されています。各種メニューグループの選択は[メニュー]キーで選択します。目的のメニュー画面が表示されているときに[OK]キーを押すと次の操作に必要なメッセージが表示されます。

1

本機側で印刷を中止し、印刷データを削除するには…

- **実行中の印刷を中止し、その印刷データを削除したい場合**
  印刷中に[戻る/クリア]キーを押すと、印刷を中断してデータを削除するかについての確認のメッセージが表示されます。データを削除する場合は、[OK]キーを押してください。
  削除するのをやめる場合は、 [OK]キーを押さずに[戻る/クリア]キーを押すと、印刷が再開されます。

- **予約中（出力待ち）の印刷データを削除したい場合**
  コンピュータから送られた印刷データは、本機のメモリーに蓄積（最大99件まで）され、順次出力されます。
  印刷が開始される前に、出力待ちの印刷データを削除したいときは、[▲/▼]キーを押して、削除したいデータをメッセージ表示部に表示させてください。この状態で[戻る/クリア]キーを押すと、そのデータを削除するかについての確認のメッセージが表示されます。データを削除する場合は、[OK]キーを押してください。
  削除するのをやめる場合は、 [OK]キーを押さずに[戻る/クリア]キーを押すと、印刷が行われます。

操作パネル（スキャナユニット装着時）

周辺装置のスキャナユニットを装着している場合、操作パネルはスキャナユニットにあるタッチパネル式のものを使用します。

① **タッチパネル**
メッセージやキーが表示されます。表示されるキーを直接タッチして操作することができます。プリンタ、コピー、ネットワークスキャナ、ファクスモードの各機能ごとに画面表示を切り替えて使用します。詳しくは次ページを参照してください。

② **モード選択キー／表示ランプ**
タッチパネルの表示モードを切り替えるときに使用します。

[プリンタ]キー／レディランプ／データランプ
プリンタモードの画面に切り替えるとき押します。（次ページ）

・**レディランプ**
このランプが点灯している時、プリントデータの受信ができます。

・**データランプ**
プリントデータを受信中に点灯または点滅します。またプリント中にも点灯または点滅します。

[ファクス／イメージ送信]キー／通信中ランプ／データランプ
ネットワークスキャナ／ファクスモードの画面に切り替えるとき押します。（別冊のファクス編取扱説明書を参照）

[コピー]キー※1
コピーモードの画面に切り替えるとき押します。

③ **[ジョブ状況]キー**
現在のジョブ状況を表示させるとき押します。（1-14ページ）

④ **[ユーザー設定]キー**
タッチパネルの画面コントラスト調整、キーオペレータープログラムの設定などを行うときに使用します。（3-13ページ）

⑤ **数字キー（10キー）**
各種設定の数値入力に使用します。

⑥ **[⁎]キー（[部門カウント修了]キー）**※1
コピー機能、ファクス機能使用時に使用します。

⑦ **[#/P]キー（[プログラム]キー）**※1
コピー機能時はプログラムキーとして、ファクス機能時はダイヤルするときに使用します。

⑧ **[C]キー（クリアキー）**※1
コピー機能、ファクス機能使用時に使用します。

⑨ **スタートキー**※1
コピー機能、ファクス機能使用時に使用します。

⑩ **[CA]キー（[全解除]キー）**※1
コピー機能、ファクス機能使用時に使用します。

※1 別冊のコピー編取扱説明書を参照

タッチパネル（スキャナユニット装着時）

プリンタモード画面

プリンタモード選択時に表示される画面です。
（他のモードでは表示画面が異なります。他のモードでの表示画面については、それぞれの取扱説明書を参照ください。）

① **メッセージ表示部**
ここにメッセージが表示されます。

② **ジョブ状況画面（次ページ）**

③ **プリントホールドリスト**
ジョブリテンション機能（2-9ページ）を使用している場合は、ここに保存されているプリントデータのリストが表示されます。（最大100件）
ジョブリテンション機能は周辺装置のハードディスクドライブ装着時のみ使用できます。
ここに保持されているプリントデータはメインスイッチを切ると消去されます。

④ **画面切り替えキー**
表示されているプリントホールドリストのページを切り替えます。リストが1画面に表示しきれない場合、次画面がありますので、このキーで画面を切り替えてください。
ここに保持されているプリントデータはメインスイッチを切ると消去されます。

⑤ **[環境設定]キー**
プリンタ環境設定メニュー画面（3-2ページ）に切り替えます。

ジョブ状況画面（プリンタ、コピー、ネットワークスキャナ、ファクスモード共通画面）

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと表示される画面です。
予約・実行中または処理が完了したジョブのリストが表示されます。この画面でジョブの内容を確認したり、予約中のジョブの印刷順位を最上位に移動したり、中止したいジョブを削除したりできます。（以下の画面は予約・実行中のジョブリストが表示されている状態です。）

① **ジョブリスト**
予約・実行中または処理が完了したジョブのリストが表示されます。各ジョブ名の頭についているアイコンは、次のように各ジョブのモードを表しています。

ネットワークスキャナモード

ファクスモード（着信ジョブ）

予約・実行中のジョブリストが表示されているときは、リスト上のそれぞれのジョブがキーになっています。出力中止や最優先での出力などを行う場合は、目的のジョブのキーをタッチして選択した上、後述の⑦、⑧、⑨のキーで行いたい操作を実行してください。

※1:状況表示の「用紙切れ」について
状況表示が「用紙切れ」になっている場合は、指定したサイズの用紙がありません。この場合、用紙が補給されないと出力は保留され、出力可能な待機中のジョブデータを優先出力します。（ただし出力中に用紙がなくなった場合は、他のジョブデータの優先出力は行われません。）
指定したサイズの用紙がすぐに用意できないなどの理由で、他の用紙サイズに切り替えて出力したい場合は、ジョブリスト上のそのジョブのキーをタッチして選択した上、⑨の[詳細]キーをタッチすると、用紙サイズ指定を変更することができます。

② **モード切り替えキー**
ジョブリストの表示を「予約・実行中のジョブ」か、「処理が完了したジョブ」かに切り替えます。
「予約/実行中」：予約・実行中のジョブリストを表示します。
「完了」：処理が完了したジョブリストを表示します。

③ **[プリント]キー**
すべてのモード（プリンタ、コピー、ネットワークスキャナ、ファクス）の印刷ジョブリストを表示させます。

④ **[E-MAIL/FTP]キー**
ネットワークスキャナ機能を使用するジョブのみのジョブリストを表示させます。

⑤ **[ファクス]キー**
ファクスの通信状況と送信予約状況を表示させます。

⑥ **画面切り替えキー**
表示されているジョブリストのページを切り替えます。

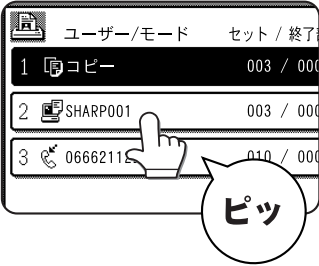
⑦ **[中止/削除]キー**
実行中ジョブの中止および削除、あるいは選択した予約ジョブを削除します。ただしファクス受信プリントジョブの中止/削除はできません。

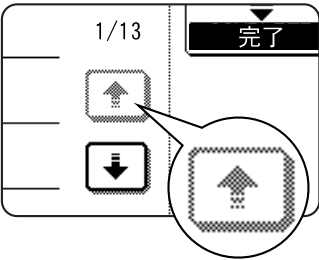
⑧ **[優先]キー**
「予約・実行中」のジョブリストにある予約ジョブの中から、優先させたいジョブを選択した上、このキーをタッチすると、そのジョブの予約順を最優先に繰り上げることができます。

⑨ **[詳細]キー**
選択したジョブのより詳細な情報を表示させます。指定されている出力用紙サイズを変更することもできます。ただし、ファクス受信プリントジョブを選択したときは使用できません。

タッチパネルについて

■ タッチパネルの使いかた

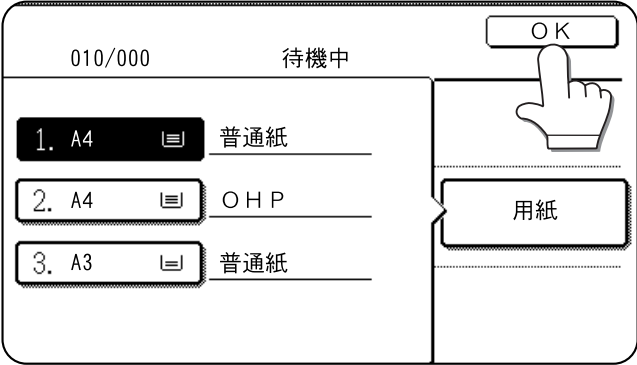
【例 1】

指で画面上のキーをタッチすることによって、各機能の設定や解除を簡単に行うことができます。またキータッチ音（ピッ）や白黒反転表示によって、選択の確認をすることができます。

【例 2】

各画面で選択できない項目は、キーがグレー表示されます。またタッチしてもキータッチ音（ピピッ）が鳴り、選択できないことを知らせます。

キーオペレータープログラムにより、キータッチ音を鳴らさないように設定することもできます。（6-9ページ）

この取扱説明書の中で説明しているタッチパネル（画面）はイメージです。

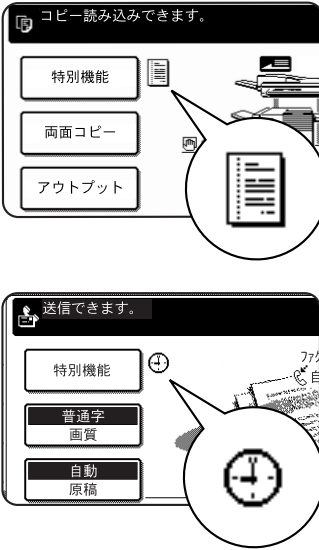
■機能の選択について

【例 1】

各設定画面で最初から反転表示されているキーがあるときには、そのまま[OK]キーをタッチすると、その機能が確定します。

【例 2】

コピー機能やファクス機能使用時、特別機能画面のキーをタッチするだけで設定することができる下記の機能は、反転表示（機能設定状態）されたキーをもう一度タッチすることによって、設定を解除（反転表示解除）することができます。

コピー機能	ファクス機能
●1セット2コピー ●大量原稿モード	● ポーリング ● 発信元印字 ● ページ分割

【例 3】

コピー機能やファクス機能使用時、特別機能を設定すると、設定された機能のアイコンが表示されます。このアイコンをタッチすると、その機能の設定画面（あるいはメニュー画面）に切り替わりますので、設定内容の確認や変更、または機能の解除が簡単に行えます。

用紙を補給する

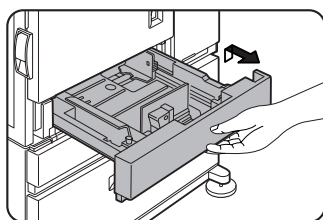
印刷中に用紙がなくなると、用紙がなくなったことをお知らせするメッセージが表示されます。

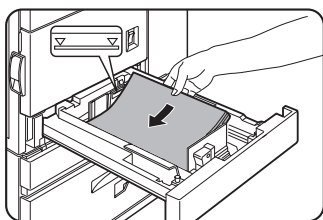
次の手順に従って用紙を補給してください。

● **お願い** ●

- カールしたり折れ曲がっている用紙は使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- １段給紙トレイにセットする用紙は、シャープ標準用紙をご使用ください。（1-18、1-25ページ）
- １段給紙トレイに補給した用紙のタイプとサイズを変更した場合は、「用紙サイズと種類の設定方法」（1-19ページ）に従って、用紙のタイプとサイズを設定してください。
- トレイを引き出したときに重い物をのせたり、上から強く押さえつけたりしないでください。

１段給紙トレイへの用紙補給

1 １段給紙トレイを引き出す

トレイを止まるところまで静かに引き出してください。

2 用紙をトレイに入れる

指示線をこえない枚数（シャープ標準用紙で約550枚まで）をセットしてください。

3 １段給紙トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

4 用紙の種類（タイプ）を設定する

補給した用紙のタイプをそれまでセットされていたタイプから変更した場合は、「用紙サイズと種類の設定方法」（1-19ページ）に従って、用紙のタイプを必ず設定してください。

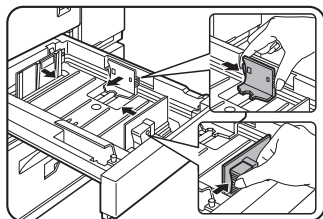
5 以上で１段給紙トレイの補給が終了しました

１段給紙トレイの用紙サイズの変更方法

１段給紙トレイはA４、B5、8-1/2x11サイズの用紙をセットできます。必要に応じて以下の手順でサイズを切り換えてください。

1 １段給紙トレイを引き出す

トレイに用紙が残っているときは、取り除いてください。

2 トレイ内の仕切り板A,Bを、用紙の縦と横のサイズに合わせる

仕切り板A,Bはスライド式です。固定ノブをつまみながら、スライドさせて補給する用紙サイズに合わせてください。

3 用紙をトレイに入れる

4 １段給紙トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

5 用紙サイズと用紙の種類（タイプ）を設定する

「用紙サイズと種類の設定方法」（1-19ページ）に従って、用紙サイズと用紙の種類を必ず設定してください。
トレイの用紙サイズを変更した際に、この操作を行っていない場合は、選んだ用紙サイズと違った用紙に印刷されたり、また紙づまりの原因となります。

6 以上で１段給紙トレイの用紙サイズの変更が終了しました

各トレイの仕様（各トレイで使用できる用紙の種類とサイズ）

各トレイで使用できる用紙の種類とサイズの仕様は次の通りです。

<table>
<tr><th colspan="2">給紙トレイの種類</th><th>トレイ番号
（トレイ名称）</th><th colspan="2">使用できる用紙の種類</th><th>使用できる用紙サイズ</th><th>用紙質量</th></tr>
<tr><td colspan="2">１段給紙トレイ</td><td>トレイ１</td><td colspan="2">普通紙（次ページの「使用できる普通紙の補足説明」参照）</td><td>・A4、B5、8-1/2x11</td><td>60～105g/m^2</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">多目的給紙トレイ
／手差しトレイ</td><td rowspan="4">トレイ２
／手差しトレイ</td><td colspan="2">普通紙（次ページの「使用できる普通紙の補足説明」参照）</td><td>・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「インチの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:11x17、8-1/2x14、8-1/2x11、8-1/2x11R、7-1/4x10-1/2R、5-1/2x8-1/2R
・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「ABの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、8-1/2x13
・不定形サイズ</td><td>60～128g/m^2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特殊紙（次ページの「使用できる特殊紙の補足説明」参照）</td><td>・厚紙
・ラベル紙、OHPフィルム</td><td>・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「インチの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:8-1/2x11、8-1/2x11R
・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「ABの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:A4、A4R、B5、B5R
・A4または8-1/2x11サイズより小さい不定形サイズ</td><td rowspan="3">次ページ特殊紙の備考欄参照</td></tr>
<tr><td>はがき</td><td>・官製ハガキ</td></tr>
<tr><td>封筒（手差しトレイからは使用できません）
使用できる封筒の質量は75～90g/m^2</td><td>・使用できる定形サイズ封筒
:COM-10、Monarch、DL、C5、ISO B5
・不定形サイズ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">３段給紙デスク</td><td>上段</td><td>トレイ２</td><td colspan="4">多目的給紙トレイと同一</td></tr>
<tr><td>中段</td><td>トレイ３</td><td colspan="2" rowspan="2">普通紙（次ページの「使用できる普通紙の補足説明」参照）</td><td rowspan="2">・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「インチの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:11x17、8-1/2x14、8-1/2x11、8-1/2x11R、7-1/4x10-1/2R、5-1/2x8-1/2R
・用紙サイズと種類の設定方法（1-19ページ）で「ABの自動」を選択すると次の用紙サイズが自動検知で使用できます。
:A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、8-1/2x13</td><td rowspan="2">60～105g/m^2</td></tr>
<tr><td>下段</td><td>トレイ４</td></tr>
<tr><td rowspan="2">大容量給紙デスク１</td><td>上段</td><td>トレイ２</td><td colspan="4">多目的給紙トレイと同一</td></tr>
<tr><td>下段</td><td>トレイ３</td><td colspan="2">普通紙（次ページの「使用できる普通紙の補足説明」参照）</td><td>・A4、8-1/2x11</td><td>60～105g/m^2</td></tr>
</table>

■ 使用できる普通紙の補足説明

使用できる普通紙は次の制約があります。必ず用紙に合った正しい方法で給紙してください。誤った給紙方法で用紙を使用されますと、定着不良（印刷用紙へのトナーの融着力が弱くなり、こすると画像が消える現象）、斜め送り、紙づまり、故障などの原因となります。

		AB系のサイズ紙	インチサイズ紙
		A5～A3サイズ	5-1/2x8-1/2～11x17
普通紙	シャープ標準用紙（1-25ページ）	64g/m^2	――――
	シャープ標準用紙以外の普通紙の制約	60～105g/m^2	
・リサイクルペーパー、カラーペーパー、パンチ紙、印刷済み用紙、レターヘッド紙などの用紙を使用するときは上記普通紙と同じ制約があります。			

■ 使用できる特殊紙の補足説明

使用できる特殊紙は次の制約があります。誤った用紙を使用されますと、定着不良（印刷用紙へのトナーの融着力が弱くなり、こすると画像が消える現象）、斜め送り、紙づまり、故障などの原因となります。

	種類	備考
特殊紙	厚紙	・A5サイズ～A4サイズ（5-1/2x8-1/2～11x17）の用紙は60g/m^2～128g/m^{2}までの厚紙が使用できます。 ・A4サイズを越える大きさ～A3サイズ（8-1/2x11を越える大きさ～11x17）は60g/m^2～105g/m^{2}までの厚紙が使用できます。 ・その他特定の厚紙 ：インデックス紙（176g/m^2）が使用できます。 ：カバー紙（200～205g/m^2）が使用できます。 ただし、用紙サイズはA4または8-1/2x11以下で用紙送りは縦長方向のみ使用可能です。A5または5-1/2x8-1/2の場合の用紙送りは横長方向のみ使用可能です。
	OHPフィルム、ラベル紙 ハガキ用紙、第２原図用紙	・これらの用紙はシャープ推奨紙をご使用ください。 ・ラベル紙について 推奨紙以外のラベル紙を使用しないでください。接着面の接着剤が機器内に付着することがあり、紙づまりや印刷汚れ、また故障の原因となります。
	はがき	官製ハガキが使用できます。往復はがき、私製はがき、絵はがきは使用しないでください。紙づまりや印刷汚れの原因となります。
	封筒	・使用できる定形サイズ封筒 ：COM-10、Monarch、DL、C5、ISO B5 ・質量は75～90g/m^{2}までの封筒が使用できます。 （封筒は手差しトレイから使用できません）

● お願い ●

- のし紙
  表面を金紛で加工してあるものや、毛ばだちのひどいものは使用しないでください。印刷汚れの原因となります。
- ノート用紙
  手で破ったままの紙は使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- わら半紙
  毛ばだちのひどいものは使用しないでください。印刷汚れの原因となります。
- 一般に市販されている普通紙、特殊紙にはさまざまな種類のものがあり、なかにはこの製品で使用できないものもあります。ご使用になる際は、お買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

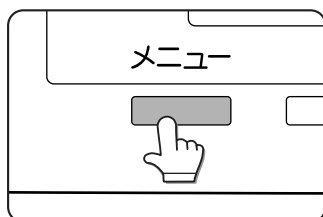
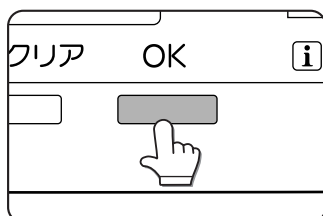
用紙サイズと種類の設定方法

トレイの用紙サイズまたは用紙の種類を変更したときは、次の手順に従ってそれぞれの設定をしてください。
各トレイで使用できる用紙サイズと種類については1-17ページを参照してください。

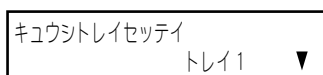
1

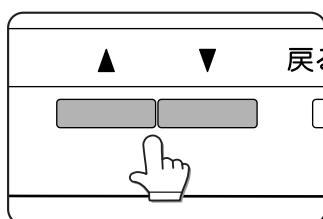
英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

※タッチパネルの操作パネルを使用している場合の用紙サイズと種類の設定方法は次ページにあります。

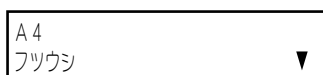
1 メッセージ表示部に「ﾕｰｻﾞｰｾｯﾃｲ」が表示されるまで[メニュー]キーを押す

2 [OK]キーを押す

[OK]キーを押すとメッセージ表示部に「ｷｭｳｼﾄﾚｲｾｯﾃｲ」が表示されます。

3 [OK]キーを押す

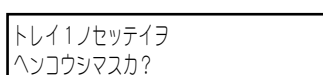
ｷｭｳｼﾄﾚｲｾｯﾃｲ
ﾄﾚｲ1 ▼

[OK]キーを押すと左記のメッセージが表示されます。

4 目的の給紙トレイを選ぶ

目的の給紙トレイが表示されるまで操作パネルの▲キーまたは▼キーを押してください。

5 [OK]キーを押す

手順4で選択した用紙トレイの用紙サイズと用紙種類が表示されます。

- トレイ1を選択した場合は、初期状態で左記のメッセージが表示されます。

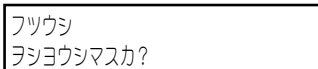
6 ▼キーを押す

ﾄﾚｲ1ﾉｾｯﾃｲｦ
ﾍﾝｺｳｼﾏｽｶ?

- 手順4でトレイ1を選択した場合は、左記のメッセージが表示されます。

7 [OK]キーを押す

設定変更を中止したいときは、[OK]キーを押さずに[戻る/クリア]キーを押すと手順4に戻ります。

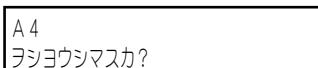
8 トレイにセットした用紙の種類を選択する

ﾌﾂｳｼ
ｦｼﾖｳｼﾏｽｶ?

- トレイにセットした用紙の種類が表示されるまで▲キーまたは▼キーを押してください。

> メモ 厚紙、ラベル紙、OHPフィルム、官製ハガキはトレイ2または手差しトレイで設定できます。
> 封筒は、トレイ2のみで設定できます。

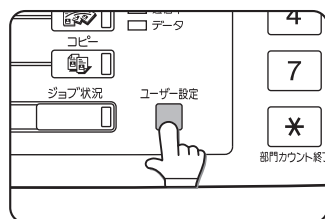
9 [OK]キーを押す

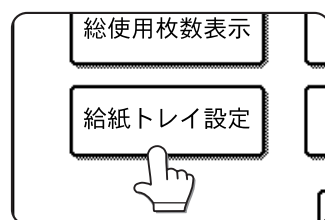
10 トレイにセットした用紙サイズを選択する

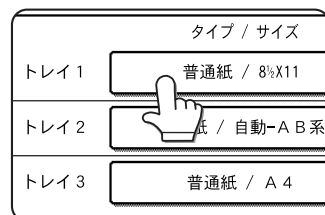
A4
ｦｼﾖｳｼﾏｽｶ?

- トレイにセットした用紙の種類が表示されるまで▲キーまたは▼キーを押してください。
- 選択したトレイによっては、設定する用紙サイズとして「AB-ｼﾞﾄﾞｳ」と「ｲﾝﾁ-ｼﾞﾄﾞｳ」が表示されます。
  「AB-ｼﾞﾄﾞｳ」：AB系サイズの用紙をセットしたときに選択します。
  「ｲﾝﾁ-ｼﾞﾄﾞｳ」：インチ系サイズの用紙をセットしたときに選択します。
  変更前と異なる系列サイズの用紙をセットした場合（AB系サイズの用紙からインチ系サイズの用紙に変更したとき、またはその逆の場合）に、該当する方を選択してください。（同じ系列サイズでトレイの用紙サイズを変更した場合は、この設定を変更する必要はありません。）
- 不定形サイズの用紙をトレイにセットしたときは、「ﾌﾃｲｹｲｻｲｽﾞ」を選択してください。「ﾌﾃｲｹｲｻｲｽﾞ」は手順4でトレイ2または手差しトレイを選択したとき設定できます。

11 [OK]キーを押して設定操作を終了する

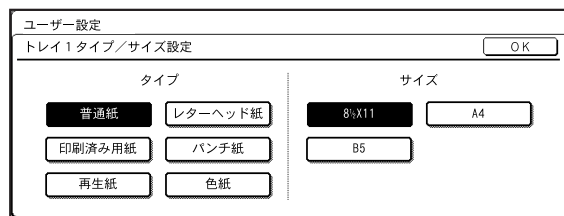
タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

1 [ユーザー設定]キーを押す

ユーザー設定メニュー画面が表示されます。

2 [給紙トレイ設定]キーをタッチする

給紙トレイ選択画面が表示されます。

3 目的の給紙トレイを選ぶ

目的の給紙トレイが表示されていないときは、[↑]キーまたは[↓]キーをタッチすると画面を切り換えることができます。

4 トレイにセットした用紙の種類（タイプ）と用紙サイズを選ぶ

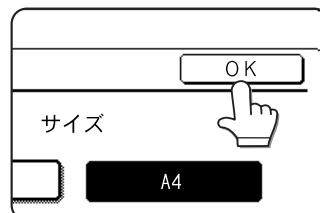
●手順3でトレイ1を選択した場合

反転表示している用紙の種類（タイプ）と用紙サイズが選択されています。目的の種類（タイプ）とサイズが選ばれていないときは、希望の種類とサイズをタッチしてください。

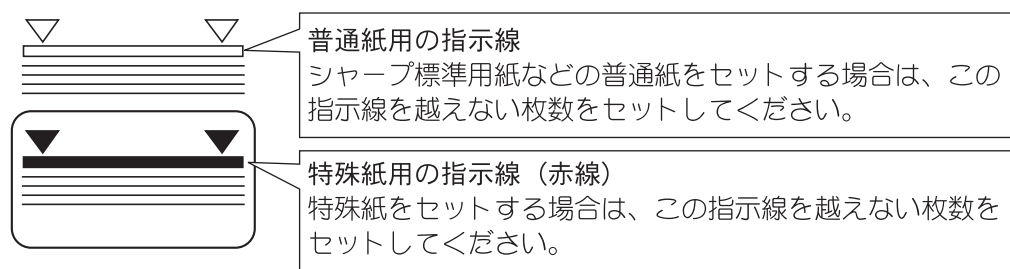
用紙の種類（タイプ）について

OHPフィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙はトレイ2または手差しトレイで設定できます。
封筒は、トレイ2のみで設定できます。

用紙サイズについて

- 選択したトレイによっては、設定する用紙サイズとして「自動-AB系」と「自動-インチ系」のキーが表示されます。
  「自動-AB系」：AB系サイズの用紙をセットしたときに選択します。
  「自動-インチ系」：インチ系サイズの用紙をセットしたときに選択します。
  変更前と異なる系列サイズの用紙をセットした場合（AB系サイズの用紙からインチ系サイズの用紙に変更したとき、またはその逆の場合）に、該当する方を選択してください。（同じ系列サイズでトレイの用紙サイズを変更した場合は、この設定を変更する必要はありません。）
- 不定形サイズの用紙をトレイにセットしたときは、不定形サイズキーをタッチしてチェックマーク☑を付けてください。
  不定形サイズキーは手順３でトレイ２または手差しトレイを選択したとき表示されます。

5 [OK]キーをタッチして設定操作を終了する

多目的給紙トレイへの用紙補給

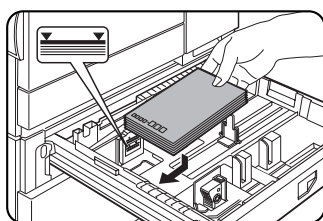
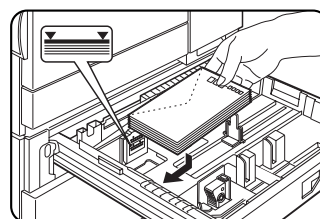
多目的給紙トレイへの用紙補給の手順は、本体標準装備の１段給紙トレイの用紙補給と同様です。1-16ページの説明を参照して用紙を補給してください。
ただし多目的給紙トレイは、次の点について1段給紙トレイと異なります。
・普通紙は最大A3からA5R（11x17から5-1/2x8-1/2）までの用紙をセット可能
・普通紙以外にも、特定の特殊紙をセット可能
・一度にセットできる用紙枚数の上限の目安を示す指示線が、次のように普通紙用と特殊紙用の二段表示になっています。

セットできる特殊紙については、1-17ページの「各トレイの仕様（各トレイで使用できる用紙の種類とサイズ）」を参照してください。なお多目的給紙トレイに官製ハガキ、封筒およびOHPフィルムをセットする場合は、下記（1-21～1-23ページ）の「官製ハガキ/封筒のセットについて」および「OHPフィルムのセットについて」をよくお読みください。

■ 用紙サイズの変更方法について

多目的給紙トレイに用紙をセットする際、それまでセットされていた用紙から、用紙サイズをAB系からインチ系（またはその逆）に変更したり、特殊紙をセットするなどして用紙の種類（タイプ）が変更された場合は、ユーザー設定の給紙トレイ設定を変更する必要があります。この場合は、1-19ページの「用紙サイズと種類の設定方法」の説明に従って、必ず設定を変更してください。

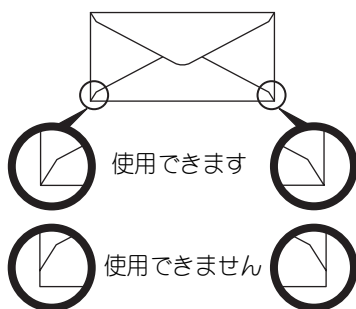
■ 官製ハガキ／封筒のセットについて

多目的給紙トレイに官製ハガキおよび封筒をセットする場合は、それぞれ図のような向きで、特殊紙用の指示線（赤線）を越えないようにセットしてください。

【官製ハガキのセット例】
必ず印刷したい面を上向きにし、郵便番号記入欄が図のような位置になる向きでセットしてください。

【封筒のセット例】
封筒は宛名面にのみ印刷できます。必ず宛名面を上向きにし、郵便番号記入欄が図のような位置になる向きでセットしてください。

官製ハガキと封筒をセットする場合に共通する注意事項

- 両面印刷はしないでください。紙づまりや写り不良の原因となります。
- 熱転写およびインクジェットプリンタなどであらかじめ印刷したものは使用しないでください。特にリボンカセットを使うワープロなどの熱転写方式のプリンタで印字したものを使用すると、印字した文字がはがれたり、印刷汚れの原因となります。
- セットする前にハガキや封筒のカールはよくのばしてください。シワ寄り、紙づまりや写り不良の原因となります。

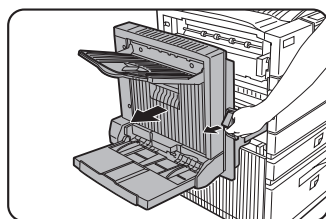
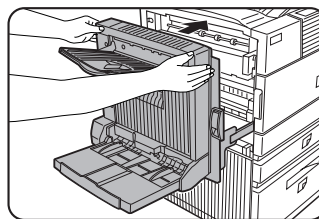
封筒をセットする場合の注意事項

- 次のような封筒は使用しないでください。紙づまりや定着不良、また故障の原因となります。
  金属片またはプラスチックのホックやリボンフックなどがついているもの、糸で閉じるようになっているもの、窓がついているもの、裏あてがついているもの、箔押しやエンボス加工など表面に凸凹のあるもの、二重封筒、封をするための接着材やその他合成物がついているもの、手作り封筒、中に空気が入っているもの、しわや折り曲げ跡、切れ目など損傷のあるもの
- エンボス加工など表面に凸凹のあるものは、シワ寄りや汚れが発生する場合があります。
- 高温多湿時には、封をするための接着材がついているものは使用できません。
- 封筒裏側の角部分の貼り合わせ位置が角の先端からずれているものは、シワ寄りの原因となるため、使用できません。

定着部圧力調整レバーについて

周辺装置の多目的給紙トレイに封筒をセットして印刷する際、使用条件を満たしている封筒を使用しているのに、シワ寄りや印刷汚れが発生する場合は、定着部の圧力調整レバーを"通常位置"から"圧力を弱める位置"に動かすことによって軽減できる場合があります。
このような場合は、以下の手順に従って定着部圧力調整レバーを操作してください。

● **お願い** ●

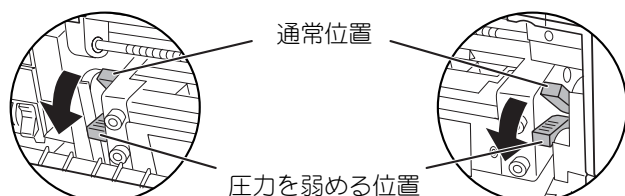
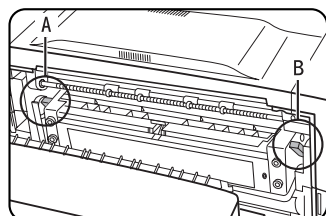
- 封筒以外の用紙を印刷する際は、必ずこのレバーを"通常位置"に戻してください。戻さずに印刷すると、定着不良や紙づまり、または故障の原因となります。

1 **両面モジュールを引き出す**

取っ手をつまみ、静かに開いてください。
両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを開いてください。

2 **定着部圧力調整レバー（２箇所）を押し下げる**

A：定着部後側　　B：定着部前側

3 **両面モジュールを静かに閉じる**

両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを閉じてください。

■ OHPフィルムのセットについて

必ずシールが貼られている面を上にしてOHPフィルムを縦長方向にセットしてください。ただしシール部分に印刷画像がかかる場合は、シール面を下にしてセットしてください。シール部分に印刷すると印刷汚れの原因となります。

1

仕様（多目的給紙トレイ）

名称	多目的給紙トレイ
用紙サイズ／用紙質量	各トレイの仕様（1-17ページ）の多目的給紙トレイを参照
収納枚数	普通紙：550枚(64g/m²)・官製ハガキ：20枚・封筒：40枚・OHPフィルム：40枚
大きさ	幅654mm×奥行567mm×高さ144mm
質量	約11kg

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

3段給紙デスクへの用紙補給

上段トレイ：

上段トレイは多目的給紙トレイと同等品です。用紙補給方法やセットできる用紙等については、多目的給紙トレイと同様となりますので、そちらの説明に従ってください。（1-21ページ）

中段/下段トレイ：

シャープ標準用紙で約550枚までセットできます。用紙補給方法等については、本体標準装備の1段給紙トレイと同様ですので、そちらの説明に従ってください。（1-16ページ）

● お願い ●

- 3段給紙デスクのトレイに用紙をセットする際、それまでセットされていた用紙から、用紙サイズを変更したり、特殊紙をセットするなどして用紙の種類（タイプ）とサイズを変更された場合は、ユーザー設定の給紙トレイ設定を変更する必要があります。この場合は、1-19ページの「用紙サイズと種類の設定方法」の説明に従って、必ず設定を変更してください。

仕様（３段給紙デスク）

名称	３段給紙デスク
用紙サイズ／用紙質量	各トレイの仕様（1-17ページ）の３段給紙デスクを参照
収納枚数（普通紙）	各550枚(64g/m²)
大きさ	幅619mm×奥行664mm×高さ404mm
質量	約32kg

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

大容量給紙デスクへの用紙補給

上段トレイ：
上段トレイは多目的給紙トレイと同等品です。用紙補給方法やセットできる用紙等については、多目的給紙トレイと同様となりますので、そちらの説明に従ってください。（1-21ページ）

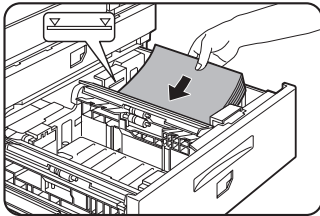
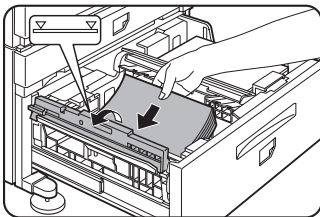
下段トレイ：
A4または8-1/2x11サイズの用紙をセットできます。シャープ標準用紙を約2200枚までセットできる大容量給紙トレイです。用紙補給方法については、下記の説明をご覧ください。

● お願い ●

- 大容量給紙デスクの上段トレイに用紙をセットする際、それまでセットされていた用紙から、用紙サイズを変更したり、特殊紙をセットするなどして用紙の種類（タイプ）とサイズが変更された場合は、ユーザー設定の給紙トレイ設定を変更する必要があります。（下段の大容量給紙トレイで用紙の種類（タイプ）とサイズが変更された場合も同様です。）この場合は、1-19ページの「用紙サイズと種類の設定方法」の説明に従って、必ず設定を変更してください。

1 大容量給紙トレイを引き出す

トレイを止まるところまで静かに引き出してください。

2 用紙を左右の給紙テーブル上にそれぞれ入れる

- 右側給紙テーブルに入れるシャープ標準用紙で約1320枚まで入ります。

- ペーパーガイドを上げて、左側給紙テーブルに入れるシャープ標準用紙で約880枚まで入ります。
用紙を入れたあと、必ずペーパーガイドを元に戻してください。

3 大容量給紙トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

4 用紙の種類（タイプ）を設定する

用紙を補給した際、それまでセットされていた用紙から、用紙サイズをABからインチ系（またはその逆）に変更したり、用紙の種類（タイプ）を変更した場合は、「用紙サイズと種類の設定方法」（1-19ページ）に従って、用紙の種類を必ず設定してください。

5 以上で大容量給紙トレイの用紙補給が終了しました

仕様（大容量給紙デスク）

名称	大容量給紙デスク
用紙サイズ／用紙質量	各トレイの仕様（1-17ページ）の大容量給紙デスクを参照
収納枚数（普通紙）	上段：550枚（64g/m^2）　下段：2,200枚（64g/m^2）
大きさ	幅619mm×奥行664mm×高さ404mm
質量	約34kg

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

トナーを補給する

トナーがなくなると、トナーが入っているカートリッジを交換する必要があることをお知らせするメッセージが表示されます。
またお買いあげいただいた製品によっては、現像カートリッジの交換時期になると、メッセージでお知らせします。
これらのカートリッジの具体的な交換手順については、別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書を参照してください。

1

● **お願い** ●

- 印刷中や待機状態のとき、操作ガイドキーまたは[コピー]キーを押すと、押している間、トナー残量のおよその目安（%表示）を表示させることができます。
  この表示が「25-0%」になっているときは、トナーがなくなったときに備え、あらかじめ交換用のカートリッジを準備してください。

消耗品の種類と保管方法

この製品には、消耗品としてコピー用紙、トナーなどが必要です。

- コピー用紙は当社標準の用紙をお使いになることをお薦めいたします。
  推奨紙には普通紙の他に、カラーペーパー、リサイクルペーパー、OHPフィルム、第2原図用紙、ラベル紙、ハガキ用紙があります。
- 詳しくはお買いあげになりました販売店にお問い合わせください。
- 消耗品は必ず当社指定のものをご使用ください。

■ 消耗品の保管方法

1. 消耗品は次のような場所をさけて保管してください。
   ・湿気の多い場所
   ・高温および極端に低温の場所
   ・直射日光の当たる場所
   ・ホコリの多い場所
2. 用紙は立てかけないで水平に保管してください。
3. 用紙の残りは、必ず用紙の袋に入れ、袋の口を閉じて保管してください。
   そのままにして放置すると、カールや吸湿が起こり、紙づまりなどの原因になります。

⚠ **注意**

トナーやデベロッパーのカートリッジは小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

■ シャープ標準用紙仕様基準

●外観・形状

コピー用紙にカール、しわ、紙折れ、裁断不良によるバリなどが認められないもの。

●物性値

坪　量	64.0 $^{+4.0}_{-2.0}$ g/m^2	平 滑 度	30±10秒
紙　厚	87±3mm/1,000	含 水 率	5.0±0.5%
剛度縦	20.4±0.8cm	不透明度	83±2%
剛度横	15.9±1.3cm	寸法精度	A、B列ともに±1.0mm

第2章

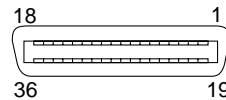
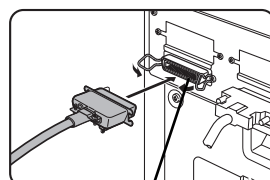
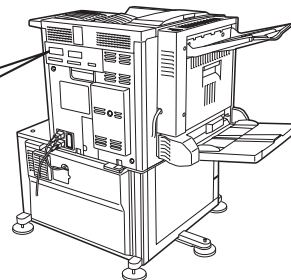
コンピュータから印刷する

この章は、コンピュータ側でのプリンタドライバやプリンタユーティリティのインストール方法、使いかたや、本機の操作パネルから印刷開始操作が行えるジョブリテンション機能などについて説明しています。

コンピュータとの接続

1. 本機をローカルプリンタとして使用する場合

本機をローカルプリンタとして使用する場合、コンピュータは図のようにパラレルインタフェースのコネクターに接続します。
接続ケーブルは以下の仕様に適合する市販のセントロニクスケーブル（シールドタイプのもの）を別途用意してください。
本機のパラレルインタフェースは、IEEE-STD-1284-1993に準拠しています。

コネクターの形式（本機側）：アンフェノール36ピンメスコネクター

コンピュータ側のパラレルインタフェースコネクターの仕様については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

パラレルインタフェースコネクター

2. 本機をネットワークプリンタとして使用する場合

本機をネットワークプリンタとして使用するときは「プリント・サーバー・カード」が必要です。
プリント・サーバー・カードに付属の説明書をよく読んでご使用ください。
ネットワーク用のケーブルはシールドタイプのものをお使いください。

Windows用のソフトウェア

この製品をWindows環境で使用するときは、ご使用になるコンピュータのシステムに、プリンタドライバをインストールする必要があります。インストールには付属のCD-ROMを使用します。この製品を使用するときは、コンピュータと本機をパラレルインタフェースコネクターで接続して使用する場合（ローカルプリンタとして使用）と周辺装置のプリント・サーバー・カード（ネットワークインタフェースカード）を使用したネットワーク経由での使用が可能です。
お買いあげいただいた製品によっては周辺装置のプリント・サーバー・カードは標準装備されているものもあります。（別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書の1ページを参照）

Windows環境で使っていただけるものとして、つぎのようなものがCDに入っています。
・プリンタドライバ
・PC-FAXドライバ（ファクス機能が拡張されたシステム状態で使用できます。）
・プリンタユーティリティ
・統合インストーラ
　プリンタドライバやプリンタユーティリティをインストールするソフトウェアです。統合インストーラを使用せずに、プラグ＆プレイ機能やプリンタの追加ウィザードで、プリンタドライバをインストールするときは、2-4ページに記載しているプリンタユーティリティCD-ROMのディレクトリー情報を参照し、フォルダの場所を直接指定してください。

■ プリンタドライバの種類

- SPDL2プリンタドライバ(SPDL2はシャープの提供するPDL（Printer Description Language））
- 別売品のPostScriptプリンタドライバ（PostScrpt3対応）とPPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）の2種類

■ プリンタユーティリティの種類

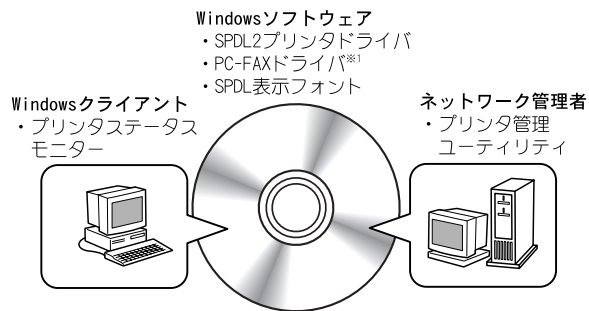
- プリンタ管理ユーティリティ
- プリンタステータスモニター
- SPDL表示フォント

1. プリンタドライバについて

プリンタドライバは、コンピュータで作成したドキュメントのデータをコンピュータからプリンタに渡す役割を持つソフトウェアです。従って、プリンタドライバをインストールしてはじめて、この製品をプリンタとして使用できるようになります。インストールは一度行えばコンピュータのシステムに組み込まれますので、プリントするたびに行う必要はありません。

2. プリンタユーティリティについて

ネットワーク環境でプリンタを使用しているときに、コンピュータからプリンタの設定や監視ができるプリンタ管理ユーティリティソフトとプリンタの状態をモニタし、表示・通知するプリンタステータスモニターソフトを用意しています。（Windows環境のみ使用できます。）
プリンタステータスモニター、プリンタ管理ユーティリティの使い方は、「ヘルプ」を参照してください。それぞれの使い方を詳しく説明しています。
※プリンタ管理ユーティリティはシステム管理者用のソフトウェアです。

プリンタドライバとプリンタユーティリティをインストールする

CD-ROMに収録されている統合インストーラからインストールできる項目は、以下の通りです。

・SPDL2プリンタドライバ
・PC-FAXドライバ※1
・SPDL表示フォント
・プリンタ管理ユーティリティ
・プリンタステータスモニター

※1 ファクス機能が拡張されたシステム状態で使用できます。このソフトウェアについては別冊のファクス編取扱説明書を参照してください。

2

付属のCD-ROMから次の手順でインストールを行ってください。

1 Windowsを起動する

2 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする

ご使用のコンピュータがオートラン環境に設定されている場合は、手順5に記載されている「はじめにお読みください」が表示されます。（手順3～4まで省略できます。）

3 [スタート]メニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックする

4 CD-ROMをセットしたドライブ名と実行コマンドを半角文字で入力し、[OK]ボタンをクリックする

例：CD-ROMのドライブをRドライブに設定している場合
R:¥SETUP.EXE

5 「はじめにお読みください」の内容を確認の上、[次へ]ボタンをクリックする

6 「ツール選択」の内容を確認の上、［次へ］ボタンをクリックする

- 一般用ツールを選ぶと、次の項目がインストールできます。
  ：SPDL2プリンタドライバ、SPDL表示フォント、プリンタステータスモニター、PC-FAXドライバ
- 管理者用ツールを選ぶと、次の項目がインストールできます。
  ：プリンタ管理ユーティリティ

7 付属のCD-ROMでインストールできる内容の画面が現れるので、インストールしたい項目のチェックボックスを選び、[次へ]ボタンをクリックする

チェックボックスの横にあるアイコンをクリックして、[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、クリックしたファイルの情報が表示されます。「プリンタ管理ユーティリティ」、「プリンタステータスモニター」をインストールするときは詳細情報を表示して、ご使用になるコンピュータのシステムが必要条件を満たしているかどうか確認してください。

> メモ 本機をネットワークプリンタとして使用しているときのみ「プリンタ管理ユーティリティ」、「プリンタステータスモニター」を使用できます

8 [開始]ボタンをクリックする

チェックボックスで選択したファイルのインストール画面に変わります。画面の指示に従ってインストールを行ってください。

9 インストールが終了すると“選択されたパッケージのインストール作業を終了しました”の画面が表示されるので、[閉じる]ボタンをクリックする

> メモ お使いのシステムによっては、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。[はい]ボタンをクリックし、コンピュータを再起動させてください。

プリンタドライバやプリンタユーティリティを削除する

インストーラを使ってインストールしたプリンタドライバやプリンタ管理ユーティリティ、プリンタステータスモニターなどをアンインストールするときは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使用します。プリンタの追加ウィザードでインストールしたプリンタドライバを削除するときは、「コントロールパネル」の「プリンタ」から削除するプリンタを右クリックし、[削除]を選択してください。それぞれの操作はWindowsの基本操作で可能です。

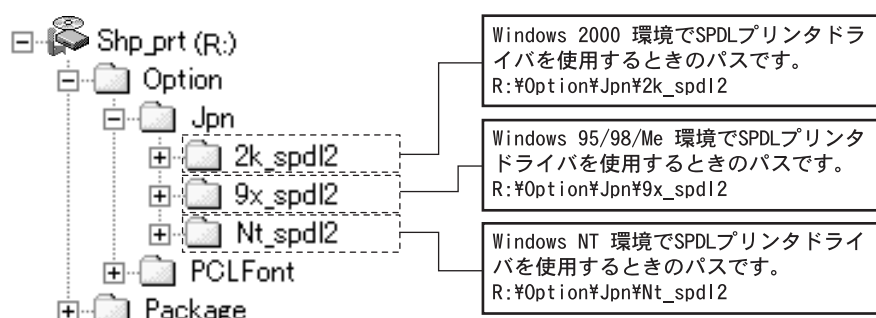
プラグ＆プレイ機能やプリンタの追加ウィザードでプリンタドライバをインストールする場合

インストールする前に

プリンタドライバをインストールする前に、次のことを確認してください。
● 使用するコンピュータのシステムが下記の条件を満たしているか確認してください。

コンピュータ本体
：IBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）
NEC PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ
OSが要求するハードウェア仕様を満たしている必要があります。

OS（オペレーティングシステム）
：Microsoft Windows 95 日本語版
Microsoft Windows 98 日本語版
Microsoft Windows 2000 日本語版
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
Microsoft Windows Me 日本語版

プラグ＆プレイ機能やプリンタの追加ウィザードでプリンタドライバをインストールする場合は、配布ファイルのコピー元のディレクトリーを入力する際、次の場所を指定してください。

■ Windows 98環境でプリンタの追加ウィザードによりプリンタドライバをインストールする例

ここではWindows 98環境でプリンタの追加ウィザードによりプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
インストールの例ではプリンタがローカルプリンタとして接続（2-2ページ：「1.本機をローカルプリンタとして使用する場合」を参照）されていること、そしてCD-ROMドライブが「R」ドライブに設定していることを前提として記述しています。ご使用のシステム環境では表示されている画面や手順が異なることがあります。

1 **Windows 98を起動する**

2 **付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする**
ご使用のコンピュータがオートラン環境に設定されている場合は「はじめにお読みください」の画面が表示されます。その場合は[キャンセル]ボタンをクリックして、「はじめにお読みください」の画面を閉じてください。

3 **［スタート］メニューから［設定］、［プリンタ］の順に選択する**
プリンタウィンドウが表示されます。

4 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする**

5 **［次へ］ボタンをクリックする**

6 **［ローカルプリンタ］のラジオボタンをチェックして、［次へ］ボタンをクリックする**

7 **［ディスク使用］ボタンをクリックする**
「ディスクからインストール」ダイアログボックスが表示され、次のようにファイルのパスを入力します。
R:¥Option¥Jpn¥9x_spdl2

8 **[OK]ボタンをクリックする**

9 **使用するプリンタのモデル名を選択し、[次へ]ボタンをクリックする**
以降の手順は、「プリンタの追加ウィザード」で表示される指示に従って、操作してください。

■ SPDL表示フォントをインストールする

SPDL表示フォントは、パソコンの画面に表示されるフォントです。付属のCD-ROM には、本機に内蔵されているフォントに対応したSPDL表示フォントが含まれております。これらのフォントは、統合インストーラからご使用のシステム（Windows 95/98/Me/NT/2000）にインストールすることができます。SPDL表示フォントのインストールは、「プリンタドライバとプリンタユーティリティをインストールする」の2-3ページの手順６で指定できます。
統合インストーラを使わずWindowsの基本操作でフォントをインストールするときは次のパスを指定してください。
R:¥Option¥PCLFont　（ただし、CD-ROMのドライブを「R」ドライブに設定している場合です。）

プリンタドライバの設定

この製品をご使用のコンピュータから便利にお使いいただくために、プリンタドライバの設定値を目的に合わせて変更する方法について説明します。
プリンタドライバをまだインストールしていない場合は、「プリンタドライバとプリンタユーティリティをインストールする」（2-3ページ）をお読みになり、付属のCD-ROMを使用してインストールを行ってください。

Windows環境でプリント値を設定する（印刷条件の選択と設定）

設定値の変更は、プリンタのプロパティで行います。

■ Windows 95 / 98 / Me

画面はWindows 98です。

1 [スタート]メニューから[設定]、[プリンタ]の順に選択する

プリンタウィンドウが表示されます。

2 インストールしたプリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択する

画面はAR-350LP SPDL2を選択した表示例です。

3 各項目を設定する

4 [OK]ボタンをクリックする

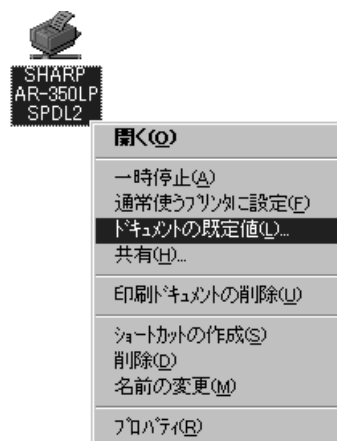
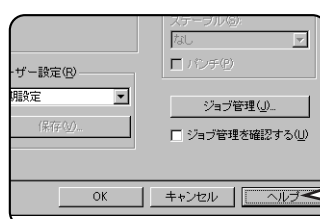
■ Windows NT 4.0 / 2000

画面はWindows NT 4.0です。

1 [スタート]メニューから[設定]、[プリンタ]の順に選択する

プリンタウィンドウが表示されます。

2 インストールしたプリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックして[ドキュメントの既定値]を選択する

画面はAR-350LP SPDL2を選択した表示例です。

3 各項目を設定する

4 [OK]ボタンをクリックする

> メモ 両面モジュール、フィニッシャー、３段給紙デスクなどその他周辺機器の装着状態の設定はインストールしたプリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択したあと、[オプション]タブを開いて、設定してください。本機をネットワークプリンタとして使用しているときに「プリンタステータスモニター」をインストールした場合は、[オプション]タブにある[オプション自動設定]ボタンをクリックすると、周辺装置の装着状態は自動的に設定されます。また[用紙]タブの[詳細]ダイアログボックスの中にある[トレイ情報の取得]ボタンをクリックすると、最新のトレイ情報（用紙サイズ、用紙種類、用紙残量）を表示させることができます。

ネットワークを介してのリモート操作

お使いのコンピュータからNetscape NavigatorやInternet ExplorerなどのWebブラウザを使って、本機のWeb画面にログインすると、さまざまな機能の設定などがネットワークを介してリモート操作することができます。

Web画面へアクセスするために必要な環境

本機のWeb画面にアクセスして設定を行うためには以下の製品やコンピュータのシステム条件が必要です。

・別売品のプリント・サーバー・カード（ネットワークインタフェースカード）

・推奨Webブラウザ

Internet Explorer 4.0以上相当

Netscape　Navigator　4.0以上相当

本機に内蔵のWebサーバにあるWeb画面の設定の際、次のような文字はWeb画面からの入力に使用できません。また入力時の大文字、小文字は区別されます。

- 使用できない文字　　<　>　　"
- 使用できない入力例　　<abc>　<abc　"abc"　"abc　abc"

Web画面へのアクセス方法とヘルプの参照

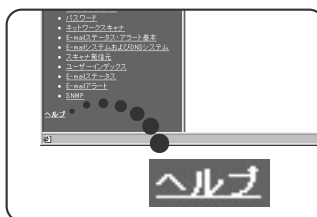
Web画面へのアクセスは次の手順で行ってください。またメニューフレームの下にあるヘルプボタンをクリックすると、本機のWeb画面からネットワークを介してリモート操作できる、さまざまな機能の設定についてのヘルプ画面が表示されます。それぞれの機能の設定については、この詳細説明を参照してください。

1 お使いのコンピュータからWebブラウザを起動する

2 Webブラウザのアドレス入力欄に、この製品で設定したIPアドレスを入力しアクセスする

本機で設定したIPアドレスを入力してください。（6-13ページ）

接続が完了するとWebブラウザに本機のWeb画面情報が表示されます。

3 メニューフレームの下にあるヘルプボタンをクリックする

それぞれの機能の設定に関する詳細については、メニューフレームの下にあるヘルプを参照してください。設定のしかたを詳しく説明しています。

4 ヘルプ画面を閉じる

ヘルプ画面右上の ☒（閉じる）ボタンをクリックしてください。本機のWeb画面情報にもどります。

Web画面のメニューフレームの項目と概要

送信先管理

ネットワークスキャナで読み込んだ画像データの配信先、およびファクスやインターネットファクスの送信先の情報（送信アドレスやファクスナンバーなど）を新規登録、変更、削除するための基本画面です。

- 送信先は全ての種類をあわせて500件登録可能です。さらにファイルサーバー、デスクトップは２つあわせて100件まで登録可能です。
- ファクス拡張キットが装着されている場合は、E-mail送信スキャン、インターネットFaxは使用できません。

2

■ E-mail送信スキャンの配信先情報の設定

ネットワークスキャナの電子メール送信スキャン用の送信情報の設定をします。
宛先の電子メールアドレスやファイル形式と共に、送信先管理用の情報（送信先名、ユーザーインデックス、フロントパネル表示用の名称など）を設定します。

■ ファイルサーバー送信スキャンの格納先情報の設定

ネットワークスキャナのファイルサーバー送信スキャン用の送信先情報の設定をします。ファイルサーバーの情報（ホスト名など）やファイル形式と共に、送信先管理用の情報（送信先名、ユーザーインデックス、フロントパネル表示用の名称など）を設定します。

■ デスクトップ送信スキャンの送信先情報の設定

ネットワークスキャナのデスクトップ送信スキャン用の送信先情報の設定をします。送信先となるネットワークスキャナツール/Sharpdeskをインストールされているコンピュータの情報（ホスト名など）やファイル形式と共に、送信先管理用の情報（送信先名、ユーザーインデックス、フロントパネル表示用の名称など）を設定します。

■ Fax送信先情報の設定

ファクスの送信先情報の設定をします。送信先のファクス番号や通信モードと共に、送信先管理用の情報（送信先名、ユーザーインデックス、フロントパネル表示用の名称など）を設定します。

■ インターネットFax送信先情報の設定

インターネットファクスの送信先情報を設定します。送信先の電子メールアドレスやファイル形式と共に、送信先管理用の情報（送信先名、ユーザーインデックス、フロントパネル表示用の名称など）を設定します。

■ グループ送信先情報の設定

電子メール配信先、ファクス送信先、インターネットファクス送信先として設定した送信先から、データを同時に送信したい送信先をまとめてグループ送信先として設定します。

■ 送信先情報の削除の確認

送信先管理の画面の送信先リストで、削除したい送信先を選択し、削除ボタンをクリックした後、削除してよいかどうか確認するための画面です。

メモリーボックス管理

本機内のファクス画像用のメモリーエリア（メモリーボックス）を設定するための基本画面です。メモリーボックスには次の３つの機能があり、３つあわせて100件まで登録することができます。

・掲示板　・親展受信　・中継同報送信（転送）

■ 掲示板

本機に原稿データを記憶しておき、ファクスからのポーリングに応じてその原稿データをファクスに送信することができます。

■ 親展受信

ファクス側から印刷するデータを本機に送ったあと、本機の操作パネルから印刷開始の操作をすることができます。

■ 中継同報送信（転送）

受信したデータを転送する機能のメモリーボックスの情報を設定することができます。

管理設定

Web画面のアクセス制限の設定や、ネットワークスキャナや電子メールステータスを使用する際に行うための基本設定を説明しています。

■ ネットワークカード設定

プリント・サーバー・カード（ネットワークインタフェースカード）の設定を行うために、プリント・サーバー・カード側のWeb画面へリンクされています。

■ パスワード設定

Web画面へのアクセスするためのパスワードを設定します。ユーザーレベルとシステム管理者レベルがあります。

■ ネットワークスキャナ基本設定

ネットワークスキャナの基本設定画面です。電子メール配信スキャンの件名やファイル名の設定などを行います。また、ネットワークスキャナを使うためには、電子メールシステムおよびDNSシステム基本設定を設定する必要があります。この画面には電子メールシステムおよびDNSシステム基本設定の設定内容を表示すると共に、リンクが張られています。

■ E-mailステータス基本設定

電子メールステータスおよびアラートの基本設定画面です。マシン名、マシンコード、マシンの設置場所などを設定します。また、E-mailステータス／アラートを使うためには、電子メールシステムおよびDNSシステム基本設定を設定する必要があります。この画面には電子メールシステムおよびDNSシステム基本設定の設定内容を表示すると共に、リンクが張られています。

■ E-mailシステムおよびDNSシステム基本設定

電子メールを送信するための基本設定画面です。電子メールサーバーやシステム管理者のアドレス、DNSサーバーなどの設定を行います。

■ E-mail送信元設定※1

ネットワークスキャナの電子メール送信で、発信元の設定をします。電子メールのヘッダーの差出人の項に入ります。発信元は20件登録でき、送信する場合はその中から発信元を操作パネルから設定できます。

■ ユーザーインデックス設定

操作パネルのリスト表示におけるユーザーインデックスの名称の設定をします。

■ E-mailステータス設定

本機のプリンタ、コピー機能時の各出力枚数、総出力枚数などの現在のカウンター情報を指定したスケジュールに従って送信するときに使用します。

■ E-mailアラート設定※1

本機の用紙やトナーなどの消耗品および故障や紙づまりなどのエラー情報を送信するときに使用します。

■ SNMP設定

SNMP Trapを送るIPアドレスや、Trapコミュニティ、認証コミュニティを設定します。

※1　ファクス拡張キットを装着している場合は、この機能は使用できません。

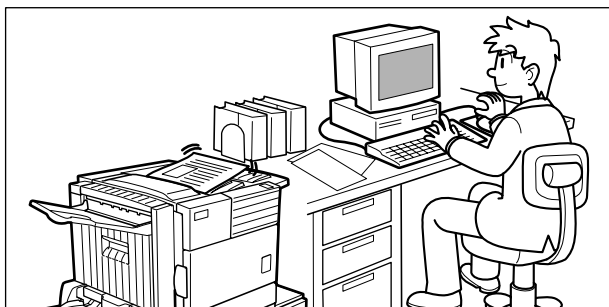
操作パネルから印刷開始操作が行えるジョブリテンション機能について

ここでは、本機のプリンタドライバを使用して「ジョブ管理」ダイアログボックスで選択できる印刷機能を行う場合に、本体側の操作パネルから印刷開始に必要な操作手順と機能の概要について説明しています。印刷機能の選択は、プリンタドライバの設定画面から「プロパティ」を選択したあと、「メイン」タブを開いて、「ジョブ管理」ボタンをクリックしてください。ジョブリテンション機能は周辺装置のハードディスクドライブ装着時のみ使用できます。

「ジョブ管理」ダイアログボックスで選択できる印刷機能と動作

2

■通常印刷

（「通常印刷」は、本体側の操作パネルからの印刷開始操作は不要です。）

このモードの印刷設定が基本的な印刷操作となります。プリンタ本体で紙づまりや、トナー切れなどのトラブルが発生していない場合に印刷開始操作は、コンピュータの前で完了します。

■印刷後ホールド

このモードの印刷設定は、上記通常印刷を完了してもプリンタ本体のホールドジョブリストに印刷データを保持しています。必要に応じて本体操作パネルから再度印刷したり、不要な場合はデータを削除することが可能です。

■印刷せずにホールド

このモードの印刷設定は、個人の印刷物の行方不明を軽減することができます。このモードで印刷開始操作をすると、プリンタ本体は印刷せずにホールドジョブリストに印刷データを保存しています。
必要に応じて本体側の操作パネルで印刷開始操作を行うことができます。また、印刷開始操作を行わずに、そのままデータを消去することもできます。（2-10ページ手順７または2-11ページ手順５を参照）

■サンプルプリント

このモードの印刷設定は、印刷の部数が多い時に大量のミスプリントを防ぐことができます。このモードで印刷開始操作をすると、先に1部だけ試し印刷したあとホールドジョブリストに印刷データを保存します。
印刷された用紙と印字位置の関係やステープルの位置などの仕上がり内容を確認したあとに、本体側の操作パネルで印刷開始操作を行うと全部数が印刷されます。（１部の試し印刷は全部数に含まれます）また、残りの印刷開始操作をせずに、そのままデータを消去することもできます。（2-10ページ手順７または2-11ページ手順５を参照）

■パスコード（５桁の暗証番号）

プリンタドライバ上で暗証番号を設定してから印刷するとプリンタ本体に保持されたホールドジョブの印刷開始に本体側の操作パネルから暗証番号の入力が必要になり、ホールドジョブの機密保持を高めることができます。

- **「印刷後ホールド」のモードに暗証番号を設定した時**
  再印刷をする際に本体側の操作パネルから暗証番号の入力が必要です。
- **「印刷せずにホールド」のモードに暗証番号を設定した時**
  最初の印刷をする際に本体側の操作パネルから暗証番号の入力が必要です。
- **「サンプルプリント」のモードに暗証番号を設定した時**
  １部の試し印刷が完了したあとで残りの印刷をする際に本体側の操作パネルから暗証番号の入力が必要です。

ホールドジョブリストの印刷方法

コンピュータ側から「印刷後ホールド」、「印刷せずにホールド」、「サンプルプリント」の印刷機能を行った場合はホールドジョブリストに印刷データを保存しています。（最大100件のジョブをホールドできます。メインスイッチを切るとホールドされている印刷データは消去されます。）
100件を超えるリテンションジョブが行われると次のような印刷になります。

・**印刷後ホールドが実行されたとき**
　印刷は実行されますがそのジョブはホールドされません。（注意警告ページが印刷されます。8-5ページ）
・**印刷せずにホールド**
　印刷は実行されずそのジョブはホールドされません。（注意警告ページが印刷されます。8-5ページ）
・**サンプルプリント**
　１部印刷されますが残りの部数は印刷できません。そのジョブはホールドされません。（注意警告ページが印刷されます。8-5ページ）

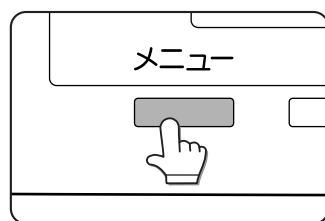
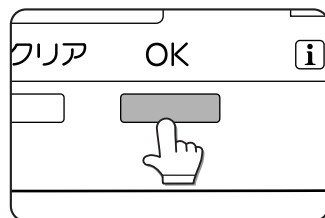
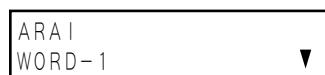
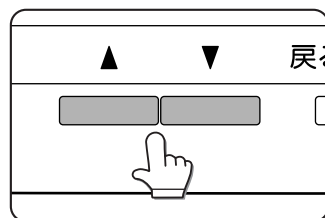
英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

※タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は次ページの説明を参照してください。

1 **[メニュー]キーを押す**

メッセージ表示部に「ﾌﾟﾘﾝﾄﾎｰﾙﾄﾞ」が表示されます。

2 **[OK]キーを押す**

ARAI
WORD-1　▼

[OK]キーを押すとホールドジョブリストに保存されている印刷データのユーザー名とファイル名が表示されます。

3 **該当するデータを選ぶ**

目的の印刷データが表示されるまで操作パネルの▲キーまたは▼キーを押してください。

メッセージ表示部に漢字やひらがなの文字が表示されないため、プリンタドライバの[ジョブ管理]画面の中にある「デフォルトジョブＩＤ」の項目から「ユーザー名」、「ジョブ名」を半角の英数や半角のカタカナ文字に設定する必要があります。

4 **[OK]キーを押す**

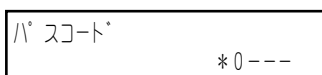
5 **パスコード（５桁の暗証番号）の５桁目（万の位）の番号を入力して[OK]キーを押す**
（パスコードを設定したときのみ必要です）

コンピュータ側で入力したパスコードを必ず入力してください。パスコードを設定していない場合は、手順５から手順６の操作が不要です。（→手順７へ）

ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ
0----

操作パネルの▲キーまたは▼キーで５桁目の数値を入力したあと、[OK]キーを押すと“＊”表示に変わり、４桁目の“－”表示が点滅します。「戻る／クリア」を押すと入力した数値を訂正できます。

6 **手順５と同じ操作でパスコードの４桁目から１桁目までの番号を入力して[OK]キーを押す**

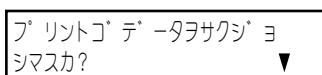
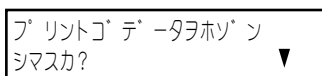
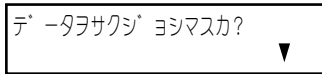
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ
*0---

7 **印刷の実行か中止および印刷後のデータ保持を選択して[OK]キーを押す**
印刷後にデータを削除するあるいはデータを残す。または印刷せずにデータを削除するのいずれかを選択できます。目的の表示がでるまで操作パネルの▲キーまたは▼キーを押してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾞ ﾃﾞｰﾀｦｻｸｼﾞｮ
ｼﾏｽｶ?　▼

● プリント後データを削除する

ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾞ ﾃﾞｰﾀｦﾎｿﾞﾝ
ｼﾏｽｶ?　▼

● プリント後データを残す

ﾃﾞｰﾀｦｻｸｼﾞｮｼﾏｽｶ?
▼

● プリントせずにデータを削除する
この項目を選択したときは作業が終了します。次の手順８から９は不要です。

8 印刷したい部数が設定されているか確認する

```
ﾌﾞｽｳ
                    10ﾌﾞ
```

部数は、操作パネルの▲キーまたは▼キーを押すと変更できます。

9 [OK]キーを押す

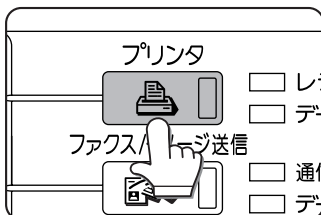
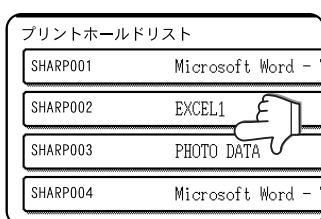
- 印刷が開始されます。（ただし、別の印刷ジョブが実行されている時は、印刷ジョブに登録されます。先の印刷ジョブが完了すると、印刷が開始されます。）

10 以上で作業が終了しました

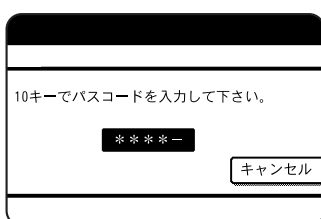
引き続き作業を続ける場合は、手順１～９をくり返してください。

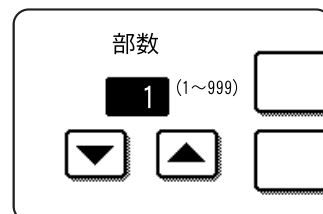
2

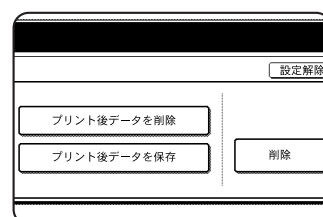
タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

1 [プリンタ]キーを押してプリンタ基本画面に切り換える

2 該当するデータを選ぶ

[↑]キーまたは[↓]キーをタッチすると画面を切り換えることができます。

3 [数字]キー（10キー）でパスコード（５桁の暗証番号）を入力する

（パスコードを設定したときのみ必要です）

コンピュータ側で入力したパスコードを必ず入力してください。（パスコードを設定していない場合、この操作は不要です。）数値を入力すると、「－」が「＊」に変わります。

4 印刷したい部数が設定されているか確認する

部数の設定は、▼または▲キーで変更できます。

5 印刷を実行する

印刷後にデータを削除する場合は[プリント後データを削除]キーを、データを残す場合は[プリント後データを保持]キーをタッチしてください。印刷せずにデータを削除したい場合は[削除]キーをタッチしてください。

- 印刷を実行した場合は印刷が開始されます。（ただし、別の印刷ジョブが実行されている時は、印刷ジョブに登録されます。先の印刷ジョブが完了すると、印刷が開始されます。

6 以上で作業が終了しました

印刷枚数の部門管理について

キーオペレータープログラムの「部門管理カウンター」が設定されているときにプリンタ用に印刷枚数を部門ごとに集計させることができます。
集計用の部門番号は、キーオペレータープログラムでプリンタ用に印刷枚数をカウントするために設定されている部門番号を使用します。部門管理番号の登録は、キーオペレータープログラムを参照してください。

印刷枚数の部門管理をするにはコンピュータ側からプリント操作を行う際に、プリンタドライバの設定画面で部門番号を入力する必要があります。部門番号の入力画面は、プリンタドライバの「メイン」タブから「ジョブ管理」をクリックすると表示されます。

登録されていない部門番号を入力したり、部門番号を入力せずにプリント操作を行った場合、キーオペレータープログラムの「無効部門番号での印刷禁止」が有効にされていると、プリント出力はされません。常にプリント出力したい場合は、「無効部門番号での印刷禁止」を無効にします。そのときのプリント枚数は、「その他」の項目に対してプリント枚数がカウントされます。

プリンタドライバの「メイン」タブから、画面の「ジョブ管理を確認する」のチェックボックスを有効にすると、プリンタドライバからプリント操作を行う際に、常にジョブ管理画面が表示されるように設定することができます。

PostScriptプリンタとして使用する

別売品のPS3拡張キット（AR-PK1）をお買いあげいただくと、本機をPostScript互換プリンタとして使用することができます。
PostScript互換プリンタとして使用する場合は、Windows環境だけでなく、Macintosh環境での印刷にも対応しています。ただし、Macintoshと本機とは、ネットワーク経由での接続のみ可能です。

Windows環境で使用する

Windows環境で本機をPostScript互換プリンタとして使用するには、お使いのコンピュータのシステムに、PostScriptプリンタドライバ、またはPPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）をインストールする必要があります。インストールには、別売品のPS3拡張キット（AR-PK1）のプリンタユーティリティーCD-ROMを使用します。

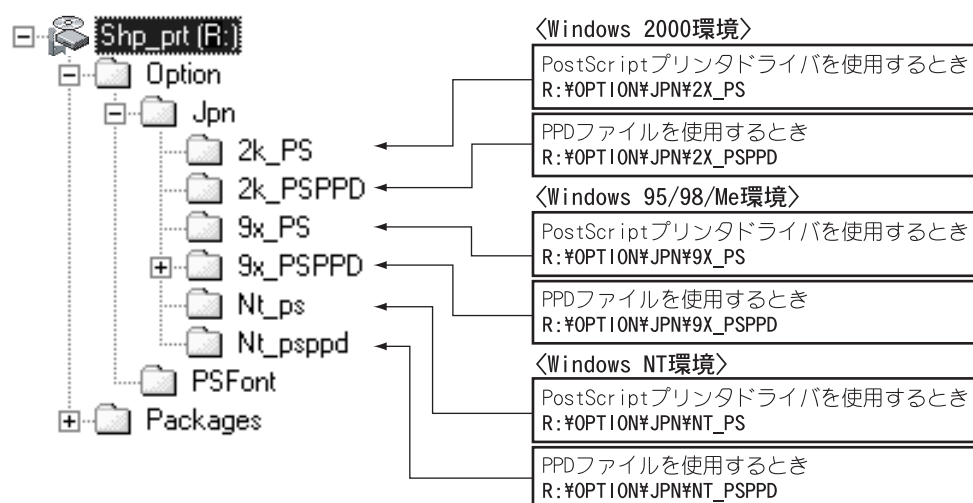
2

■ PostScriptプリンタドライバのインストール方法

お使いのコンピュータのCD-ROMドライブに、PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMをセットしてください。インストール手順については、2-3ページに記載のSPDL2プリンタドライバなどを、統合インストーラを使用してインストールする手順と基本的に同じ操作となります。ただし次の部分が異なります。

- コンピュータにセットするCD-ROMが、PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMであること。
- 2-3ページ手順５の内容は表示されません。
- 2-3ページ手順６で表示される画面が「ツール選択」から「パッケージ選択」に、また選択できる項目が、PSプリンタドライバ、PS表示フォントとなること。
- 2-3ページ手順７でインストールする項目として、PSプリンタドライバのチェックボックスを選ぶこと。（必要に応じ、PS表示フォント（2-14ページ）のチェックボックスも選んでください。）

インストーラを使用せずに、プリンタの追加ウィザードでPostScriptプリンタドライバをインストールする場合は、配布ファイルのコピー元のディレクトリーを入力する際、次の場所を指定してください。

PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMのディレクトリー情報
（例：CD-ROMのドライブをRドライブに設定している場合）

■ PPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）のインストール方法

お使いのコンピュータのCD-ROMドライブに、PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMをセットしてください。インストール手順については、2-4ページに記載のプリンタの追加ウィザードにより、プリンタドライバをインストールする手順と基本的に同じ操作となります。ただし次の部分が異なります。

- コンピュータにセットするCD-ROMが、PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMであること。
- 2-4ページ手順7で、お使いのWindows環境に対応したPPDファイルのパスを入力する必要があること。
  具体的には
  - ・Windows 95/98/Me環境の場合
    R:¥OPTION¥JPN¥9X_PSPPD
  - ・Windows 2000環境の場合
    R:¥OPTION¥JPN¥2X_PSPPD
  - ・Windows NT環境の場合
    R:¥OPTION¥JPN¥NT_PSPPD

  （いずれもCD-ROMのドライブをRドライブに設定している場合）
- 2-4ページ手順９で、使用するプリンタのモデル名がついたPPDファイルを選択し、[次へ]ボタンをクリックすること。

■ PS表示フォント

PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMには、PS表示フォントが収録されています。PostScriptプリンタドライバをインストールした場合は、必要に応じてPS表示フォントをインストールしてください。PS表示フォントのインストールは、PostScriptプリンタドライバをインストールする手順と同じ操作で、インストールする項目を選択する際、PS表示フォントのチェックボックスを選んでください。

■ 内蔵フォント情報のインストール（Windows 95/98/Me環境のみ）

PPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）をインストール完了後、次の手順に従い内蔵フォント情報をインストールしてください。

● お願い ●

- 内蔵フォント情報をインストールする前に、必ずプリンタドライバをインストールしてください。
- 内蔵フォント情報をインストールするときは、使用中のすべてのアプリケーションソフトウェアを終了しておいてください。
- ネットワークプリンタ環境などで使用しているときに、プリンタドライバのプロパティで印刷先のポートを切り換えた場合は、内蔵フォント情報を再インストールしてください。

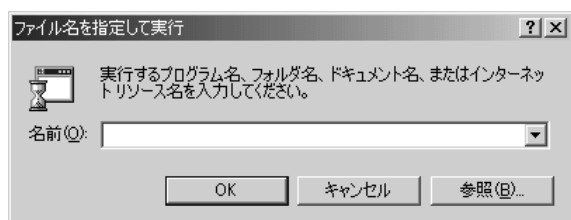
手順に使用している画面はWindows Meです。

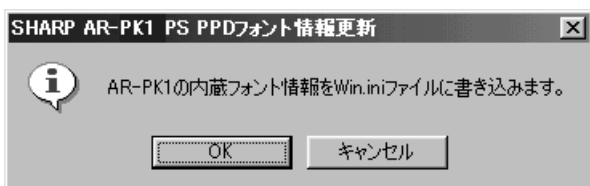
1 **Windowsを起動する**

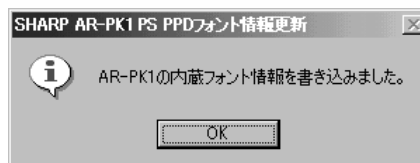
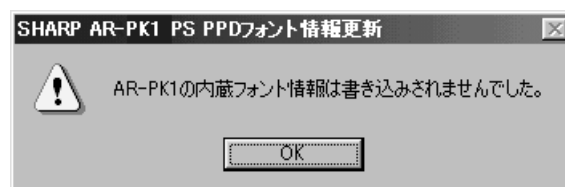
2 **PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMをコンピュータに挿入する**

お使いのコンピュータがオートラン環境に設定されている場合は、「パッケージ選択」画面が表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックして終了してください。

3 **[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択する**

次の画面が表示されます。

4 **名前欄にR:¥OPTION¥JPN¥9X_PSPPD¥PFMSETUP.EXEと入力し、[OK]ボタンをクリックする**

上記の説明はCD-ROMのドライブをRドライブに設定している場合です。
次の画面が表示されます。

5 **[OK]ボタンをクリックする**

次の画面が表示されます。

このときプリンタドライバが事前にインストールされていないと次のような画面が表示され、内蔵フォント情報のインストールは行われません。

6 **[OK]ボタンをクリックする**

PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

7 **内蔵フォント情報をインストールしたあと、Windowsを再起動する**

内蔵フォント情報のインストールは完了しました。

Macintosh環境で使用する

別売品のPS3拡張キット（AR-PK1）のプリンタユーティリティーCD-ROMに収録されているPPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）をインストールすると、Macintosh環境で本機をPostScript互換プリンタとして使用することができます。ただしMacintosh環境で本機を使用するには、ネットワーク経由での接続となります。ネットワーク接続のためには別売品のプリント・サーバー・カード（AR-NC5J）が必要です。またMacintosh側にEthernetポートが必要です。Ethernetポートを装備していないMacintoshをお使いの場合は、Ethernetインタフェースを別途用意してください。

● お願い ●

- Macintoshと本機をクロスケーブルで接続する場合は、Macintoshの電源を入れたあと本機の電源を入れてください。本機の電源を先に入れると、ネットワークプリンタとして認識されず使用できません。

2

■ プリンタドライバについて

プリンタドライバは、コンピュータで作成したドキュメントのデータをコンピュータからプリンタに渡す役割を持つソフトウェアです。本機を使用するときのプリンタドライバは、Macintoshのシステムに標準でインストールされている「LaserWriter8」を使用します。PS3拡張キット（AR-PK1）のプリンタユーティリティーCD-ROMには、PPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）が収録されています。このファイルを「LaserWriter8」のプリンタドライバに読み込ませる方法で、本機をMacintosh環境から使用できます。

■ SHARP PPDユーティリティーについて

Macintosh環境で部門管理プリント（6-7ページ）や親展プリント（ジョブリテンション機能（2-9ページ）とパスコード設定の組み合わせ）を行うには、インストールしたPPDファイルに対して、使用する部門番号および暗証番号を登録する必要があります。
SHARP PPDユーティリティーは、PPDファイルを書き換えて、使用する部門番号および暗証番号の登録（または削除）を行うためのソフトウェアです。

■ スクリーンフォント

PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMには、スクリーンフォントが収録されています。PPDファイルをインストールした場合は、必要に応じてスクリーンフォントをインストールしてください。

■ インストールする前に

PPDファイル（PostScriptプリンタ記述ファイル）とSHARP PPDユーティリティーをインストールする前に、使用するコンピュータのシステムが、下記の条件を満たしているか確認してください。

コンピュータ本体
：Apple Macintosh シリーズ
　Apple Power Macintosh シリーズ

OS（オペレーティングシステム）
：Mac OS 8.51～9.X

プリンタドライバ
：LaserWriter 8 バージョン J1-8.4.1以降

その他の条件
（OSが要求する下記ハードウェア仕様を満たしている必要があります。）
：CPU MC68040およびPowerPCマイクロプロセッサ
：RAM PowerPCマイクロプロセッサ搭載機では16MB以上
　MC68040搭載機では12MB以上

Macintoshのシステムに「LaserWriter 8」がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Macintoshに付属しているシステムのCD-ROMからインストールしてください。

■ プリンタユーティリティーのインストール

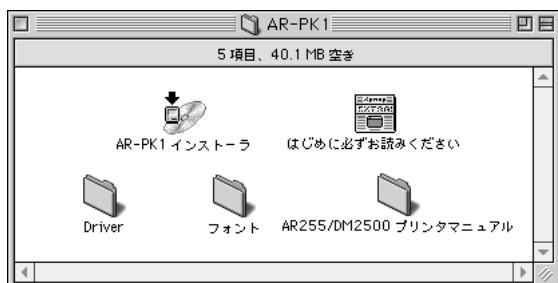
この説明書で使用しているMacintoshの画面表示は、Mac OS 9.0を使用しています。お使いのOSやプリンタドライバのバージョンによって画面の表示が異なることがあります。

1 **Macintoshの電源を“入”状態にして、システムを起動する**

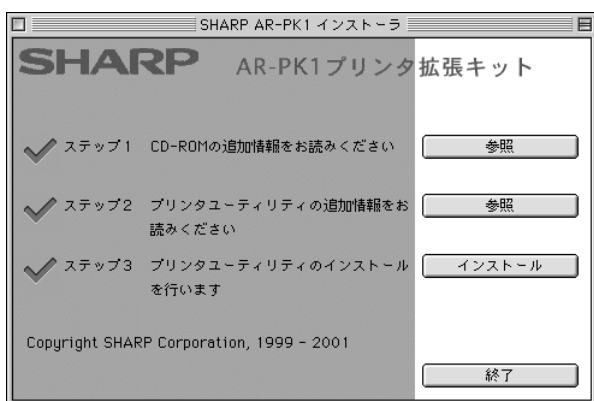
2 **PS3拡張キット（AR-PK1）のプリンタユーティリティーCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする**

デスクトップに[AR-PK1]アイコンが表示されます。

3 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了し、デスクトップ上の[AR-PK1]アイコンをダブルクリックする**

「プリンタユーティリティーCD-ROM」の以下のファイルが表示されます。

メモ [AR255/DM2500 プリンタマニュアル]フォルダに入っている取扱説明書のデータは、本機用のものではありません。

4 **[AR-PK1 インストーラ]アイコンをダブルクリックする**

次のダイアログが表示されます。

5 **ステップ１、ステップ２の[参照]をクリックして内容を確認する**

メモ ステップ１、ステップ２にはプリンタとしてご使用いただく際の制約事項に関する情報などが記載されています。インストールする前に必ずお読みください。

6 **ステップ３の[インストール]ボタンをクリックする**

次の[SHARP AR-PK1 インストーラ]ダイアログボックスが表示されます。

簡易インストールが選択されていることを確認し、インストール先のドライブを選択した上、[インストール]ボタンをクリックしてください。

メモ カスタムインストールは、お客様がインストールする内容を選択することができます。カスタムインストールを行う際は、お客様がコンピュータに関して高度な知識を有しているときに行ってください。通常は簡易インストールを行ってください。

取消 [終了]ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

7 **インストールが開始され「インストールが完了しました。･･･」とメッセージが表示されるので、[終了]ボタンをクリックする**

取消 インストール中に[キャンセル]ボタンをクリックすると、インストールを中断するダイアログボックスが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると手順６に戻ります。

これでプリンタユーティリティーのインストールは終了しました。CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

■ プリンタユーティリティーのアンインストール

インストールしたプリンタユーティリティーを削除したい場合は、以下の手順でアンインストールを行ってください。

1 **「プリンタユーティリティーのインストール（前ページ）」の手順１から手順６を実行する**

[SHARP AR-PK1 インストーラ]ダイアログボックスが表示されます。

2 **簡易インストールの横の“▼”をクリックし、「カスタム削除」の項目を選択する**

「カスタム削除」のメニュー画面が表示されます。
[i] アイコンをクリックすると削除する項目の情報が見れます。内容を確認した上で、次の手順に進んでください。

3 **「SHARP AR-PK1 PPDファイル」と「SHARP AR-PK1 エクストラ」の二つのチェックボックスにチェックをつけ、[削除]ボタンをクリックする**

> 取消 [終了]ボタンをクリックすると、アンインストールを中止します。

> メモ アンインストールする項目は選択することができます。通常は上記の方法で行ってください。上記以外のアンインストールを行う際は、お客様がコンピュータに関して高度な知識を有している場合に行ってください。

4 **アンインストールが開始され「削除が完了しました。･･･」とメッセージが表示されるので、[終了]ボタンをクリックする**

これでプリンタユーティリティーのアンインストールは終了しました。CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

■ プリンタの選択

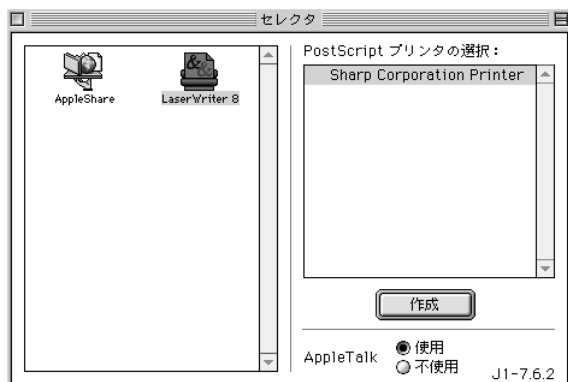
本機を使用するプリンタとして設定します。
初期状態のプリンタ名は「SCXXXXXX」（Xは6桁の英数字）です。
プリンタ名はプリント・サーバー・カード（AR-NC5J）の設定で変更することができます。この説明書ではプリンタ名を「Sharp Corporation Printer」に変更した状態の画面表示になっています。

1 **本機とMacintoshがネットワーク経由で接続されていることを確認する**

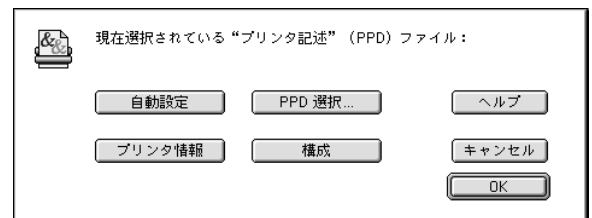
2 **アップルメニューから「セレクタ」を選択する**

「セレクタ」画面が表示されます。

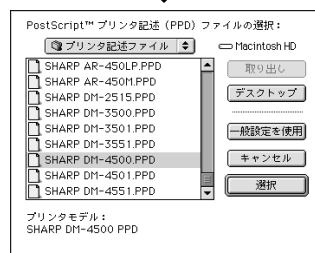
3 **[LaserWriter 8]アイコンをクリックする**

右のボックス内に接続されている使用可能なプリンタが表示されます。

「AppleTalk」ゾーンが複数存在する場合は、使用するプリンタがあるゾーンをクリックします。

4 **「Sharp Corporation Printer」をクリックし、[作成]または[設定]、あるいは[再設定]ボタンをクリックする**

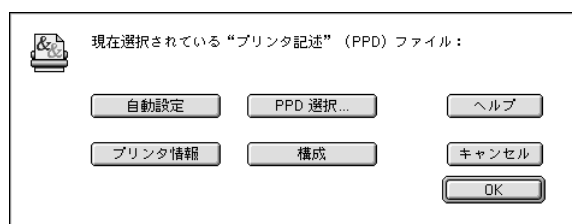
次のような画面が表示されます。（[再設定]ボタンをクリックした場合のみ）

5 [自動設定]ボタンをクリックする

手順4で[作成]または[設定]ボタンをクリックした場合、[自動設定]ボタンをクリックする手順はありません。
次のような画面がしばらく表示されたあと、PPDファイルの選択画面が表示されます。

設定中に[キャンセル]ボタンをクリックすると、セットアップを中止し、セレクタ画面に戻ります。

「プリンタ環境設定」画面

6 手順5のPPDファイル選択画面に表示されているプリンタ名称の中から、お使いの本機モデル名がついたPPDファイルを選択し、[選択]ボタンをクリックする

次のような画面がしばらく表示されます。

さらに手順4で[再設定]ボタンをクリックした場合のみ、次のような画面が表示されます。

7 [OK]ボタンをクリックする

手順4で[作成]または[設定]ボタンをクリックした場合、この手順はありません。

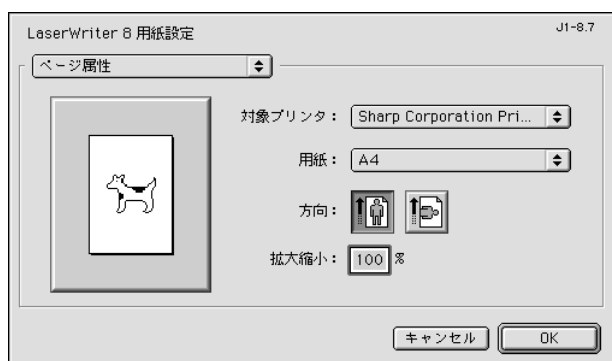
8 クローズボックスをクリックして「セレクタ」画面を閉じる

■ Macintosh環境でプリント値を設定する（印刷条件の選択と設定）

印刷を実行する前にプリンタドライバの機能設定を行います。
設定値の変更は、アプリケーションソフトウェアなどのファイルメニューから行います。設定値を変更する方法や項目名、設定値などは、お使いのOS（オペレーティングシステム）のバージョンや使用するアプリケーションソフトウェアなどによって異なることがあります。

用紙の設定

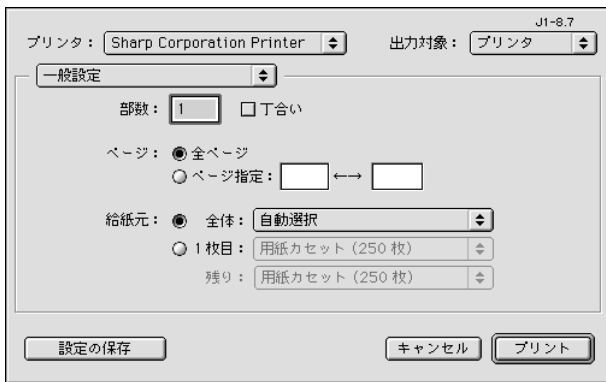
1 「ファイル」メニューから「用紙設定」を選択する

用紙サイズ、用紙方向などの設定画面が表示されます。

2 表示されている各項目を必要に応じて設定する

3 [OK]ボタンをクリックする

プリント値の設定

1 アプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから「印刷」を選択する

用紙選択の設定画面が表示されます。

2 表示されている各項目を必要に応じて設定する

部門管理プリントや親展プリント（ジョブリテンション機能（2-9ページ）とパスコード設定の組み合わせによるプリント）を行う場合は･･･

一般設定の横にある[⬍]をクリックして、表示されるプルダウンメニューから[ジョブコントロール]を選択してください。画面が切り替わり、部門管理プリントや親展プリントなどの設定が行えます。部門管理プリントを行うときは[部門番号]の横にある[⬍]をクリックし、プルダウンメニューに表示される部門番号を選択してください。また親展プリントを行うときは[親展ﾌﾟﾘﾝﾄ暗証番号]の横にある[⬍]をクリックし、プルダウンメニューに表示される親展プリント暗証番号と、[ﾘﾃﾝｼｮﾝ]の横にある[⬍]をクリックし、希望のジョブリテンション機能を選択してください。

部門番号と親展プリント暗証番号は、事前に登録しておく必要があります。登録方法については、次ページの「SHARP PPDユーティリティーの使いかた」を参照してください。

3 [プリント]または[キャンセル]ボタンをクリックする

■ スクリーンフォントのインストール

スクリーンフォントは、PS3拡張キットのプリンタユーティリティーCD-ROMの[フォント]フォルダの中に入っています。

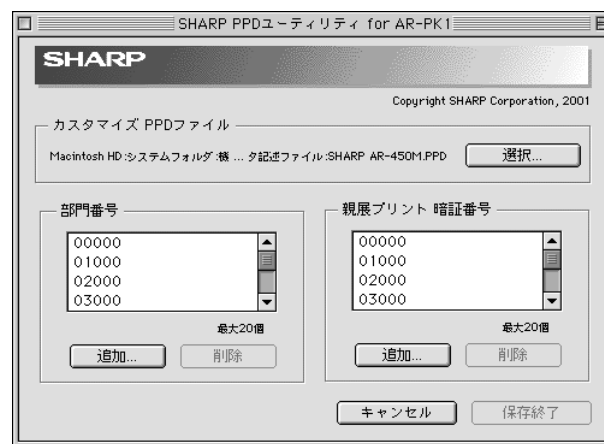
スクリーンフォントのインストールは、この[フォント]フォルダの中のファイルを、お使いのMacintoshのシステムフォルダにドラッグ＆ドロップして行ってください。

インストールしたフォントが原因と思われる不具合が発生した場合は、システムからインストールしたフォントを削除してください。

プリンタユーティリティーCD-ROMに収録されている日本語フォント（漢字フォント）は、10、12、14ポイントのOCFフォント（ビットマップフォント）です。

■ SHARP PPDユーティリティーの使いかた

Macintosh環境で部門管理プリント（6-7ページ）や親展プリント（ジョブリテンション機能（2-9ページ）とパスコード設定の組み合わせによるプリント）を行うときは、SHARP PPDユーティリティーを使用して、部門番号および暗証番号の登録を行ってください。インストールされたPPDファイルのみでは、部門管理プリントや親展プリントは行えません。部門管理プリントや親展プリントを行う際の操作については、2-19ページの「プリント値の設定」手順2の説明を参照してください。

PS3拡張キット（AR-PK1）のプリンタユーティリティーCD-ROMから、プリンタユーティリティー（SHARP AR-PK1エクストラ）をインストールすると、「SHARP AR-PK1 ｴｸｽﾄﾗ」フォルダが作られ、その中にSHARP PPDユーティリティーがインストールされます。この[PPDユーティリティ]アイコンをダブルクリックすると右の設定画面が表示されます。

● お願い ●

- 「SHARP AR-PK1 ｴｸｽﾄﾗ」フォルダ内の[AR255_DM2500PPDユーティリティ]は、本機用のソフトウェアではありませんので、使用しないでください。

■ 部門管理プリントの部門番号および親展プリントの暗証番号の登録と削除

部門管理プリントの部門番号や親展プリントの暗証番号は、5桁の数値を使用します。それぞれ1つのPPDファイルに対し、最大20個まで登録できます。部門番号および暗証番号の登録と削除については、以下の手順で行ってください。登録または削除が完了したら、[保存終了]ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

> メモ　設定を保存せずに終了するときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

部門番号や暗証番号の登録方法

1 **[選択...]ボタンをクリックし、接続されている本機のPPDファイルを選択する**

2 **部門管理プリントの部門番号を登録するときは、部門番号の下にある[追加]ボタンをクリックする**
親展プリントの暗証番号を登録するときは、親展プリント暗証番号の下にある[追加]ボタンをクリックする

以下の画面が表示されます。

部門番号入力画面

親展プリント暗証番号入力画面

3 **それぞれの番号登録画面で5桁の数字（00000～99999、部門番号の場合は00000～99999までの数字）を入力する**

> メモ　部門番号はキーオペレータープログラムの「部門番号の設定」（6-7ページ）で登録されているものの中から同じ番号を入力してください。それ以外の番号を入力しても部門別にカウントされません。

4 **それぞれの番号登録画面の[OK]ボタンをクリックする**

それぞれのリストに番号が入り、登録が完了します。

> メモ
> - 番号の入力を中止するときは、それぞれの画面の[キャンセル]ボタンをクリックします。
> - このユーティリティでPPDファイルを変更したあとは、必ず2-17ページ「プリンタの選択」の手順に従ってPPDファイルを選択しなおす作業が必要です。

部門番号や暗証番号の削除方法

1. 部門管理プリントの部門番号を削除するときは、部門番号のリストの中から削除する番号を選択する
親展プリントの暗証番号を削除するときは、親展プリント暗証番号のリストの中から削除する番号を選択する

2. いずれかの[削除]ボタンをクリックする

それぞれのリストから選択された番号が消去され、削除が完了します。

第3章

プリンタの基本設定

この章は、次のことがらについて説明しています。
1. プリンタの環境設定
2. 本機をESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用する方法
3. お客様の使用条件に応じた設定を行うユーザー設定
2項については、ESC/P、ESC/Pスーパー環境でお使いになる方は、必ずお読みください。

ページ

プリンタ環境設定を行う

プリンタ環境設定は、プリンタの基本的な設定やESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用する場合などに関する設定を行うときに使用します。プリンタ環境設定で設定する項目は次のとおりです。

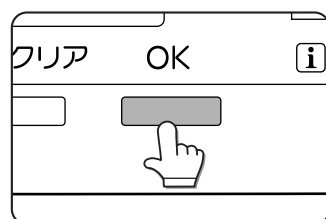
- 初期設定…………………… プリントするときに使用する基本的な設定です。（3-4ページ）
- SPDL設定…………………… SPDLシンボルセットを設定します。（3-4ページ）
- PS設定※1…………………… PostScriptエラー発生時にエラーのページを印刷するかどうかを設定します。（3-4ページ）
- ESC/P（スーパー）設定………… 本機をESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用するときに設定します。この設定に関しては「ESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用するには」を参照してください。（3-5ページ）

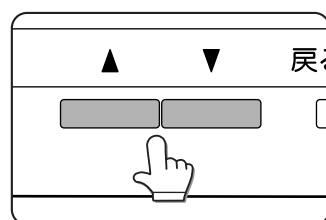
※1　別売品のPS3拡張キットが必要です。

プリンタ環境設定を行うときの共通する操作手順（操作パネルで設定できる項目）

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

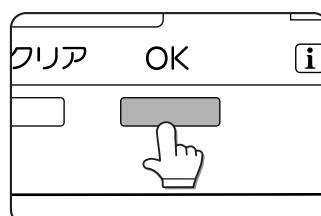
1 [メニュー]キーを押して、環境設定メニュー画面を表示させる

「ｶﾝｷｮｳｾｯﾃｲ」のメッセージが表示されるまで[メニュー]キーを押してください。
本機にプリントのデータがあるとき（プリントホールドジョブ）または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しく環境設定を行う前の環境状態で印刷されます。

2 [OK]キーを押す

3 ▲または▼キーを押して、目的の設定項目の画面を表示させる

4 [OK]キーを押す

5 ▲または▼キーを押して、希望の設定内容を表示させる

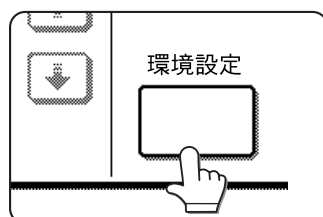
各設定項目の内容については、3-4ページからの説明を参照してください。

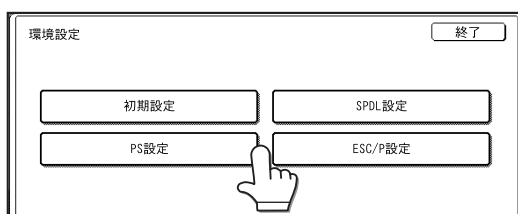
6 [OK]キーを押す

設定値の後に＊マークが付き、設定が確定します。
続いて他の項目の設定を行うときは、[戻る／クリア]キーを押して、手順3の状態まで戻り、手順6までの操作をくり返してください。

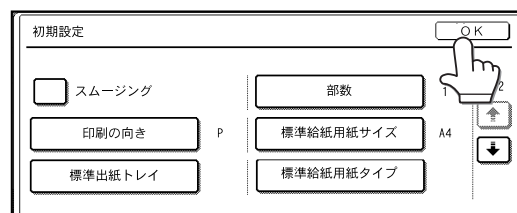
7 設定が終了したら[メニュー]キーを押して、基本画面に戻る

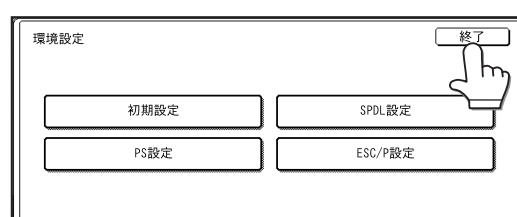
メモ　各設定が修了した後で[戻る／クリア]キーを押すと1段上の階層に戻ります。設定中に選択する数字をまちがえたときは[戻る／クリア]キーを押すと選択した数値を訂正することができます。

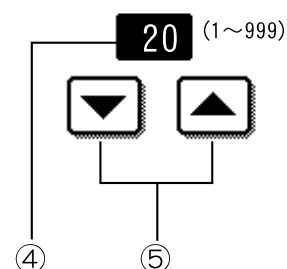
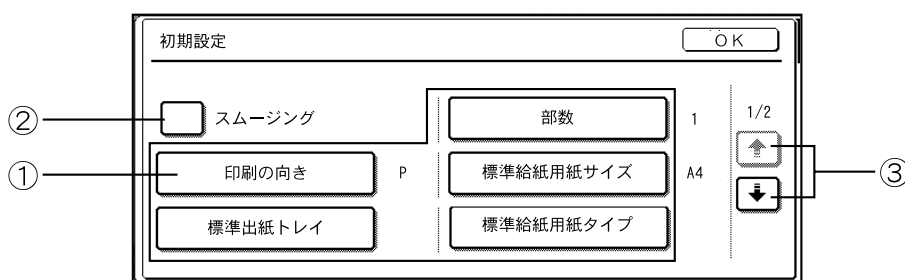
タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

1 プリンタ画面で[環境設定]キーをタッチして、環境設定メニュー画面を表示させる

本機にプリントのデータがあるとき（プリントホールドジョブ）または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しく環境設定を行う前の環境状態で印刷されます。

2 目的の項目のキーをタッチして設定画面を表示させる

各設定項目の内容については、次ページからの説明を参照してください。

3 目的の項目の設定画面で、希望の設定値を設定し、[OK]キーをタッチする

続いて他の項目の設定を行うときは、手順2〜3をくり返してください。

4 設定を終了するときは[終了]キーをタッチする

[環境設定]キー操作補足説明

（タッチパネル式の操作パネルを使用している場合）

画面によっては以下のような入力キーが表示されます。

①項目が ［×××］ 表示の場合は、そのキーをタッチするとその項目の設定画面が表示されます。
②項目の前に □ があるものは、□をタッチすると ☑ のようにチェックマークが付き、設定された状態になります。
　チェックマーク（☑）が付いている状態でタッチすると □ 表示になり、設定が解除されます。
③設定項目が次画面にわたる場合、[↑]キーまたは[↓]キーをタッチすると、画面を切り替えることができます。
　また、[OK]キーをタッチすると、前画面に戻ります。
④設定した数値が表示されます。
⑤[▼]キーまたは[▲]キーをタッチすると数値を設定できます。

初期設定について

初期設定は、プリンタドライバを使用しない環境（例えばMS-DOSからのプリントや付属のプリンタドライバをインストールしていないコンピュータからのプリントなど）からプリントするときに、詳細なプリント条件を設定します。（ただし、白紙プリントの禁止項目はSPDL2プリンタドライバを使用しているときも有効になります。）
設定できる項目は次のとおりです。

> メモ プリンタドライバとプリンタ初期設定の設定内容が重複するときは、プリンタドライバ側の設定が優先されます。プリンタドライバで設定できる項目に関しては、プリンタドライバ側で設定してください。

■ スムージング

スムージングはプリントする文字や画像の丸みをおびた曲線部分のギザギザを減らし、擬似的に解像度を高めます。

初期設定値：スムージングする

（スムージングを）する、しないのいずれかを設定できます。

■ 部数

部数は、プリントする部数を設定するときに使用します。

初期設定値：1部

1から999部の範囲で設定できます。

■ 印刷の向き

印刷の向きは、プリントするデータを縦方向にプリントするか、または横方向にプリントするかを設定します。

初期設定値：縦
縦または横のいずれかを設定できます。

■ 標準給紙用紙サイズ

通常時に、プリントに使う用紙のサイズを設定します。
特に指定がないかぎり、設定した用紙でプリントされます。

初期設定値：A4

A3、B4、A4、B5、A5、11X17、8-1/2X14、8-1/2X13、8-1/2X11、7-1/4X10-1/2、5-1/2X8-1/2のいずれかを設定できます。
（英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、画面上でA3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、フルスキャップ、レター、エグゼクティブ、インボイスとそれぞれ表示されます。）

■ 標準給紙用紙タイプ

通常時に、プリントに使う用紙のタイプを設定します。特に指定がないかぎり設定したタイプの用紙でプリントされます。

初期設定値：普通紙

普通紙、印刷済用紙、再生紙、OHPフィルム、レターヘッド紙、パンチ紙、色紙のいずれかを設定できます。

■ 標準出紙トレイ

通常時に、プリントに使う排紙トレイを設定します。アプリケーションソフトウェアで、特に指定がないかぎり、設定したトレイに排紙されます。

初期設定値：周辺装置の装着状況によって異なります。

周辺装置の装着状況によって、設定できるトレイが異なります。またこの設定項目自体が選択できない場合もあります。

■ 白紙プリントの禁止

白紙ページが排出されるのを禁止します。

初期設定値：禁止しない

（白紙プリントを）禁止する、禁止しないのいずれかを選択できます。

SPDL設定について

SPDL設定はSPDLのシンボルセットを英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国の文字に対応させるかを設定するときに使用します。（国別に異なるシンボルを使用するときに使用します。）

初期設定値："1"（Roman-8）

シンボルセットの設定項目は8-6ページを参照してください。
また、「SPDLシンボルセットリストの印刷」（3-15ページ参照）で数値とシンボルセットの対称表をプリントすることができます。
英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、SPDLシンボルセットの選択項目を選び設定します。タッチ式操作パネルを使用している場合は、SPDLシンボルセットの数値を選んで設定してください。

PS設定について

PS設定はPostScriptデータをプリントした際、処理に失敗してPS（PostScript）エラーが発生した場合に、エラーの原因についてプリントする、しないを設定します。

初期設定値：プリントしない

（PS（PostScript）エラーが発生した原因について）プリントする、しないのいずれかを設定できます。

ESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用するには

この製品をESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用する場合のコンピュータのシステム条件やアプリケーションソフトウェア上でのプリンタ名設定について説明しています。

ESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用するにはコンピュータのシステム条件が下記の条件を満たす必要があります。

● ハードウェアがIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）、NEC PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズであること。
● 使用するDOSアプリケーションソフトウェアがESC/PまたはESC/Pスーパー対応であること。

■ ESC/Pモード、ESC/Pスーパーモードの内容

ESC/Pモードは、ESC/Pの制御コードのみでプリント処理を行い、ESC/PスーパーモードはESC/Pの制御コードに加え、PC-PR201Hの制御コードでのプリント処理も行います。
この製品は、セイコーエプソン株式会社のVP-1100のエミュレーションを行います。

ESC/Pエミュレーションモード
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトウェアのほとんどを使うことができます。

ESC/Pスーパーモード
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンタまたはNECのPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトウェアのほとんどを使うことができます。

3

アプリケーションソフトウェア上のプリンタドライバ設定について

DOSアプリケーションソフトウェアからこの製品の機能を利用するためには、プリントする前にアプリケーションソフトウェア側でプリンタドライバを指定する必要があります。設定方法は、使用するアプリケーションソフトや環境によって異なります。

● お願い ●

- 不適切なプリンタドライバを選択したときや、他のプリンタドライバで代用する場合は、この製品の機能を充分に利用できない場合があります。ソフトウェア上で適切なプリンタドライバを選択することは、プリンタとして使用する上で最も重要な条件になります。

プリンタドライバの選択

DOSアプリケーションソフトウェアでは、各ソフトウェアの設定メニューの中でプリンタ名を選択します。設定項目の名称や設定方法は、ご使用のソフトウェアによって異なりますが、多くは「プリンタ名の選択・設定」、「プリンタ設定」などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。詳しくは、ご使用のDOSアプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。

DOSアプリケーションソフトウェアのプリンタ機種選択では、次の優先順位でプリンタの機種名を選択します。

優先順位 高　VP-1100
↑　ESC/P24-J84
　　ESC/P24-J83
↓　ESC/P
優先順位 低　PC-PR201H（ESC/Pスーパーモードのみ）

● お願い ●

この製品はVP-1100が保有するESC/Pスーパー機能を利用できますが、以下の点において若干の違いがあります。

- 文字
  書体名が同じでもフォントデザインの違いにより、プリントの書体、印字結果が若干異なります。
  外字とダウンロードフォントはドット数の違いにより、プリントの書体が粗くなります。
- イメージデータ
  解像度の違いにより、プリント結果が若干異なります。

ESC/P、ESC/Pスーパーのプリンタ環境設定を行う

この製品をESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用する場合、操作パネル上で設定できる項目には、次に示すものがあり、それらの項目は必要に応じて変更することができます。それぞれの項目には工場出荷時の初期設定値があらかじめ設定されていますので、設定値を変更する必要がない項目については設定し直す必要はありません。DOSアプリケーションソフトウェア上での設定値の変更のしかたは、それぞれのDOSアプリケーションソフトウェアの説明書を参考にしてください。

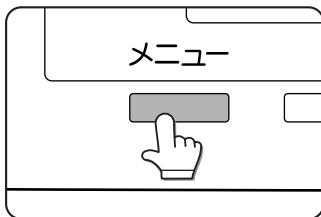
設定項目一覧

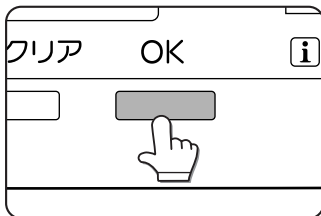
- 設定項目についての内容、設定値の変更などについてはそれぞれのページを参照してください。
- 表中の※印は工場出荷時の初期設定値で、複合機本体のメインスイッチを“切”の状態にしても変更されるまでは保持される設定値です。
- 表中の注1の項目は、本機側で設定している値とDOSアプリケーションソフトウェア上で設定した値が異なる場合、DOSアプリケーションソフトウェアで設定した値が優先されます。それぞれのドキュメントのプリント処理が終わると、本機側で設定した設定値に戻ります。

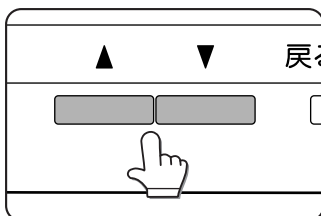
設定項目	設定値（※は初期設定値）	適用されるエミュレーション	参照ページ
プリントモード設定	ESC/P、ESC/Pスーパー※	―	3-9
用紙位置設定（PC-PR201Hのみ）	左※、中央、中央 -5mm、中央 ＋5mm	ESC/Pスーパー	
位置補正設定	-99 ～ ＋99mm（1mmごとに設定可）、0mm※	ESC/P、ESC/Pスーパー	
日本語フォント設定	明朝※、ゴシック	注1 ESC/P、ESC/Pスーパー	
欧文フォント設定	ローマン※、サンセリフ	注1 ESC/P、ESC/Pスーパー	
文字コード表の設定	カタカナ※、拡張グラフィック	注1 ESC/P、ESC/Pスーパー	3-10
プリント桁範囲の設定	用紙※、13.6	ESC/P、ESC/Pスーパー	
プリント開始位置の設定	8.5mm※、10mm、22mm、最大行数	ESC/P、ESC/Pスーパー	
改行コードの設定	CR※、CR＋LF	ESC/P、ESC/Pスーパー	
ミシン目スキップの設定	しない※、する	注1 ESC/P、ESC/Pスーパー	3-11
各国文字の設定（PC-PR201Hのみ）	アメリカ、ドイツ、イギリス、スウェーデン、日本※	ESC/Pスーパー	
ゼロキャラクタの選択	0※、φ	ESC/P、ESC/Pスーパー	
縮小印刷	しない※、F15→B4横、F15→A4横 F10→A4縦、B4横→A4横、B4縦→A4縦	ESC/Pスーパー	3-12
プリント枚数の設定	1※～999	すべてのエミュレーションに適用	3-4
印刷の向きの設定	縦※、横		
標準給紙用紙サイズ設定	A3、B4、A4※、B5、A5、11X17、81／2X14、8-1／2X13、8-1／2X11、5-1／2X8-1／2		
標準給紙用紙タイプ	普通紙※、印刷済用紙、再生紙、レターヘッド紙、パンチ紙、色紙		
標準出紙トレイ設定	（オプションの装着状況により異なります。）		
設定リストの印刷	プリンタ設定一覧表		3-15
A4/レターサイズ自動変換	する、しない※		6-11
注意通告ページ出力禁止	する、しない※		
16進ダンプ出力設定	通常モード※、HEXダンプモード		6-12
I/Oタイムアウト時間設定	1～999秒、20秒※		

■ プリンタ環境設定を行うときの共通する操作手順（操作パネルで設定できる項目）

以下の手順でESC/P、ESC/Pスーパーのプリンタ環境設定を行ってください。

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

1 **[メニュー]キーを押して、環境設定メニュー画面を表示させる**

「ｶﾝｷｮｳｾｯﾃｲ」のメッセージが表示されるまで[メニュー]キーを押してください。
本機にプリントのデータがあるとき（プリントホールドジョブ）
または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しく環境設定を行う前の環境状態で印刷されます。

2 **[OK]キーを押す**

3 **▲または▼キーを押して、ESC/P設定画面を表示させる**

「ESC/Pｾｯﾃｲ」のメッセージが表示されるまで、▲または▼キーを押してください。

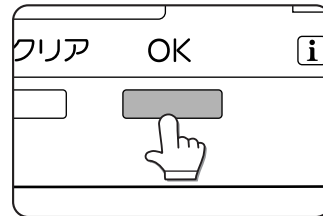
4 **[OK]キーを押す**

5 **▲または▼キーを押して、目的の設定項目の画面を表示させる**

各設定項目の内容については、3-9ページからの説明を参照してください。

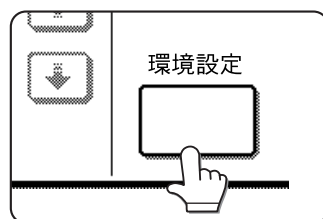
6 **[OK]キーを押す**

7 **▲または▼キーを押して、希望の設定値を表示させる**

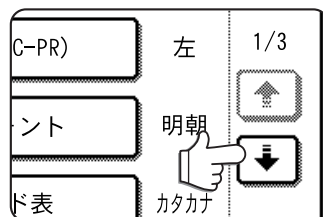
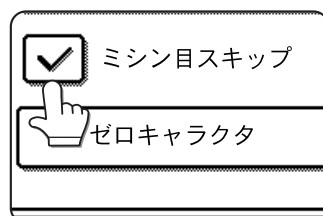
8 **[OK]キーを押す**

設定値の後に＊マークが付き、設定が確定します。
位置補正（3-9ページ）の設定では、複数桁の数値を設定するため、1回の設定で手順7～8の操作を複数回くり返す必要があります。
設定中に選択する数字をまちがえたときは[戻る／クリア]キーを押すと選択した数値を訂正することができます。
続いて他の項目のESC/P設定を行うときは、[戻る／クリア]キーを押して、手順5の状態まで戻り、手順8までの操作をくり返してください。

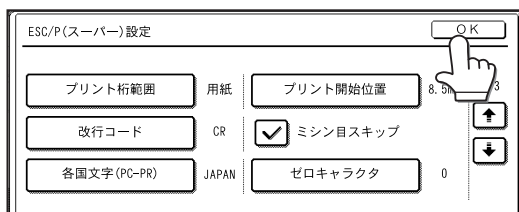
9 **設定が終了したら[メニュー]キーを押して基本画面にもどる**

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

1 **プリンタ画面で[環境設定]キーをタッチ押して、環境設定メニュー画面を表示させる**

本機にプリントのデータがあるとき（プリントホールドジョブ）または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しく環境設定を行う前の環境状態で印刷されます。

2 **[ESC/P設定]キーをタッチする**

3 **目的の項目のキーをタッチして設定画面を表示させる**

[↑]キーまたは[↓]キーをタッチして、画面のページを切り換えることができます。
各設定項目の内容については、次ページからの説明を参照してください。

タッチするとチェックマークが付くキーは、チェックマークを付ける(☑)ことで、その項目が設定されます。

4 **目的の項目の設定画面で、希望の設定値を設定し、[OK]キーをタッチする**

続いて他の項目の設定を行うときは、手順3～5をくり返してください。

5 **設定を終了するときは[終了]キーをタッチする**

■ プリントモード設定

ESC/Pのモードを選択します。
ESC/Pモード時はESC/Pの制御コードのみ処理を行います。
ESC/Pスーパーモード時はESC/Pの制御コードに加え、PC-PR201Hの制御コードも処理することができます。

初期設定値：ESC/Pスーパー（英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、画面上でESC/PSと表示されます。）

ESC/P、ESC/Pスーパーのいずれかを選択できます。

> プリントモードは、基本的にESC/Pスーパー（初期設定値）で使用してください。コントロールコードがESC/PであるかPC-PR201Hであるかを自動判別します。国内版DOSアプリケーションソフトウェアを使用していて、画面とは違う文字が印刷される場合や印刷に不具合が生じる場合はESC/Pモードで印刷してください。

■ 用紙位置設定

ESC/PスーパーモードでPC-PR201H用アプリケーションプログラムを使用しているときに、横方向の印字範囲のどの位置に用紙を合わせるか設定します。

初期設定値：左

左、中央、中央-5mm、中央+5mmのいずれかを選択できます。

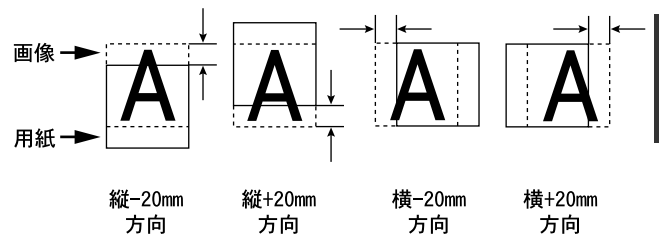
> アプリケーションプログラムでの左右マージンの設定によっては一部印刷が行われない部分が出る可能性があります。

■ 位置補正

プリントする位置の補正をします。
位置補正は用紙の縦・横には関係なく画像の天地左右に対しての位置を表わします。

初期設定値：各0mm

縦0±99mm、横0±99mmの範囲内で1mm単位で指定できます。
符号（+、−）は[メッセージ順送り]キーで切り替えることができます。

【例：各方向に20mm補正する場合】

> 位置を補正した場合、プリントするデータによっては一部印刷が行われない部分が出る可能性があります。

■ 日本語フォント設定

日本語の書体設定を行います。

初期設定値：明朝

明朝・ゴシックのいずれかを選択できます。

明朝　あいうえお

ゴシック　あいうえお

> JIS第1水準、JIS第2水準の2バイト系漢字コードを使用（JIS X0208-1983準拠）

■ 欧文フォント設定

欧文の書体（ANK文字）の設定を行います。

初期設定値：ローマン

ローマン・サンセリフのいずれかを選択できます。

ローマン　ABCDEabcde

サンセリフ　ABCDEabcde

3

■ 文字コード表の設定

文字コード（1バイト系）表の設定を行います。

初期設定値：カタカナ

カタカナ・拡張グラフィックのいずれかを選択できます。

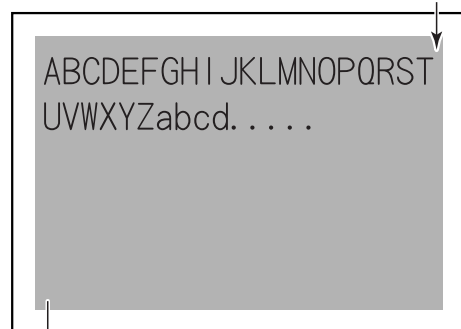
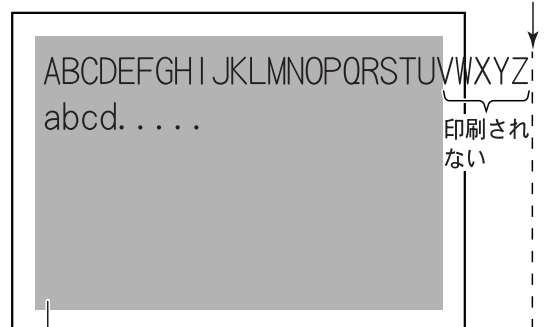
■ プリント桁範囲の設定

印字範囲の設定を行います。
［用紙］選択時は、設定された用紙および用紙方向の幅が印字桁範囲になります。［13.6］選択時は、既定の右マージンは無効になり、文字ピッチが10CPIのとき136桁が印字桁範囲になります。ただし、設定された用紙がA3またはB4で用紙方向が横の場合は、［用紙］に設定されていても約34.5cmが右マージンになります。

初期設定値：用紙

用紙、［13.6］のいずれかを選択できます。

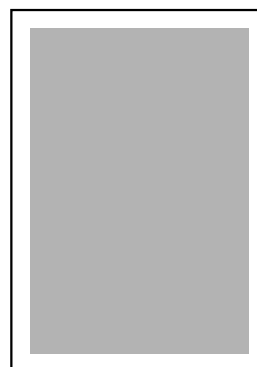
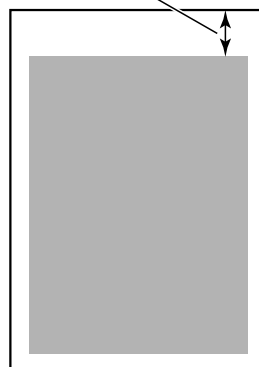
> メモ ［13.6］を選択した場合、設定する用紙によっては一部印刷が行われない可能性があります。

プリント桁範囲：用紙

プリント桁範囲：約34.5cm

■ プリント開始位置の設定

印字開始位置（用紙の上端から第1行目までの距離）の設定を行います。
印刷開始位置を変更すると印字領域の大きさが変わります。

初期設定値：8.5mm

8.5mm、10mm、22mm、最大行数のいずれかを選択できます。

> プリント開始位置は、アプリケーションソフトウェア側での設定が優先されます。

■ 改行コードの設定

改行コードが送られてきたときのプリントの動作を設定します。
［CR］を選択すると、復帰のみを行います。
［CR＋LF］を選択すると、復帰後さらに改行を行います。

初期設定値：CR

CR、CR＋LFのいずれかを選択できます。

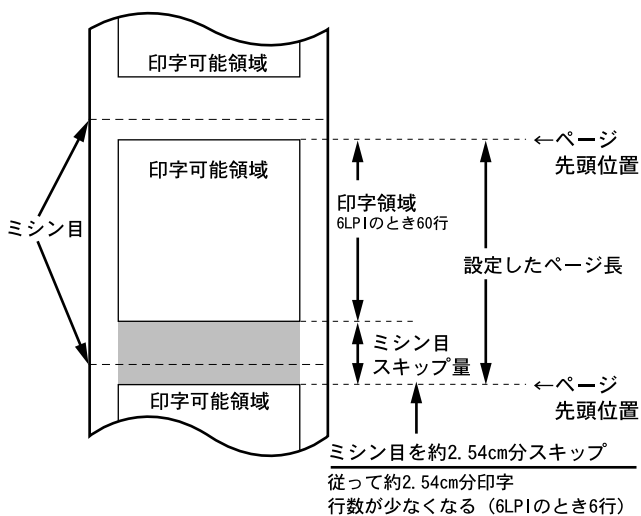
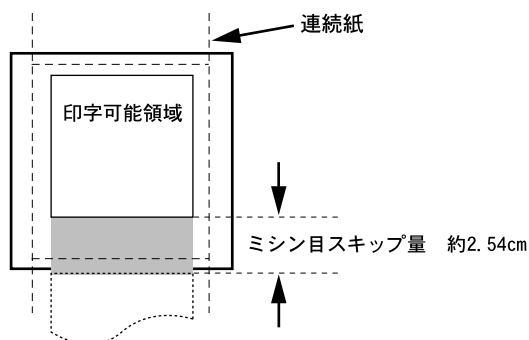
> アプリケーションソフトウェアの種類によっては、復帰・改行動作を行うときにCRコードのみを送るものがあります。［CR+LF］に設定すると、CRコードのみで復帰、改行動作を行います。

■ ミシン目スキップの設定

ミシン目のスキップ約2.54cmを行うかどうかを設定します。ミシン目スキップとは、連続用紙でミシン目が入っていると想定し、その部分にプリントする文字がかからないように間をあけてプリントすることです。
この設定は、コンピュータフォームなどの連続用紙にプリントできるプリンタを使用することを前提としたアプリケーションソフトウェア側の設定項目です。本機では連続用紙は使用できませんが、この設定によりアプリケーションソフトウェアでの設定を生かした形で、連続用紙にプリントするときのようにミシン目をスキップさせることができます。

初期設定値：しない

（ミシン目スキップを）する、しないのいずれかを選択できます。

【連続用紙でのミシン目スキップ
連続用紙にプリント可能なプリンタでの出力例】

【本機器でミシン目スキップを想定した場合の出力例】

■ 各国文字の設定

ESC/PスーパーモードでPC-PR201H用アプリケーションソフトウェア使用時に、英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国の文字に対応させるか設定します。

初期設定値：日本

アメリカ、ドイツ、イギリス、スウェーデン、日本のいずれかを選択できます。

■ ゼロキャラクタの選択

英数カナ文字コード表の「0」の書体を設定します。

初期設定値：0

0、Φのいずれかを選択できます。

3

■ 縮小印刷

連続用紙またはB4の印刷データを縮小印刷する際の縮小率を設定します。例えば、「F15→B4横」に設定すると、F15サイズ連続用紙への印刷を想定して作られたデータをB4サイズに縮小して横方向で印刷します。「設定しない」以外に設定した場合、プリンタ基本設定の「標準給紙用紙サイズ」（3-4ページ）および「印刷の向き」（3-4ページ）の設定値は無視され、本項目で設定された縮小先の用紙サイズおよび印刷の向きが適用されます。印刷に合った用紙をトレイにセットしてください。

初期設定値：設定しない

しない、F15→B4横、F15→A4横、F10→A4縦、B4横→A4横、B4縦→A4縦のいずれかを選択できます。

【設定値と出力結果例】

設定値	原稿	印刷結果
F15→B4横	F15	B4
F15→A4横		A4
F10→A4縦	F10	A4
B4横→A4横	B4	A4
B4縦→A4縦	B4	A4

ユーザー設定を行う

ユーザー設定は、お客さまの使用条件に応じた設定を行いたいときに使用します。ユーザー設定で設定できる項目は次の通りです。

- 総使用枚数 .... 出力枚数などを表示します。(3-15ページ)
- 画面コントラスト※1 .... 操作パネルの液晶表示画面の見やすさを調整します。(3-15ページ)
- データリストプリント .... 今まで設定した項目のリストやフォントのリストをプリントするときに使用します。(3-15ページ)
- 日付・時刻設定 .... 本機に内蔵されている時計の日付と時刻を設定します。
- 給紙トレイ設定※1 .... 給紙トレイごとに用紙タイプ、用紙サイズなどを設定します。(3-15ページ)
- 給紙トレイ自動切り替え※4 .... 連続印刷中に用紙切れになった時、自動的に別の同一用紙サイズのトレイから給紙させるときに設定します。

これらの項目の具体的な設定手順については、別冊のファクス編取扱説明書に記載しています。

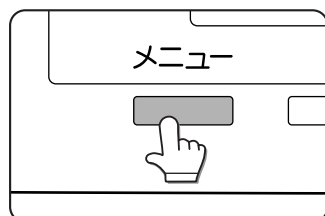
- 相手先登録※3 .... 相手先の電子メールアドレス、ファクス電話番号、インターネットファクスのアドレスを登録します。またグループ登録、メモリボックス登録、カスタムインデックス登録、スキャナ発信元登録の設定が行えます。
- ファクス受信設定※2 .... ファクスの受信設定(自動/手動)を行います。
- ファクス受信データ転送※2 ...... メモリー代行受信しているファクス受信データを別の相手に転送することができます。

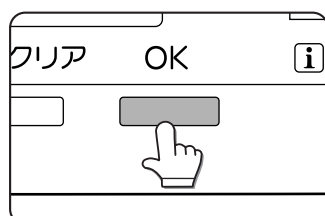
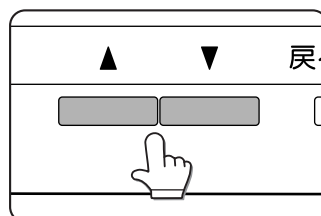
- キーオペレータープログラム ..... キーオペレーター(本機の管理者)の方が行うための設定プログラムです。周辺装置のスキャナユニットを装着している場合、ユーザー設定メニュー画面にこの設定を行うためのキーが表示されますが、この設定に関しては6-1ページを参照してください。

※1 周辺装置のスキャナユニットを装着しているシステムで設定できます。
※2 周辺装置のスキャナユニットを装着し、ファクス機能が利用できるシステム状態で設定できます。
※3 周辺装置のスキャナユニットを装着し、ファクス機能あるいはネットワークスキャナ機能が利用できるシステム状態で設定できます。
※4 周辺装置のスキャナユニットを装着していないシステムで使用できます。

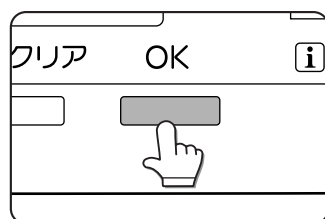
ユーザー設定を行うときの共通する操作手順(操作パネルで設定できる項目)

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

1 [メニュー]キーを押して、ユーザー設定メニュー画面を表示させる

「ﾕｰｻﾞｰｾｯﾃｲ」のメッセージが表示されるまで[メニュー]キーを押してください。
本機にプリントのデータがあるとき(プリントホールドジョブ)または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しくユーザー設定を行う前の設定状態で印刷されます。

2 [OK]キーを押す

3 ▲または▼キーを押して、目的の設定項目の画面を表示させる

4 [OK]キーを押す

5 ▲または▼キーを押して、希望の設定内容を表示させる

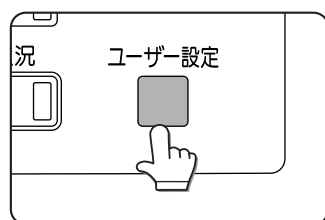
各設定項目の内容については、3-15ページからの説明を参照してください。

6 [OK]キーを押す

設定値の後に＊マークが付き、設定が確定します。設定内容によっては、さらに項目の選択と選択内容の確定が必要な場合があります。この場合は同様に▲または▼キーで項目を選択、[OK]キーで選択内容を確定してください。続いて他の項目の設定を行うときは、[戻る／クリア]キーを押して、手順5～6の操作をくり返してください。

7 設定が終了したら[メニュー]キーを押して、基本画面に戻る

各設定が終了した後で[戻る／クリア]キーを押すと1段上の階層に戻ります。設定中に選択する数字をまちがえたときは[戻る／クリア]キーを押すと選択した数値を訂正することができます。

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

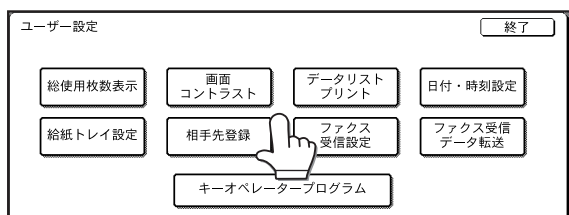
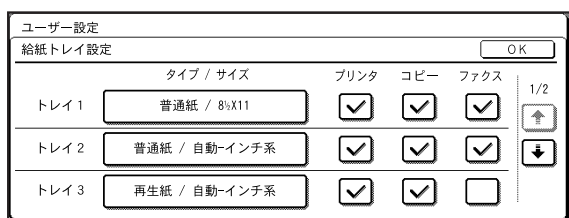
1 プリンタ画面で[ユーザー設定]キーを押して、ユーザー設定メニュー画面を表示させる

本機にプリントのデータがあるとき（プリントホールドジョブ）または、プリントのデータが本機に送られているときのジョブは、新しくユーザー設定を行う前の設定状態で印刷されます。

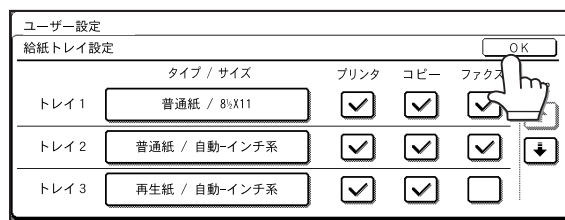
2 目的の項目のキーをタッチして設定画面を表示させる

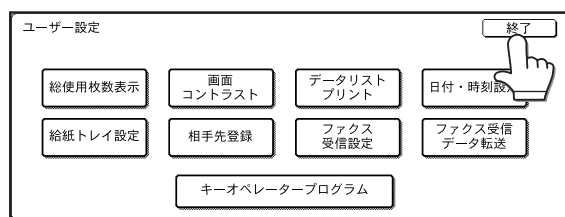
各設定項目の内容については、次ページからの説明を参照してください。

ユーザー設定
給紙トレイ設定　OK

	タイプ / サイズ	プリンタ	コピー	ファクス
トレイ1	普通紙 / 8½X11	☑	☑	☑
トレイ2	普通紙 / 自動-インチ系	☑	☑	☑
トレイ3	再生紙 / 自動-インチ系	☑	☑	☐

1/2

設定項目によっては、さらに項目を選択するキーが表示されたり、ページを切り替えるキーが表示されます。タッチするとチェックマークが付くキーは、チェックマークを付ける（☑）ことで、その項目が設定されます。

3 目的の項目の設定画面で、希望の設定値を設定し、[OK]キーをタッチする

続いて他の項目の設定を行うときは、手順2～3をくり返してください。

4 設定を終了するときは[終了]キーをタッチする

設定項目について

■ 総使用枚数

この項目は本機での総出力枚数を表示および出力させることができます。
周辺装置の装着状況によって、表示および出力させることができる内容は異なります。

■ 画面コントラスト

周辺装置のスキャナユニットを装着しているシステムで設定できます。
画面コントラスト調整は、タッチパネルの液晶画面の見やすさを調整するときに使用します。

■ データリストプリント

この製品で設定した項目のリストや、内蔵されているフォントをチェックするためにテストページをプリントできます。
テストページとしてプリントできる項目は次のとおりです。

● 設定リストプリント
プリンタ機能で設定した内容をプリントします。

● プリンタテストページ

- SPDLフォントリストの印刷：SPDLで使用できるフォントの一覧をプリントします。
- SPDLシンボルセットリストの印刷：SPDLシンボルセットリストをプリントします。
- NICページの印刷：NIC（Network Interface Card：ネットワークインタフェースカード「周辺装置のプリント・サーバー・カード」）で使用する設定の一覧表をプリントします。
- PS欧州フォントリストの印刷：PostScriptで使用できる欧州フォントの一覧をプリントします。
- PS漢字フォントリストの印刷：PostScriptで使用できる漢字フォントの一覧をプリントします。

> メモ キーオペレータープログラムの「テストページ印刷禁止」（6-11ページ）が禁止に設定されているとプリンタテストページ（テストページプリント）を出力することはできません。

■ 日付・時刻設定

本機に内蔵されている時計の日付と時刻を設定します。
この設定は日時情報が必要な各種の機能に使用します。

■ 給紙トレイ設定

給紙トレイごとに用紙タイプ、用紙サイズ、使用モードの設定および給紙トレイ自動切り替え機能の入/切を行います。
用紙タイプ、用紙サイズのくわしい設定方法については、1-19、1-20ページを参照してください。
使用モードの設定は周辺装置のスキャナユニットを装着している場合に行えます。
また給紙トレイ自動切り替え機能の入／切は、スキャナユニットを装着していない場合、下記項目の「給紙トレイ自動切り替え」で設定してください。

■ 給紙トレイ自動切り替え

周辺装置のスキャナユニットを装着していないシステムで使用できます。
同一用紙サイズのトレイが２つ以上セットされていると、連続プリント中に用紙切れになっても、別の同一用紙サイズのトレイに自動的に切り替えてプリントを続けることができる給紙トレイ自動切り替えの入/切を行います。周辺装置のスキャナユニットを装着している場合は、上記項目の「給紙トレイ設定」で設定してください。

第４章

機器の管理

この章は、紙づまり処置、清掃などの作業について説明しています。

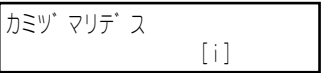
ページ

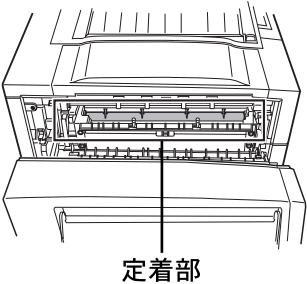
つまった紙を取り除く

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

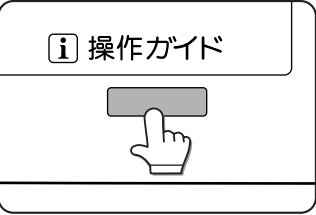
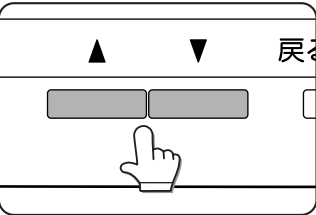
※タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は、次ページを参照してください。

印刷中に紙がつまると、次のようなメッセージが表示され、印刷は停止します。次の手順に従って紙づまり処置を行ってください。

```
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ
          [i]
```

● お願い ●
- 紙を取り除くときに感光体ドラムにキズをつけたり手をふれたりしないでください。（1-5ページ）
- つまった紙を破らないように確実に引き出してください。
- 紙が破れた場合は、紙片を機器の中に残さないように完全に取り除いてください。

注意 高温注意
定着部は高温になっていますので、十分注意してください。

紙づまり処置の手順

紙づまりのメッセージが表示されたときに操作ガイドキーを押すとおよその紙づまり箇所を示すメッセージを表示させることができます。次の手順で紙づまり箇所を確認した上、それぞれの紙づまり処置手順の説明ページを参照してください。

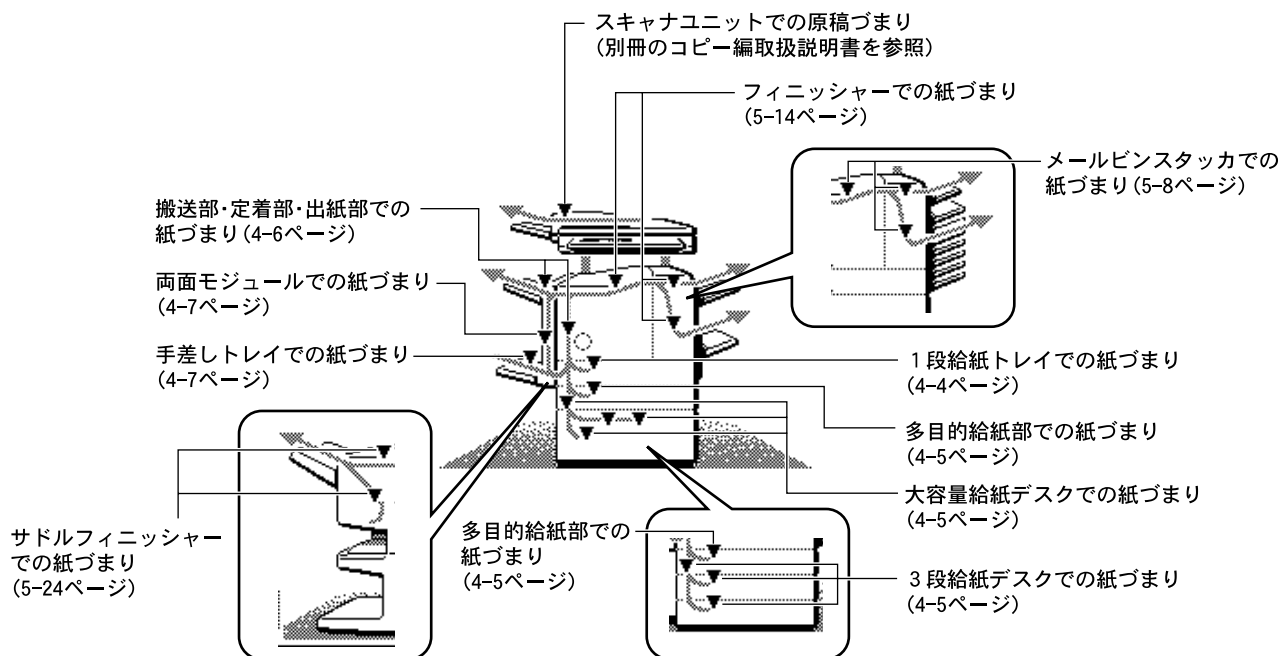
1 操作ガイドキーを押す

2 操作パネルの▲キーまたは▼キーを押す

▼キーを押すごとに紙づまりの処置方法を示すメッセージを順次表示します。

次の表の表示メッセージは、およその紙づまり箇所を表わします。紙づまりの処置の方法は、表のページを参照してください。

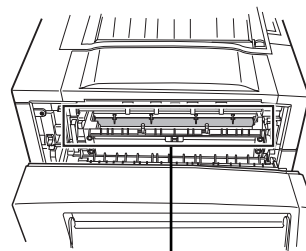
表示メッセージ	ページ
ﾄﾚｲ*ｦﾋｷﾀﾞｼ ﾂﾏｯﾀﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	4-4
ｷｭｳｼﾃﾞｽｸﾉﾋﾀﾞﾘｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	4-5
ﾎﾝﾀｲﾋﾀﾞﾘｶﾞﾜﾉｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	4-6
ﾃｻｼﾄﾚｲｶﾗ ﾂﾏｯﾀﾖｳｼｦ ﾄﾘﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	4-7
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	4-7
ﾒｰﾙﾋﾞﾝｽﾀｯｶﾉﾏｴｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	5-8
ﾁｭｳｹｲﾊﾟｽﾉｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	5-8、5-14
ﾌｨﾆｯｼｬｰﾉｳｴｶﾊﾞｰｦ ﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	5-14、5-24
ﾌｨﾆｯｼｬｰｦ ｲﾄﾞｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ	5-24
ﾌｨﾆｯｼｬｰﾉﾏｴｶﾊﾞｰｦﾋﾗｲﾃｸﾀﾞｻｲ	5-24

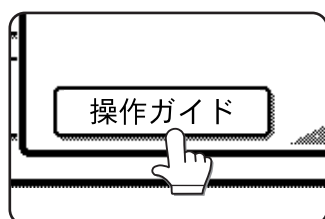
3 操作ガイドキーを押して、紙づまり処置の説明を終了する

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

印刷中に紙がつまると、操作パネルの画面に"紙がつまりました。"のメッセージが表示され、コピーやファクス受信などの印刷は停止します。下図の"▼"マークの点滅している箇所がおよその紙づまり位置です。それぞれの紙づまり箇所の処置手順を参照し、つまった紙を取り除いてください。

メモ
- ファクス受信したデータはメモリーに全て一時保存されます。紙づまりが発生していると受信したデータは印刷されません。紙づまり処置が行われると、受信したデータが自動的に印刷されます。
- 紙づまり処置を行うときには、機械に大きな振動を与えないよう静かに処理してください。原稿の読み取り中に振動が与えられると読み取り画像に影響して、部分的に乱れたコピーやイメージ送信画像（ファクス送信、ネットワークスキャナ送信）になる場合があります。また、周辺装置のハードディスクドライブを装着している場合は、ハードディスクドライブの故障の原因になる場合があります。

● お願い ●
- 紙を取り除くときに感光体ドラムにキズをつけたり手をふれたりしないでください。（1-5、4-6ページ）
- つまった紙を破らないように確実に引き出してください。
- 紙が破れた場合は、紙片を機器の中に残さないように完全に取り除いてください。

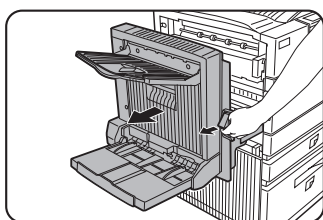
⚠注意　高温注意
定着部は高温になっていますので、十分注意してください。

紙づまり処置の説明表示

紙づまりのときにタッチパネルに表示されている[操作ガイド]キーをタッチすると、紙づまり処置の簡単な説明を表示させることができます。

給紙部での紙づまり

● **お願い** ●

- いきなりトレイを引き出さないでください。給紙していたトレイから紙が出かかりの状態で紙づまりしていることがあります。したがってトレイを引き出す前に、必ず左側の側面カバーを開けて紙がつまっていないかどうかをまず確認（手順1〜2）してください。確認せずにトレイを引き出すと、出かかりの紙が破れて紙片が機器の中に残り、取り除きにくくなることがあります。

■ 1段給紙トレイでの紙づまり

1 両面モジュールを引き出す

取っ手をつまみ、静かに開いてください。
両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを開いてください。

2 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

● **お願い** ●

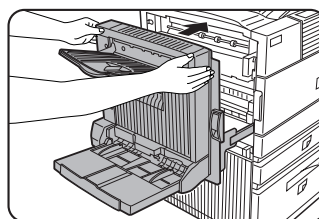
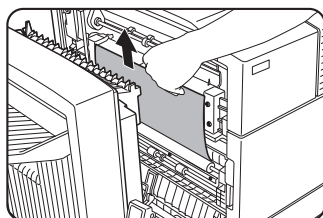
- 奥でつまっていることがありますので、よく確認して取り出してください。

3 手順２で紙がつまっていないときは、１段給紙トレイを引き出し、つまっている紙を取り出す

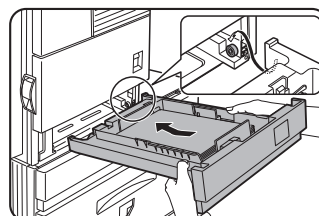
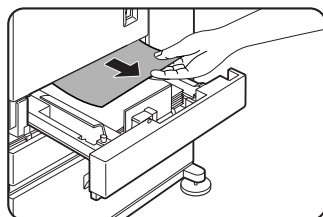
破れないように静かに取り出してください。

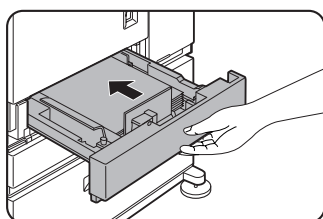
4 １段給紙トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

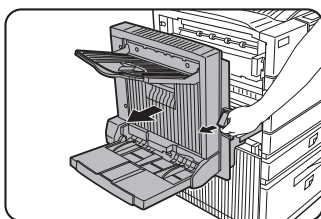
5 両面モジュールを静かに閉じる

両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを閉じてください。
閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

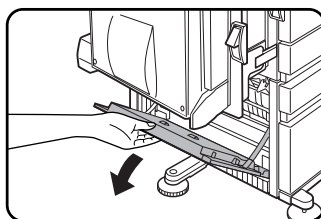
● **お願い** ●

- トレイでの紙づまりのとき、引き出したトレイの奥に用紙が落ちた場合、給紙していたトレイを本体から引き抜いて、用紙を取り出してください。（トレイの引き抜き方は下図を参照してください。）

手前いっぱいまで引き出したあと、斜め上にかたむけて引くと取りはずせます。また、トレイを取りつけるには、取りはずしたときの逆の要領で、斜め上にかたむけた状態で差し込み、先端が入ったら水平状態に戻して押し込んでください。

周辺装置の給紙デスクのトレイを取り出すときは、斜め上にかたむけた後、トレイの右側から引き出してください。（取りつける際は、左側から差し込んでください。）

周辺装置の３段給紙デスクのトレイの取り付けについて…
上段トレイの取り付け位置に中段および下段トレイを取り付け（またはその逆）て使用することはできません。（取り付けても奥まで押し込めません。）
３段給紙デスクのトレイを取りはずした場合は取り付けの際、トレイの取り付け位置にご注意ください。

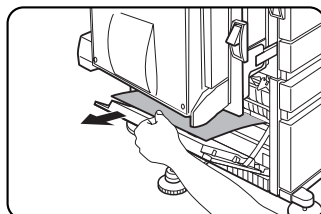
■ 多目的給紙部での紙づまり

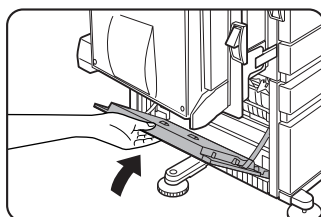
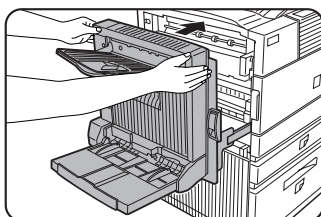
1 両面モジュールを引き出す

取っ手をつまみ、静かに開いてください。
両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを開いてください。

2 給紙デスクの左カバーを開く

取っ手をつまみ、静かに開いてください。
給紙デスクを装着していない場合は、多目的給紙トレイの左カバーを開いてください。

3 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

● **お願い** ●

- 奥でつまっていることがありますので、よく確認して取り出してください。

4 給紙デスクの左カバーを閉じる

5 両面モジュールを静かに閉じる

両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを閉じてください。
閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

6 手順３で紙がつまっていないときは、「１段給紙トレイでの紙づまり」（前ページの手順１～５）を参照し、同様の操作を行う

■ ３段給紙デスクでの紙づまり

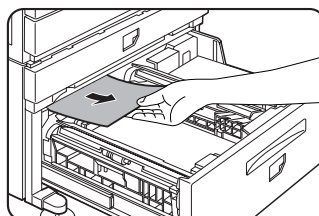
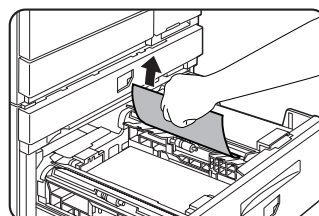
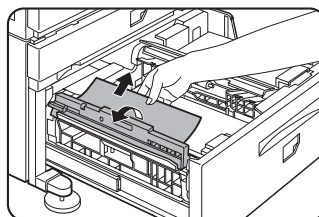
上段のトレイおよび中／下段のトレイでの紙づまり処置の手順は、いずれも左記項目の「多目的給紙部での紙づまり」手順１～６を参照し、同様の操作を行ってください。

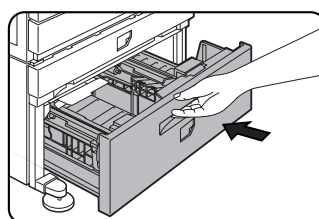
■ 大容量給紙デスクでの紙づまり

上段のトレイでの紙づまり処置の手順は、左記項目の「多目的給紙部での紙づまり」を参照し、同様の操作を行ってください。下段の大容量給紙部での紙づまり処置は以下の操作を行ってください。

1 左記項目の「多目的給紙部での紙づまり」の手順１～４を確認する

2 手順１で紙がつまっていないときは、「１段給紙トレイでの紙づまり」（前ページの手順１～２）を参照し、同様の操作を行う

3 手順１～２で紙がつまっていないときは、大容量給紙トレイを引き出し、つまっている紙を取り出す

●右側給紙テーブルで紙がつまっているときは…

●左側給紙テーブルで紙がつまっているときは…

ペーパーガイドを上げて、つまっている紙を取り出してください。
紙を取り出したあと、必ずペーパーガイドを元に戻してください。

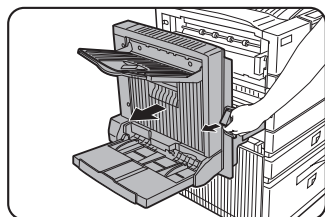
4 大容量給紙トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

5 両面モジュールを静かに閉じる

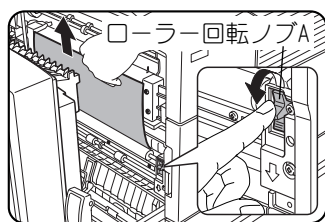
両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを閉じてください。
閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

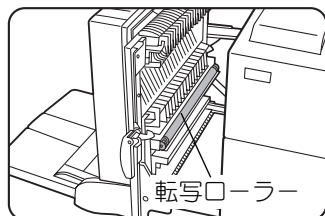
搬送部・定着部・出紙部での紙づまり

⚠ **注意**
- 定着部は熱くなっていますので、十分注意してください。（金属部分にはさわらないでください。）

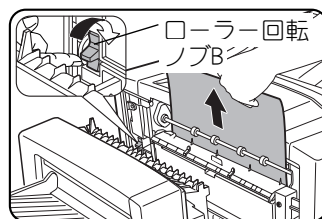
1 両面モジュールを引き出す

取っ手をつまみ、静かに開いてください。
両面モジュールを装着していない場合は、同様の操作で側面カバーを開いてください。

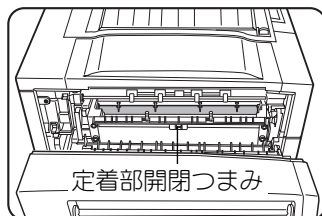
2 つまっている紙を取り出す

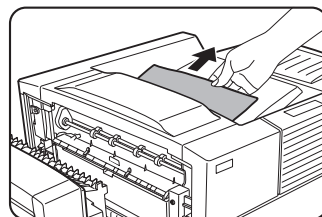
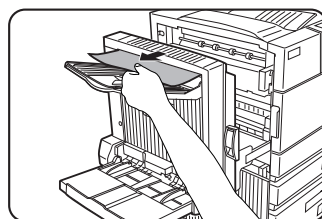
●搬送部で紙がつまっているときは…

ローラー回転ノブAを矢印方向に回し、つまっている紙を送り出して取り出す。

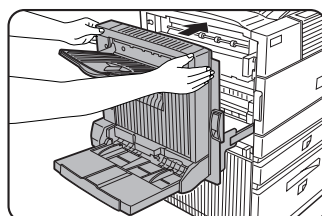
● **お願い** ●

転写ローラーには触れたりキズをつけたりしないでください。

感光体ドラムに触れたりキズをつけたりしないでください。

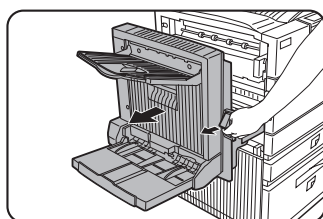
●定着部で紙がつまっているときは…

ローラー回転ノブBを矢印方向に回し、つまっている紙を送り出して取り出す。

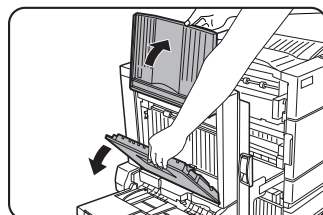
⚠ **注意**
- 定着部は熱くなっていますので、十分注意してください。（金属部分にはさわらないでください。）

つまった紙が定着部の内部へ入り込んでいるときは、定着部開閉つまみを手前に倒して定着部を開き、紙を取り除いてください。

●出紙部で紙がつまっているときは…

破れないように静かに紙を取り出してください。

両面モジュールに排紙トレイを装着していて、出力紙がそちら側の出紙部でつまっている場合は、図のように取り出してください。

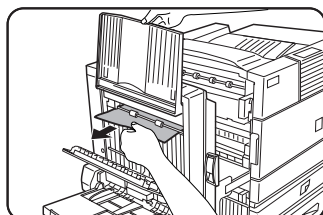
3 両面モジュールを静かに閉じる

閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

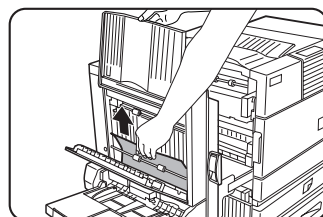
両面モジュールでの紙づまり

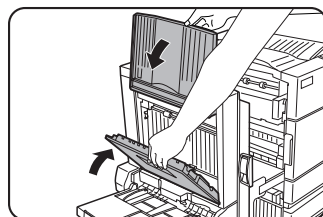
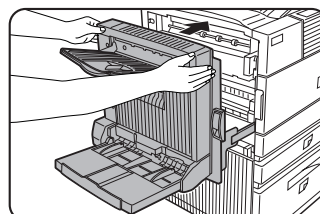
1 両面モジュールを引き出す

取っ手をつまみ、静かに開いてください。

2 排紙トレイを持ち上げて、両面モジュールのカバーを開ける

両面モジュールに排紙トレイを装着していない場合、排紙トレイを持ち上げる操作はありません。（手順2～4）

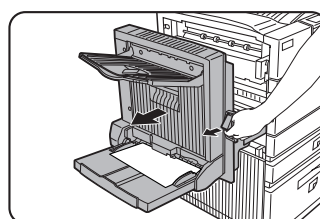
3 排紙トレイを持ち上げたまま、つまっている紙を取り出す

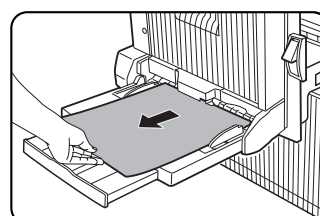
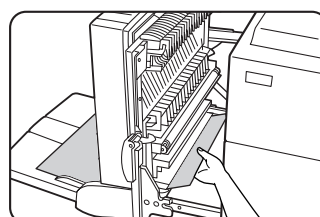
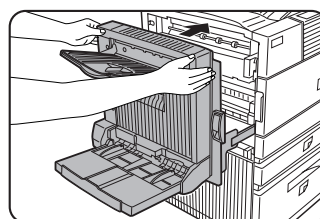
●両面モジュール上部で紙がつまっているときは…

破れないように静かに紙を取り出してください。

●両面モジュール下部で紙がつまっているときは…

破れないように静かに紙を取り出してください。

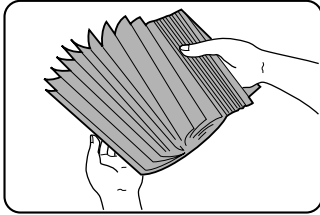
4 両面モジュールのカバーを閉じて、排紙トレイを戻す

5 両面モジュールを閉じる

閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

■ 手差しトレイでの紙づまり

1 両面モジュールを引き出す

取っ手をつまみ、静かに開いてください。

2 手差しトレイにつまっている紙を取り出す

破れないように静かに紙を取り出してください。

3 両面モジュールを閉じる

閉じたあと、紙づまり処置の画面が解除され、通常のメッセージ画面へ戻ったことを確認してください。

4

“故障かな？”と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼する前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、メインスイッチを切り、電源プラグをコンセントからぬいて、7-2ページの「アフターサービスについて」をお読みください。
ここではプリンタ機能および本機の機能全般に関する“故障かな？”の事例について記載しています。コピー、ファクス、ネットワークスキャナの個々の機能に関する“故障かな？”の事例については、それぞれの取扱説明書に、また周辺装置の排紙装置に関する事例については、それぞれの説明ページに記載していますので、そちらを参照してください。

こんなとき	ここをお確かめください	
機器が動かない	電源プラグが差し込まれていない	差し込んでください。
	メインスイッチが入っていない	“入”にしてください。
	レディランプが点灯していない	準備中（メインスイッチを入れた直後から約80秒）であることを示しています。この間は出力することはできません。レディランプが点灯するまでお待ちください。
	用紙を補給する必要があることをお知らせするメッセージが表示されている（英数カナ表示の操作パネルの場合は、同時に[エラー]ランプが点灯）	用紙を補給してください。（1-16ページ）
	トナーカートリッジの交換が必要であることをお知らせするメッセージが表示されている（英数カナ表示の操作パネルの場合は、同時に[エラー]ランプが点灯）	トナーがなくなっています。 すみやかにトナーの補給をしてください。（別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書を参照）
	紙がつまったことをお知らせするメッセージが表示されている（英数カナ表示の操作パネルの場合は、同時に[エラー]ランプが点灯）	つまっている紙を取り出してください。（4-2ページ）
	エラーをお知らせするメッセージが表示されている。（タッチパネル式の操作パネルの場合、電源を入れ直す必要があることをお知らせするメッセージが表示されている。）	メインスイッチを切り、10秒程度経ってから、再度メインスイッチを入れてください。何度かメインスイッチを入れ直しても、同じメッセージが表示されるときは、故障の可能性がありますので、この場合は、すみやかにお買いあげ販売店に連絡してください。
電源は入っているが、プリントデータを受信しない	インターフェースケーブルが正しく接続されていない	本機とコンピュータをインターフェースケーブルで確実に接続してください。
	プリンタドライバが正しくインストールされていない	プリンタドライバを正しくインストールしてください。（2-3ページ）
	プリンタドライバが正しく選択されていない/ネットワークに登録されていない（ネットワークプリンタとして使用時）	コンピュータのアプリケーションソフトウェアで使用するプリンタに本機の名前が付いたドライバが設定されているか、また適切なユーティリティを使って、ネットワーク上に名前が登録されているか確認してください。
データを受け取っているが、プリントされない（データランプが点滅している）	指定したサイズや種類の用紙がない	用紙補給、別の用紙選択またはプリント作業のキャンセルを選択してください。
コンピュータから本機を選択できない	プリンタドライバが正しくインストールされていない	プリンタドライバを正しくインストールしてください。（2-3ページ）
用紙に対するデータの位置が縦横逆にプリントされる	プリンタドライバの印字方向の設定がまちがっている	印刷の方向を正しく設定してください。
データが用紙からはみ出した状態でプリントされる	プリントするときの倍率が正しく設定されていない	プリントするときの倍率選択を正しく設定してください。

こんなとき	ここをお確かめください	
真っ黒にプリントされる	下地が色ベタ等のカラーのデータをプリントしている	色の付いている部分は黒くプリントされることがあります。
白と黒の階調が逆になってプリントされる	プリンタドライバでネガイメージの印刷が設定されている	ネガイメージの印刷設定を解除してください。
プリントされたデータの周囲が欠ける	上下左右とも周囲にプリントできない範囲があり、プリントのデータがその範囲より大きい	印字領域を変更するか、データを縮小してプリントしてください。
プリントされたページが逆順で排紙される	アプリケーションソフトウェアで逆順印刷機能が設定されている	アプリケーションソフトウェア側の逆順印刷機能を解除してください。
プリントが途中で止まっている	排紙トレイに用紙がたくさんたまっているため、満杯検知がはたらき、残りのプリントができない	排紙トレイから用紙を取り除いてください。
	用紙切れになっている	用紙を補給してください。
アプリケーションソフトウェアで設定したサイズの用紙にプリントされない	プリンタドライバの用紙選択を自動に設定していない	本体のトレイに目的の用紙がセットされていることを確認し、プリンタドライバの用紙選択を自動に設定してください。
ワープロなどのアプリケーションソフトウェアで書面などを作成しているときに、プリンタ内蔵フォントが指定できない（別売品のＰＳ３拡張キットのPPDファイルをWindows環境(Windows NT を除く）で使用している場合）	内蔵フォント情報がインストールされていない	内蔵フォント情報をインストール（再インストール）してください。あるいはインストールされた内蔵フォント情報がこわれている可能性があるときは再インストールしてください。（2-14ページ）
ローカルプリンタで使用しているときプリンタへの書き込みエラーが発生する	プリンタドライバのタイムアウト設定の時間を短くしている	タイムアウトの時間を長くしてください。
出力部数を2部以上設定したのに、1部しか出力されない（一緒に注意通告ページが出力されている）	ページ数の多いデータをプリントしている	プリントする原稿データのページ数が、本機に内蔵されている記憶装置（メモリーや周辺装置のハードディスクドライブ）の容量の制限を超えています。1部ずつ出力するか、ハードディスクドライブを未装着の場合は、装着すると原稿のページ数によっては2部以上の出力が可能になります。
何もプリントされない、または注意通告ページのみプリントされる	ページ数の多いデータを両面プリントしている	一度にまとめて全ページをプリントせずに、何回かに分けてプリントするか、ハードディスクドライブを未装着の場合は、装着すると原稿のページ数によっては出力が可能になります。
出力画像がうすいまたはこい	プリント印字濃度調整の設定値が適切でない	キーオペレータープログラムによってプリント印字濃度を調節することができます。キーオペレーターに連絡してください。（6-11ページ）

こんなとき	ここをお確かめください	
出力紙に汚れが写る	メンテナンス時期または現像槽カートリッジの交換が必要であることをお知らせするメッセージが表示されている（英数カナ表示の操作パネルの場合は、同時に[エラー]ランプが点灯）	別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書を参照ください。
出力された用紙のサイズが選んだ用紙サイズと違う	トレイ１の用紙サイズを変更した際に用紙サイズの設定を変更していない	トレイ１の用紙サイズを変更した場合は必ずユーザー設定の「用紙サイズと種類の設定方法」で用紙サイズの設定を変更してください。（1-19ページ）
紙づまりが発生する	用紙がカールしたり湿っている	カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。長時間使用しないときは、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に包んで冷暗所に保管してください。
	用紙のカールがひどく周辺装置の両面モジュールやフィニッシャーで紙づまりが発生する	用紙の質や種類の違いによっては、出力された用紙のカールがひどい場合があります。トレイまたは手差しトレイから用紙を取り出して上下をひっくり返して入れ直してください。
	用紙が複数枚重なって給紙されている	トレイまたは手差しトレイから用紙を取り出して、図のように数回さばいたうえ、セットし直してください。
こすると画像部分が消えたり、出力された用紙がしわよりしている	規定範囲外のサイズおよび質量の用紙を使用している	規定範囲内の用紙をご使用ください。（1-17、1-18ページ）
	用紙が湿気をおびている	用紙は必ず冷暗所に保管し、次のような場所に放置しておかないようにご注意ください。 ●湿気の多い場所 ●高温および極端に低温の場所 ●直射日光の当たる場所 ●ホコリの多い場所
タッチパネルの画面が見えにくい（タッチパネル式操作パネルの場合のみ）	画面の見やすさを調整していない	ユーザー設定の「画面コントラスト」で画面の見やすさを調整してください。（3-15ページ）
プリントジョブの追い越しができない	使用したい用紙が用紙切れになっている	用紙を補給してください。（1-16ページ）
	排紙トレイが満杯になっている	出力したい排紙トレイが満杯になっている場合は、排紙トレイから用紙を取り除いてください。
リテンション機能のジョブがホールドされない（注意警告ページが印刷される）	ホールドジョブが100件に達している	不要なホールドジョブを削除してください。
印刷するときに暗証番号の入力が求められる	リテンション機能に暗証番号を入力した	印刷するときに暗証番号が必要です。暗証番号が不明なときは印刷できません。

印刷するときの補足説明

1. 複数部数の印刷を行う場合、本プリンタは常に部単位で印刷を行います（ページ単位の印刷は行いません）。
2. 電源投入直後に（レディとなっていないときに）パラレルインタフェース経由で印字を開始すると、印字が正常に行われないことがあります。パラレルインタフェース経由の印字は本機がレディとなったことを確認したあとに開始するようにしてください。
3. A4R・B5R・8-1/2x11R(レターR)用紙を使用してプリントしたいときは、A4R・B5R・8-1/2x11R(レターR)用紙の格納されたトレイを番号指定で指定して印字を行うようにしてください。
4. 印刷途中に用紙切れが発生して用紙の補給を促されている状態では、セットする用紙の方向は用紙がなくなる前と同じ方向にしてください。A4・B5・8-1/2x11(レター)の様に縦方向にも横方向にも置ける用紙であっても、１つの印刷ジョブの途中で用紙方向を変更すると画像が欠けることがあります。
5. A5もしくは5-1/2x8-1/2(インボイス)サイズの用紙をトレイもしくは手差しにセットする際は、用紙の短いほうの辺を給紙先端側(用紙が引き込まれる側)にセットしてください。
   長いほうの辺を給紙先端にセットすると、画像が欠けることがあります。
6. はがき・7-1/4x10-1/2(エグゼクティブ)およびユーザー定義サイズの用紙をトレイもしくは手差しにセットする際は、用紙の短いほうの辺を給紙先端側(用紙が引き込まれる側)にセットしてください。長いほうの辺を給紙先端にセットすると、画像が欠けることがあります。
7. 印刷ジョブをプリンタに送信する際に使用されるトレイが開いていると、画像が欠けることがあります。すべてのトレイが閉じていることを確認してから印刷を開始するようにしてください。
8. 印刷ダイアログボックス、もしくはアプリケーションの印刷設定に[部単位で印刷]という設定がある場合、部単位で印刷する設定にしないでください。本機では、特に設定をしなくとも部単位での印刷が行われますので、この設定は不要です。逆に、この設定を行うことにより、２部以上での両面印刷やステープルが正しく行われなくなる可能性がありますのでご注意ください。
9. Windows NT環境で別売品のPS3拡張キットのPPDファイルを使用しているときはプリンタに内蔵されているフォントを指定できません。従って、プリントするときは常にフォントのダウンロードが行われます。
10. 印字データによって、′VM error′ または′Memory Full′というエラーが印字されたページが印刷されたり、または完全でない印字が行われたりする（ページ上のいくつかの画像や文字が印刷されなかったりする）場合があります。これはプリンタのメモリー不足が原因で発生しているもので、主に大量のデータや複雑なデータを印字しようとしたときに起こります。この現象は、本機にメモリーを増設することによって回避できることがありますので、頻繁にこのような現象が発生する場合は販売店にご相談ください。

4

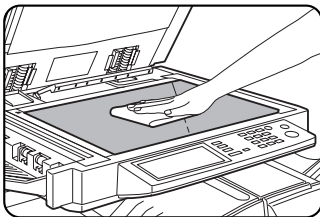
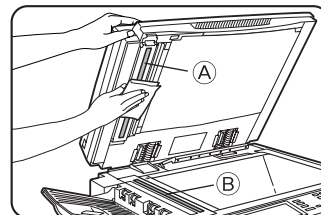
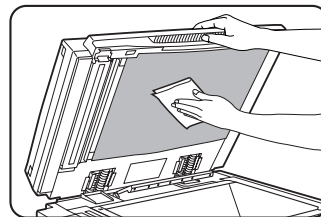
日常のお手入れ

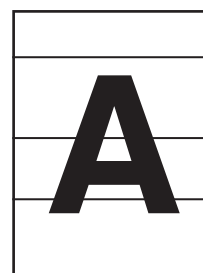
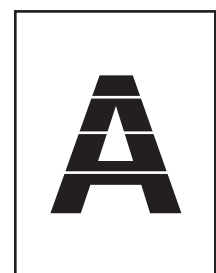
末永くお使いいただくために、本体のキャビネットなどをときどき清掃してください。

● **お願い** ●

- 清掃されるときはベンジンやシンナーなどは使用しないでください。キャビネットの表面が変質したり、色が変わったりすることがあります。

スキャナユニットの清掃について

スキャナユニットの原稿台（ガラス面）や原稿押え部分および自動給紙原稿読みとり部が汚れると、読みとった画像に汚れや、黒（白）すじが写ることがあります。つねにきれいな状態でご使用ください。

きれいな柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭いたあと、きれいな布でからぶきしてください。

シート原稿を自動的に給紙搬送して読みとった画像に黒（白）すじなどの汚れが発生するときは、原稿を読み取る部分（左図の細長いガラス面の部分）を拭いてください。DSPF付スキャナユニットではⒶとⒷの両方を、SPF付スキャナユニットではⒷのみを拭いてください。

印刷汚れの例

黒すじ

白すじ

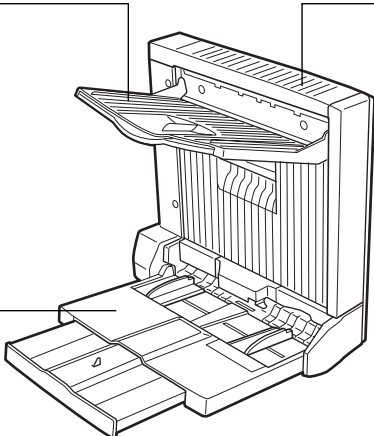
第5章

周辺装置の使いかた

この章は、両面モジュール、メールビンスタッカ、フィニッシャー、サドルフィニッシャーなどの周辺装置を取り付けたときの使いかたを説明しています。

ページ

両面モジュール

両面モジュールを装着すると用紙の両面に印刷が行えます。
両面モジュールには「両面モジュール」単体のものと「手差しトレイ付き両面モジュール」とがあります。ここでは「手差しトレイ付き両面モジュール」を基準とした説明を行っています。
なお両面モジュールでの紙づまり処置については、4-7ページを参照してください。

各部のなまえ

排紙トレイ
トレイはスライド式です。大きなサイズの用紙(A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13サイズ)に印刷するときはトレイをのばしてください。
単体タイプの「両面モジュール」では、この排紙トレイは別売品です。

両面モジュール
用紙の両面に自動で印刷ができます。

● **お願い** ●
- 普通紙に自動両面印刷ができます。特殊紙に自動両面印刷はできません。(1-18ページに記載の特殊紙を参照)

手差しトレイ
普通紙のほかに、官製ハガキ、OHPフィルムなどに印刷するときはこのトレイが使用できます。
(次ページや1-17ページを参照)

● **お願い** ●
- 手差しトレイや排紙トレイの上に重い物をのせたり、上から強く押さえたりしないでください。
- 両面モジュールを装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの周辺装置組み合わせリストを参照してください。

仕様

名称	両面モジュール／手差しトレイ付き両面モジュール
用紙枚数	1枚(ノンスタック方式)
用紙サイズ(両面部)※1	A3、B4、A4、A4R、B5、A5R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13、8-1/2x11、8-1/2x11R、5-1/2x8-1/2R
用紙質量(両面部)※1	60～105g/m^2
搬送基準	センター基準
手差しトレイ用紙収納枚数※2	100枚(A4サイズ　80g/m^2)
大きさ	両面モジュール：幅115mm×奥行412mm×高さ416mm 手差しトレイ付き両面モジュール：幅451mm×奥行439mm×高さ416mm
質量	両面モジュール：約5kg 手差しトレイ付き両面モジュール：約7.5kg

※1　手差しトレイ部の用紙サイズ/用紙質量は各トレイの仕様(1-17ページ)の多目的給紙トレイ/手差しトレイを参照ください。
※2　手差しトレイ付き両面モジュールのみ。

名称	排紙トレイ
排紙方式	印刷面下向き
収納枚数	100枚(A4サイズ　80g/m^2)
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、A5R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13、8-1/2x11、8-1/2x11R、7-1/4x10-1/2、5-1/2x8-1/2R
排出用紙の種類・質量	普通紙　60～105g/m^2

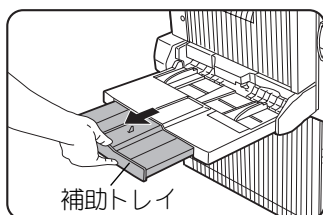
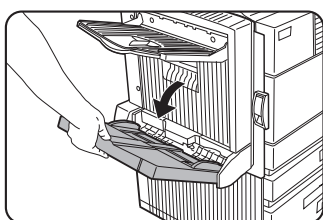
改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

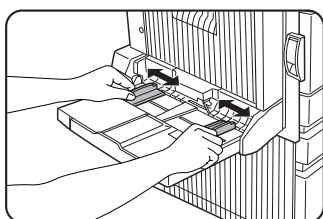
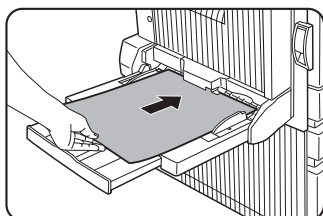
手差しトレイへの用紙補給（手差しトレイ付き両面モジュールのみ）

手差しトレイを使用すると、普通紙や、官製ハガキ、ラベル用紙などの特殊紙に印刷することができます。また、シャープ標準用紙の場合は100枚まで（官製ハガキは20枚まで）セットすることができ、トレイと同じように連続印刷することができます。（手差しトレイで使用できる用紙の種類は各トレイの仕様（1-17ページ）多目的給紙トレイ/手差しトレイを参照してください。）

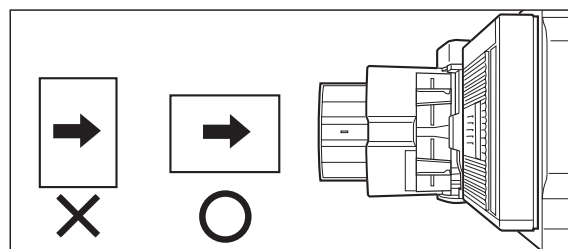
● お願い ●

- 手差しトレイに用紙をセットしたあとや、補給した用紙の種類（タイプ）とサイズを変更した場合は、必ずセットした用紙の種類（タイプ）とサイズの設定（手順４）を行ってください。

1 手差しトレイを開く

A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13サイズの用紙をセットするときは、必ず補助トレイを開いてください。

2 手差しガイドをセットする用紙のサイズに合わせる

3 手差しガイドに沿って突き当たるところまで確実に用紙を挿入する

印刷したい面を下向きにセットします。
用紙と手差しガイドの間にすき間がある場合は、再度手差しガイドを用紙の幅にきちんと合わせてください。
すき間があると斜め送りやシワ寄りの原因となります。

● お願い ●

- A5、5-1/2x8-1/2サイズの用紙、官製ハガキは必ず下図のように横長方向にセットしてください。

- シャープ標準用紙以外の普通紙や、官製ハガキおよびシャープ推奨のOHPフィルム以外の特殊紙、裏面への印刷の場合は、必ず1枚ずつ挿入してください。2枚以上挿入すると、紙づまりの原因となります。
- 用紙をつぎたすときは手差しトレイ上の用紙をいったん取り出し、つぎたす用紙と一緒にそろえてから再度セットしてください。そのままつぎたすと、紙づまりの原因となります。
- 普通紙ファクシミリや他のレーザープリンタなどでプリントされた用紙には印刷しないでください。印刷汚れの原因となります。
- OHPフィルムに印刷したときは、必ず印刷されて出てくるごとに１枚ずつ取り除いてください。排紙トレイ上で積み重なるとカールすることがあります。
- OHPフィルムは、シャープ推奨のOHPフィルムをお使いください。印刷するときは、シールが貼られている面を下にして、手差しトレイにセットしてください。ただし、シール部分に印刷画像がかかる場合は、シール面を上にしてセットしてください。シール部分に印刷すると印刷汚れの原因となります。

4 手差しトレイにセットした用紙の種類（タイプ）とサイズを設定する

用紙をセットした際、それまでセットされていた用紙から、用紙サイズをABからインチ系（またはその逆）に変更したり、用紙の種類（タイプ）を変更した場合は、「用紙サイズと種類の設定方法」（1-19ページ）に従って、用紙の種類（タイプ）とサイズを必ず設定してください。

5 以上で手差しトレイへの用紙の補給が終了しました

プリンタドライバで目的に合った設定をする

プリンタ機能で両面モジュール（手差しトレイおよび排紙トレイ）を使用する場合は、プリンタドライバの設定画面から「プロパティ」を選択したあと、それぞれの目的に合わせて以下の設定を行ってください。
以下の説明で使用している画面はWindows 98環境のSPDL2のプリンタドライバです。

■ 両面印刷を行うとき

「メイン」タブを開き、目的の両面印刷のラジオボタンにチェックを入れます。

■ 手差しトレイを使うとき

下図の「用紙」タブを開き、「用紙選択」の項目を"手差し" に選択します。

■ 両面モジュールに装着した排紙トレイを使うとき

下図の「用紙」タブを開き、「排紙トレイ」の項目を"左トレイ"に選択します。

メモ
- 上記の設定を行うためには、あらかじめプリンタドライバのプロパティで周辺装置の装着状態の設定（2-5ページ「メモ」参照）が正しく行われている必要があります。
- 用紙選択や機能の組み合わせによっては、目的の設定ができない場合があります。設定項目の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。機能を詳しく説明しています。

コピー機能で目的に合った設定をする

コピー機能で両面モジュール（手差しトレイおよび排紙トレイ）を使用する場合は、コピーモードの基本画面に表示されているタッチパネルのキーをタッチして、それぞれの目的に合わせて以下の設定を行ってください。

■ 両面モジュールを使う（自動両面コピーを行う）とき

コピーモードの基本画面に表示されている[両面コピー]キーをタッチすると、両面コピー機能を選択する画面が表示されます。

■ 手差しトレイを使うとき

コピーモードの基本画面に表示されている[用紙選択]キーをタッチすると、給紙するトレイを選択する画面が表示されます。この画面で手差しトレイを選択してください。

■ 排紙トレイを使うとき

コピーモードの基本画面に表示されている[アウトプット]キーをタッチすると、排紙トレイを選択する画面が表示されます。この画面で両面モジュールに装着した排紙トレイを選択してください。

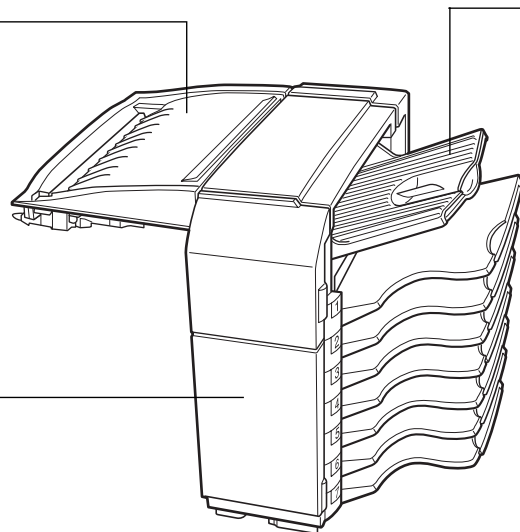
“故障かな？”と思ったら（両面モジュール関連）

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなとき	ここをお確かめください	
印刷できない	この用紙の種類は両面印刷できないというメッセージが表示されている	特殊紙に両面印刷はできません。両面印刷ができる用紙の種類を使用してください。（1-18、5-2ページ）
	この用紙サイズは両面印刷できないというメッセージが表示されている	両面印刷ができる用紙サイズを使用してください。（1-18、5-2ページ）
	プリンタ機能で両面印刷できない	プリンタドライバの設定でオプションタブの画面を開き、両面モジュールのチェックボックスにチェックマーク☑を付けてください。（2-5ページ「メモ」参照）
	手差しの補助トレイを正しく使用していない	A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13サイズの用紙をセットするときは、必ず補助トレイを開いてください。
手差しトレイから給紙した用紙の印刷が斜めになる	手差しトレイにセットした用紙の枚数が収納上限枚数を越えている	上限枚数を越えないように用紙をセットしてください。
	手差しガイドがセットした用紙サイズに合っていない	手差しガイドを印刷する用紙サイズに合わせてください。
手差しトレイの用紙がつまる	用紙サイズおよび用紙の種類が設定されていない	特殊なサイズの用紙や、特殊紙をセットするときは必ず用紙サイズおよび用紙の種類を設定してください。（1-17～1-19ページ）
	手差しトレイにセットした用紙の枚数が収納上限枚数を越えている	上限枚数を越えないように用紙をセットしてください。
	手差しガイドがセットした用紙サイズに合っていない	手差しガイドを印刷する用紙サイズに合わせてください。

メールビンスタッカ

メールビンスタッカは、プリンタ機能で出力する場合において、複数の排紙トレイ（メールビン）の中から排紙させるメールビンを任意に指定することができる排紙装置です。
コピー、ファクス機能での出力紙は、メールビンとは別の最上段の排紙トレイ（トップトレイ）に排紙させることができます。（プリンタ機能での出力紙をトップトレイに排紙させることもできます。）

各部のなまえ

● お願い ●

- メールビンスタッカ（特にトップトレイやメールビン）の上に重い物をのせたり、上から強く押さえたりしないでください。
- 上面カバーの上に物をのせたり、キズをつけたりしないでください。周辺装置の両面モジュールを装着して両面コピーを行う場合、用紙が一時的にここへ出てきます。
- トップトレイおよび各メールビンはスライド式です。大きなサイズの用紙（A3、B4、11x17、8-1/2×14、8-1/2×13サイズ）に印刷するときはそれぞれ補助トレイをのばしてください。
- メールビンスタッカを装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの周辺装置組み合わせリストを参照してください。

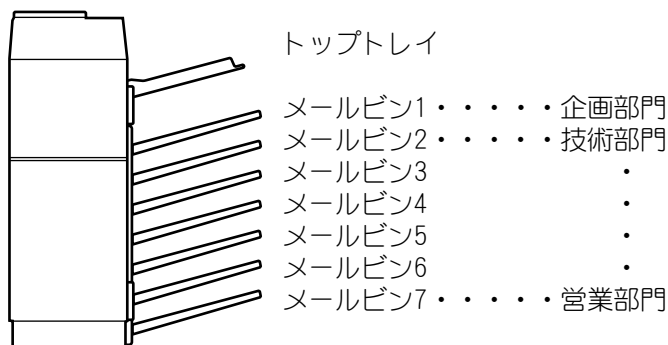
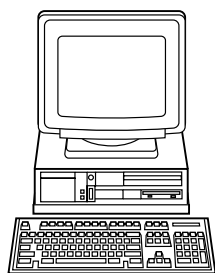
仕様

名称	メールビンスタッカ
トレイ数	８段（トップトレイおよびメールビン７段）
排紙方式	印刷面下向き
トレイの形式	上段：ノーマルトレイ　棚板：メールビン
収納枚数	上段：250枚（A4サイズ　80g/m²） メールビン：各ビン100枚（A4または8-1/2×11サイズ　80g/m²）
用紙サイズ	上段：本体給紙仕様に準ずる メールビン（各ビンとも）：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13、8-1/2x11、8-1/2X11R、7-1/4x10-1/2
用紙質量	上段：52～205g/m²　　メールビン（各ビンとも）：60～105g/m²
用紙種類	上段：本体給紙仕様に準ずる メールビン：普通紙のみ
用紙満杯検知	上段/メールビン（各ビンとも）あり
用紙搬送	センター基準
電源	周辺装置の電源ユニット（1-8ページ）より供給
大きさ	幅465mm×奥行530mm×高さ508mm
質量	約19kg

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

プリンタ機能で任意のメールビンに出力紙を排紙させる

プリンタ機能で出力する場合は、排紙させるメールビンを任意に指定することができます。
あらかじめメールビンごとに個人別、部門別などで利用者を割り当てておき、利用者がそれぞれ割り当てられた所定のメールビンを指定して出力することで、それぞれの出力紙を明確に区分けできるようにしたり、特定の個人や部門のメールビンにあてて連絡書などの文書データを出力することで、メールビンをメールボックス（郵便受け）に見たてた使いかたをすることができます。
特に区分けを必要としない出力紙は、最上段の排紙トレイ（トップトレイ）を指定して排紙させることもできます。

■ メールビンスタッカの使いかた

1 各メールビンの利用者の割り当てを決める
本機の管理者の方などが代表で、メールビン1は企画部門用、メールビン2は技術部門用というように割り当てを決め、本機の利用者に対し、各メールビンの割り当てと使いかたについてご説明ください。

2 各利用者がプリンタ機能で出力する際に、プリンタドライバの設定画面で排紙させたいメールビンを指定する
プリンタドライバの設定については、以下の説明を参照してください。

5

プリンタドライバでの設定

プリンタ機能で出力する際、任意のメールビンを指定するには、プリンタドライバの設定画面から「プロパティ」を選択したあと、以下の設定を行ってください。

■ 任意のメールビンを指定する

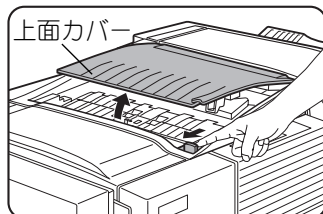
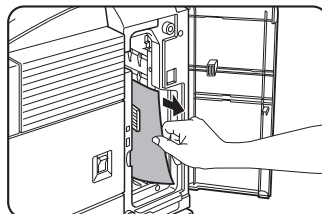
右図の「用紙」タブを開き、「排出トレイ」の項目で、排紙させたい段のメールビンを選択します。
（トップトレイを選択することもできます。）

メモ
- 上記の設定を行うためには、あらかじめプリンタドライバのプロパティで周辺装置の装着状態の設定（2-5ページ「メモ」参照）が正しく行われている必要があります。
- 用紙選択や機能の組み合わせによっては、目的の設定ができない場合があります。設定項目の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。機能を詳しく説明しています。

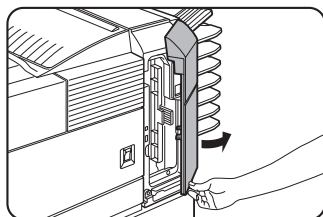
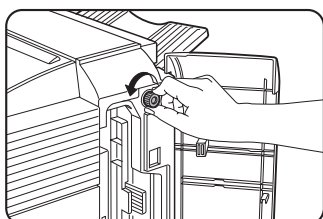
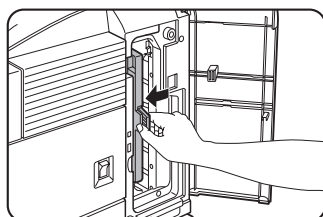
画面はWindows 98環境のSPDL2のプリンタドライバです。

メールビンスタッカでの紙づまり処置

印刷中にメールビンスタッカで紙がつまったときは、以下の手順に従ってつまった紙を取り除いてください。

1 上面カバーを開ける

図のようにつまみを矢印方向に動かすと開きます。

2 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。
取り出したあと上面カバーを上から押さえて閉じてください。

3 手順 2 で紙がつまっていないときは、前面カバーを開ける

4 ローラー回転ノブを矢印方向に回して、つまっている紙を送り出す

5 ペーパーガイドを開ける

ペーパーガイドは取っ手をつまんでロックをはずしてから、矢印方向に開いてください。

6 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

7 ペーパーガイドを閉じる

ペーパーガイドは磁石で固定される位置まで確実に閉じてください。

8 前面カバーを閉じる

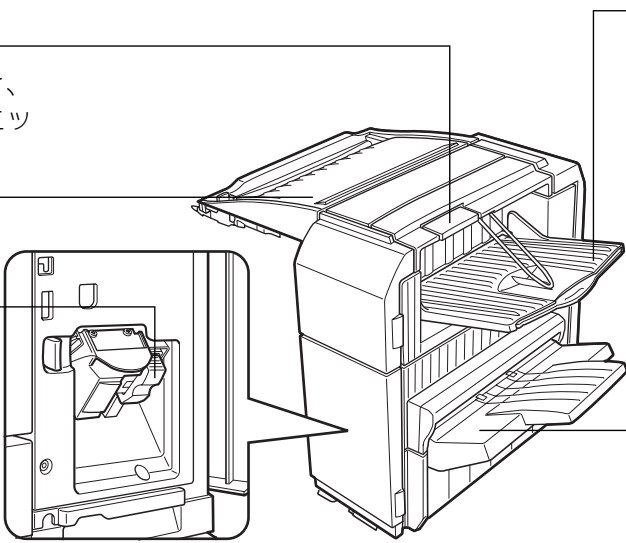
フィニッシャー

印刷された用紙を1部ずつずらして排紙し、取り出しやすく整頓するオフセット機能を備えています。ソート印刷された用紙を１部ずつステープルすることができます。

各部のなまえ

取っ手
紙づまりの処置を行うとき、この取っ手をつまみフィニッシャーを開きます。

上面カバー
紙づまりの処置を行うときに開けます。

針ケース
ステープル用の針カートリッジを装填するケースです。針カートリッジの交換、針づまり処置をするときに引き出します。

トップトレイ
プリンタ、コピー、ファクス機能で出力された用紙をここへ排紙することができます。
トレイはスライド式です。大きなサイズの用紙(A3、B4、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13サイズ)に印刷するときはトレイをのばしてください。

オフセットトレイ
オフセット機能、ステープル機能はこのトレイでのみはたらきます。

● **お願い** ●

- フィニッシャー（特に各トレイ）の上に重い物をのせたり、上から強く押さえたりしないでください。
- 上面カバーの上に物をのせたり、キズをつけたりしないでください。周辺装置の両面モジュールを装着して両面コピーを行う場合、用紙が一時的にここへ出てきます。
- 印刷中は、オフセットトレイが上下に動くことがありますので、ご注意ください。
- フィニッシャーを装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの周辺装置組み合わせリストを参照してください。

5

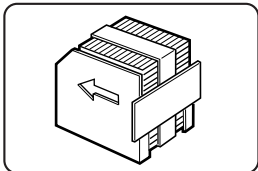
仕様

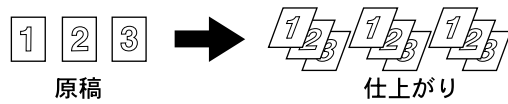
名称	フィニッシャー
トレイ数	２段
排紙方式	印刷面下向き
トレイの形式	上段：ノーマルトレイ　下段：オフセットトレイ
収納枚数	上段：500枚(A4または8-1/2x11サイズ　80g/m²) 下段：750枚(A4または8-1/2x11サイズ　80g/m²)
用紙サイズ	上段：本体給紙仕様に準ずる　下段：最大A4　最小B5
用紙質量	上段：56～205g/m²　下段：60～128g/m²
用紙種類	上段：本体給紙仕様に準ずる　下段：普通紙のみ
用紙満杯検知	上段/下段あり
オフセット機能	下段トレイのみ、オフセット量：25mm
ステープル可能な用紙サイズ	A4、B5、8-1/2x11
ステープル可能枚数	30枚※(A4または8-1/2x11サイズ以下　80g/m²) ※表紙用として128g/m²の用紙を２枚まで、この枚数内に含めることが可能
綴じ位置	３箇所（奥側１箇所、手前側１箇所、中央２箇所）
用紙搬送	センター基準
電源	周辺装置の電源ユニット（1-8ページ）より供給
大きさ	幅460mm×奥行530mm×高さ508mm
質量	約21kg

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

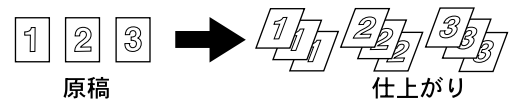
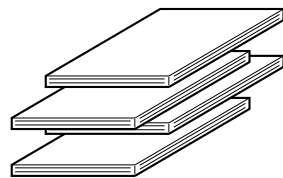
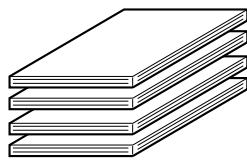
消耗品について

フィニッシャーには、消耗品として次の針カートリッジが必要です。

●針カートリッジ（約3,000本 × ３個入）
AR-SC1

フィニッシャーの説明

■ ソート機能

1部ずつ仕分けして印刷します。

■ グループ機能

ページ単位で仕分けして印刷します。

■ オフセット機能

オフセット機能“入”

オフセット機能“切”

できあがった印刷物を1部ずつずらして排出し、オフセットトレイ（下段の排紙トレイ）から取り出しやすく整頓する機能です。（オフセット機能はオフセットトレイでのみ行えます。）
ステープルソート機能選択時はオフセット機能は、はたらきません。

■ ステープルソート機能

ソート機能で印刷された用紙を、ステープルして1部ずつオフセットトレイに排紙します。ステープルできる位置、用紙送り方向、使用できる用紙サイズ、ステープル許容枚数は次のようになります。

<table>
<tr><th>ステープルできる位置</th><th colspan="2">縦長方向での用紙送り</th><th colspan="2">横長方向での用紙送り</th></tr>
<tr><td>印刷された用紙
の奥側1箇所</td><td></td><td>使用できる用紙サイズ：
A4、B5、8-1/2x11サイズ
ステープル許容枚数：
それぞれのサイズで30枚までステープル可能</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">横長方向の用紙送りにステープルはできません。</td></tr>
<tr><td>印刷された用紙
の中央2箇所</td><td></td><td>同上</td></tr>
<tr><td>印刷された用紙
の手前側1箇所</td><td></td><td>同上</td></tr>
</table>

フィニッシャー機能を使う

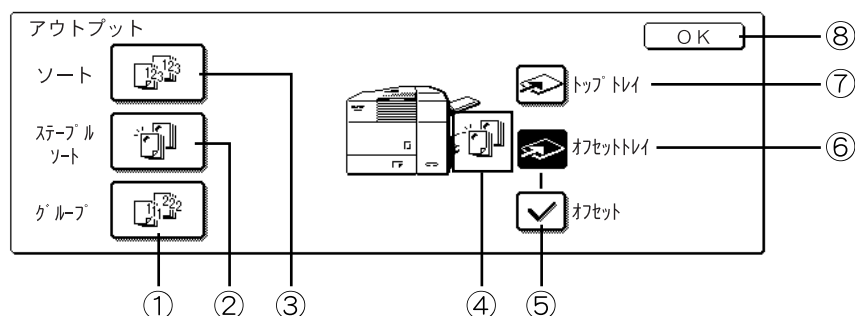
■ プリンタモードでステープル機能を使うとき

ステープル機能を使用する場合は、プリンタドライバの設定画面から「プロパティ」を選択したあと、右図の「メイン」タブから、「仕上げ」の項目で、「とじ位置」の"左とじ"、"右とじ"、"上とじ"のいずれかを、また「ステープル」の"1箇所とじ"、"2箇所とじ"のどちらかを選択します。

画面はWindows 98環境のSPDL2のプリンタドライバです。

メモ
- 上記の設定を行うためには、あらかじめプリンタドライバのプロパティで周辺装置の装着状態の設定（2-5ページ「メモ」参照）が正しく行われている必要があります。
- 用紙選択や機能の組み合わせによっては、目的の設定ができない場合があります。設定項目の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。機能を詳しく説明しています。

■ コピーモードでフィニッシャー機能を使うとき

コピーモードの基本画面に表示されている[アウトプット]キーをタッチするとソート／ステープルソート／グループ機能、排紙トレイなどを選択する画面が表示されます。

① **[グループ]キー（5-10ページ）**
この機能が選択されている場合は、ページ単位で仕分けして印刷します。

② **[ステープルソート]キー（5-10ページ）**
この機能が選択されている場合は、ソート印刷された用紙をステープルして１部ずつオフセットトレイに排紙します。（ただしオフセットはされません。）

③ **[ソート]キー（5-10ページ）**
この機能が選択されている場合は、１部ずつ仕分けして印刷します。

④ **アイコン表示**
ソート、ステープルソート、グループのいずれか選択されている機能のアイコンが表示されます。

⑤ **[オフセット]キー（5-10ページ）**
この機能は、チェックマークを"有り"にした場合はオフセット機能がはたらき、チェックマークを"無し"にするとオフセット機能がはたらきません。（ステープルソート機能を選択した場合は、オフセットのチェックは自動的に解除されます。）

⑥ **[オフセットトレイ]キー（5-9ページ）**
オフセットトレイが選択されている場合は、印刷された用紙をオフセットトレイに排紙します。（ステープルソート機能を選択した場合は、オフセットトレイが自動的に選択されます。）

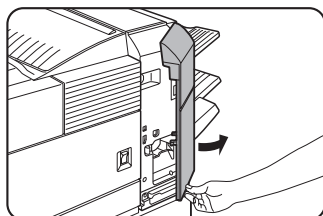
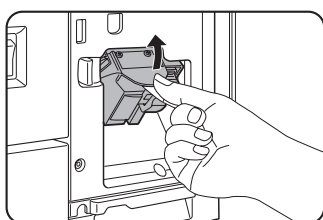
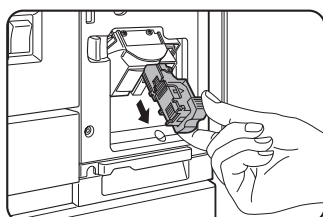
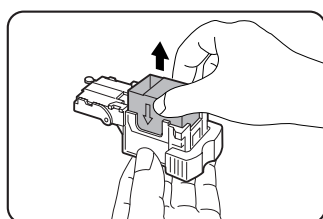
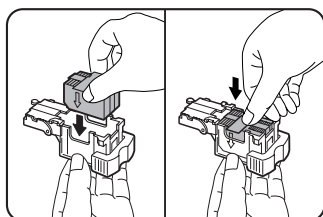
⑦ **[トップトレイ]キー**
トップトレイが選択されている場合は、印刷された用紙をトップトレイに排紙します。

⑧ **[OK]キー**
画面を閉じて基本画面に戻すことができます。

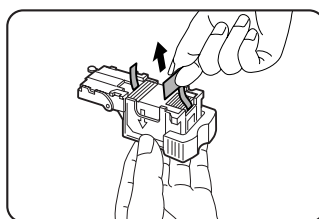
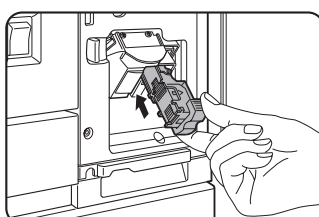
※ それぞれの機能が選択された場合は、反転表示されます。

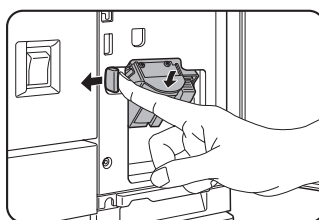
針カートリッジの交換

針カートリッジの針がなくなると操作パネルにメッセージが表示されます。次の手順に従って針カートリッジを交換してください。

1 前面カバーを開ける

2 ステープルユニットを上向きにする

3 解除レバーをつまんで針ケースを出す

4 空になった針カートリッジを取り出す

5 針ケースと針カートリッジの矢印を合わせて、新しい針カートリッジを針ケースにセットする

● **お願い** ●

- 針をとめているシールは、針ケースにセットする前にはがさないでください。
- 針カートリッジがしっかり固定されたか確認してください。
  カチッと音がして、針ケースに固定されるまで押し込んでください。

6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜く

7 針ケースを押し込む

「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

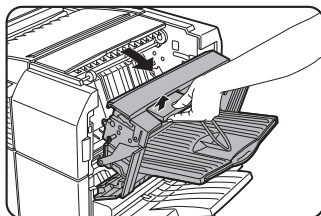
8 ステープルユニットのレバーを解除してステープルユニットを下向きにもどす

9 前面カバーを閉める

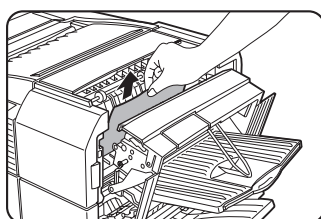
● **お願い** ●

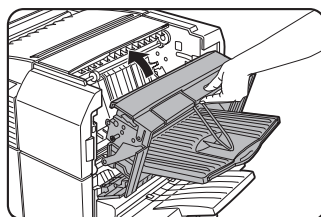
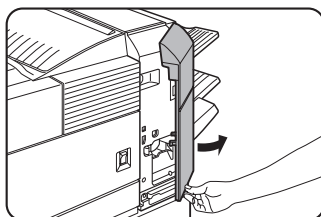
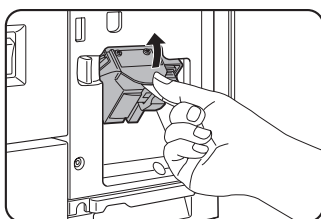
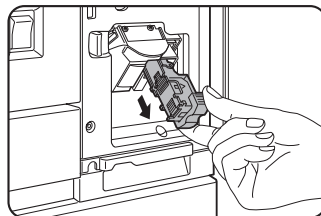
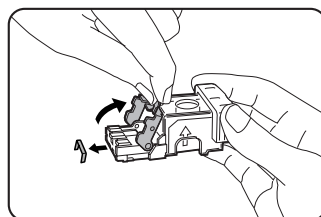
- ステープルソートモードでためし印刷を行い、針が打たれていることを確認してください。

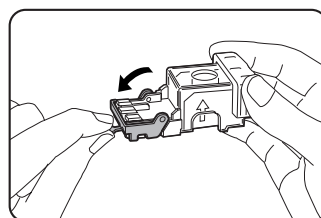
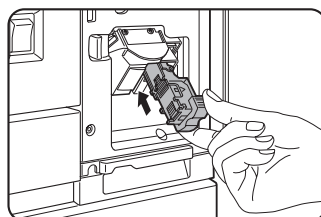
■ ステープルユニットの確認について

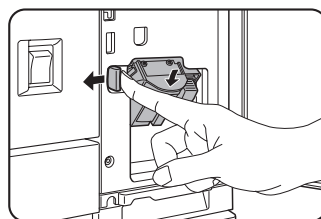
ステープルユニットをチェックするようにメッセージが表示されたときは、以下の手順操作を行ってください。

1 フィニッシャーを開く

図のように取っ手をつまんで開いてください。

2 ステープルコンパイラーでつまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

3 フィニッシャーを閉じる

4 前面カバーを開ける

5 ステープルユニットを上向きにする

6 解除レバーをつまんで針ケースを出す

7 針ケースの先端のレバーを上げる

針がつまっている場合は取り除いてください。
先端の針が曲がっているときは必ず切り取ってください。曲がった針が付いたまま使用すると針づまりの原因となります。

8 先端のレバーをもどす

9 針ケースを押し込む

「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

10 ステープルユニットのレバーを解除してステープルユニットを下向きにもどす

11 前面カバーを閉める

● **お願い** ●

- ステープルソートモードでためし印刷を行い、針が打たれていることを確認してください。

5

フィニッシャーでの紙づまり処置

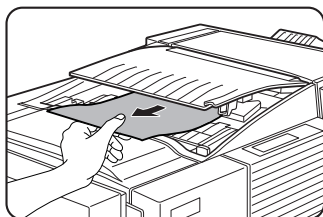
印刷中にフィニッシャーで紙がつまったときは、次の手順に従ってつまった紙を取り除いてください。

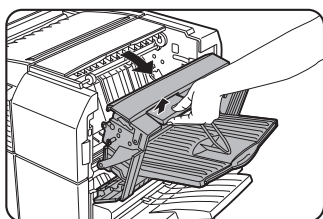
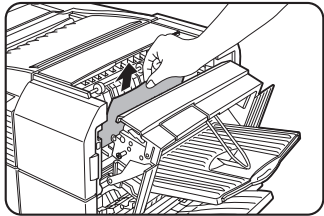
1 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

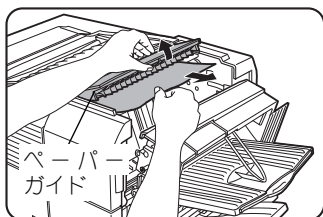
2 上面カバーを開ける

図のようにつまみを矢印方向に動かすと開きます。

3 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。
取り出したあと上面カバーを上から押さえて閉じてください。

4 フィニッシャーを開く

図のように取っ手をつまんで開いてください。

5 ペーパーガイドを開き、つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

6 フィニッシャーを閉じる

“故障かな？”と思ったら（フィニッシャー関連）

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなとき	ここをお確かめください	
ステープル位置がおかしい	ステープルされる位置にあわせてステープル機能を設定していない	ステープル可能位置を確認して対処してください。（5-16ページ）
動作しない	フィニッシャーのカバーが開いている	すべて閉じてください。
	ステープルコンパイラーから紙を取り除く必要があることをお知らせするメッセージが表示されている	フィニッシャーを開いて（前ページ手順４参照）ステープルコンパイラーに残っている用紙をすべて取り除いてください。
ステープルされない	ステープルユニットをチェックするようにメッセージが表示される	ステープルユニットをチェックしてください。（5-13ページ）
	針を補給するようにメッセージが表示される	針カートリッジを交換してください。（5-12ページ）
	異なるサイズの用紙が混在している	異なるサイズの用紙が混在しているときはステープルできません。
	用紙のカールがひどく、印刷された用紙がステープルされない	用紙の質や種類の違いによっては、印刷された用紙のカールがひどい場合があります。 トレイまたは手差しトレイから用紙を取り出して、上下をひっくり返して入れ直してください。

ステープル位置早見表

ステープルするときは、印刷する画像データまたは原稿の向きと、ステープル位置、とじ位置、用紙送り方向などが複雑に関係します。下図はこれらの関係を表しています。

		印刷する画像データまたは原稿			できあがった結果	
		1ページ目(表面)	2ページ目(裏面)	両面		
縦方向印字	左とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
	上とじ				1箇所のとき	上とじの2箇所止めはできません。
	右とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
横方向印字	左とじ				1箇所のとき	左とじ2箇所止めはできません。
	上とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
	右とじ				1箇所のとき	右とじ2箇所止めはできません。

■ ■ ■ はとじ位置を表しています。

メモ
- ステープル機能を使用するときは、排紙トレイをオフセットトレイに選択してください。それ以外を選択しても、ステープル機能は使用できません。
- 印刷する用紙サイズは同じサイズを選んでください。異なるサイズが含まれるとステープルできません。

● **お願い** ●

- 次の用紙はステープルできません。
  パンチ済み用紙／OHP用紙／厚紙／ラベル紙／封筒／はがき

サドルフィニッシャー

印刷された用紙を1部ずつずらして排紙し、取り出しやすく整頓するオフセット機能や、自動的に用紙中央部にステープルし、中折りするサドルステッチ（中とじステープル）機能を備えています。さらに周辺装置のパンチユニットを装着すると、印刷された用紙にパンチ穴を空けることができます。

各部のなまえ

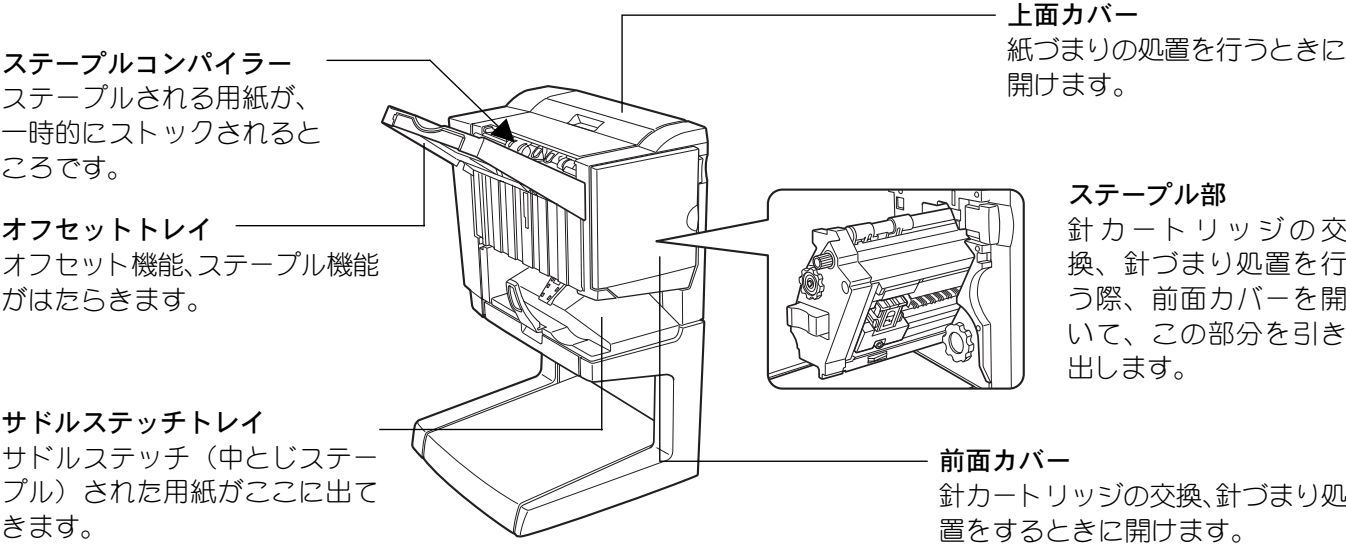
ステープルコンパイラー
ステープルされる用紙が、一時的にストックされるところです。

オフセットトレイ
オフセット機能、ステープル機能がはたらきます。

サドルステッチトレイ
サドルステッチ（中とじステープル）された用紙がここに出てきます。

上面カバー
紙づまりの処置を行うときに開けます。

ステープル部
針カートリッジの交換、針づまり処置を行う際、前面カバーを開いて、この部分を引き出します。

前面カバー
針カートリッジの交換、針づまり処置をするときに開けます。

● **お願い** ●

- サドルフィニッシャー（特に各トレイ）の上に重い物をのせたり、上から強く押さえたりしないでください。
- 印刷中は、オフセットトレイが上下に動くことがありますので、ご注意ください。
- サドルフィニッシャーを装着するために、別の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない周辺装置の組み合わせがあります。これについては8-4ページの周辺装置組み合わせリストを参照してください。

5

仕様

名称	サドルフィニッシャー
トレイ数	２段
排紙方式	印刷面下向き
トレイの形式	上段：オフセットトレイ　下段：サドルステッチトレイ
収納枚数	上段： ノンステープル時→A4または8-1/2x11サイズ以下（80g/m^2）の用紙枚数の最大は1000枚以下。 B4または8-1/2x13サイズ以上（80g/m^2）の用紙枚数の最大は500枚以下。 ステープル時→　A4または8-1/2x11サイズ以下（80g/m^2）の用紙の印刷部数の最大は30部で、かつ用紙枚数の最大は1000枚以下。 B4または8-1/2x13サイズ以上（80g/m^2）の用紙の印刷部数の最大は30部で、かつ用紙枚数の最大は500枚以下。 下段：綴じ可能用紙量→6～10枚×10部または1～5枚×20部
用紙サイズ	上段：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13、8-1/2x11、8-1/2x11R、5-1/2x8-1/2R、7-1/4x10-1/2 下段：A3、B4、A4R、11x17、8-1/2x11R
用紙質量	上段：60～205g/m^2　　下段：64～80g/m^2
用紙種類	上段：普通紙、厚紙 下段：普通紙のみ

（次ページに続く）

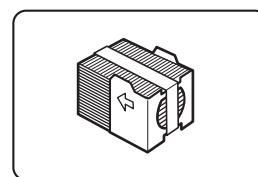
用紙満杯検知	上段/下段あり
オフセット機能	上段トレイのみ（A5R、5-1/2x8-1/2Rサイズの用紙はオフセット不可）
ステープル可能な用紙サイズ	上段：A3、B4、A4、A4R、B5、11x17、8-1/2x14、8-1/2x13、 8-1/2x11、8-1/2x11R 下段：A3、B4、A4R、11x17、8-1/2x11R
ステープル可能枚数	A4サイズ以下：50枚※（80g/m^2） B4サイズ以上：25枚（80g/m^2） ※表紙用として128g/m^{2}の用紙を2枚まで、この枚数内に含めることが可能
綴じ位置	上段：３箇所（奥側１箇所、手前側１箇所、中央２箇所） 下段：用紙中心から120mmピッチ
用紙搬送	センター基準
電源	周辺装置の電源ユニット（1-8ページ）より供給
大きさ	幅718mm×奥行603mm×高さ1000mm
質量	約39kg

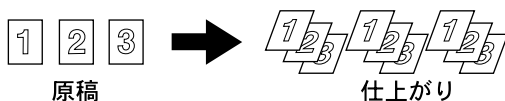
名称	パンチユニット
パンチ穴数／穴径	２穴／6.5mm
パンチ穴間隔寸法	80±1mm
穿孔可能な用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x11、8-1/2x11R

改良変更などにより、図や内容が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

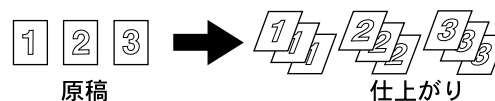
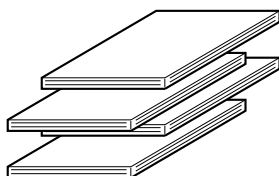
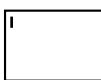
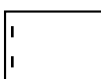
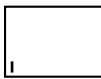
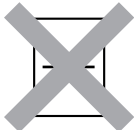
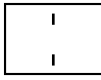
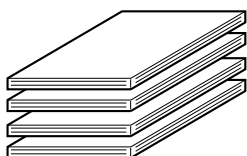
消耗品について

サドルフィニッシャーには、消耗品として次の針カートリッジが必要です。

●針カートリッジ（約5,000本 × ３個入）
AR-SC2

サドルフィニッシャーの説明

■ ソート機能

１部ずつ仕分けして印刷します。

■ グループ機能

ページ単位で仕分けして印刷します。

■ オフセット機能

オフセット機能“入”

オフセット機能“切”

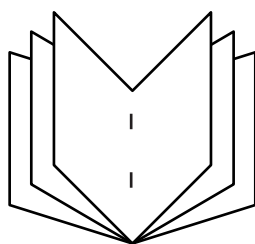
できあがった印刷物を１部ずつずらして排出し、オフセットトレイ（上段の排紙トレイ）から取り出しやすく整頓する機能です。（オフセット機能はオフセットトレイでのみ行えます。）
ステープルソート機能選択時はオフセット機能は、はたらきません。

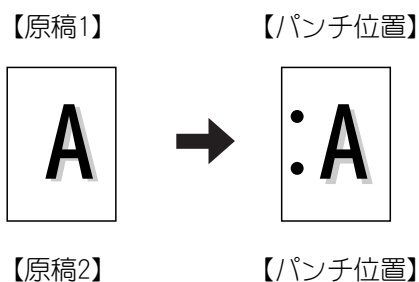
■ ステープルソート機能

ソート機能で印刷された用紙を、ステープルして１部ずつ上段のオフセットトレイに排紙します。また、用紙の中央にステープルして下段のサドルステッチトレイに排紙します。ステープルできる位置、用紙送り方向、使用できる用紙サイズ、ステープル許容枚数の関係は次のようになります。

ステープルできる位置	縦長方向での用紙送り		横長方向での用紙送り	
印刷された用紙の奥側１箇所		使用できる用紙サイズ：A4、B5、8-1/2x11サイズ ステープル許容枚数：それぞれのサイズで50枚までステープル可能		使用できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x11R、8-1/2x13サイズ ステープル許容枚数：A4R、8-1/2x11Rは50枚、それ以外は25枚までステープル可能
印刷された用紙の中央２箇所		同上		使用できる用紙サイズ：A3、B4、11x17、8-1/2x13サイズ ステープル許容枚数：それぞれのサイズで25枚までステープル可能
印刷された用紙の手前側１箇所		同上		使用できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、11x17、8-1/2x14、8-1/2x11R、8-1/2x13サイズ ステープル許容枚数：A4R、8-1/2x11Rは50枚、それ以外は25枚までステープル可能
中とじ		縦長方向での用紙送りでは中とじはできません		使用できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、11x17、8-1/2x11Rサイズ ステープル許容枚数：それぞれのサイズで10枚までステープル可能

■ サドルステッチ（中とじステープル）機能

用紙の中央に２箇所のステープルを行った上、中折り（排出上面に対して谷折り）して排紙します。

■ パンチ機能（パンチユニット装着時のみ）

周辺装置のパンチユニットをサドルフィニッシャーに装着している場合は、印刷された用紙に、パンチ穴（２穴）を空けてオフセットトレイに排紙させることができます。（サドルステッチ（中とじステープル）機能とパンチ機能の併用はできません。）またパンチ機能使用時は、原稿画像の自動回転機能ははたらきません。

サドルフィニッシャー機能を使う

■ プリンタモードでステープル機能やサドルステッチ機能を使うとき

ステープル機能を使用する場合は、プリンタドライバの設定画面から「プロパティ」を選択したあと、右図の「メイン」タブから、「仕上げ」の項目で、「とじ位置」の"左とじ"、"右とじ"、"上とじ"のいずれかを、また「ステープル」の"1箇所とじ"、"2箇所とじ"のどちらかを選択します。
サドルステッチ機能を使用する場合は、「両面印刷」の項目で、「中とじ印刷」のラジオボタンにチェックを入れ、等倍で中とじするか2-UPで中とじするかのいずれかを選択してから「仕上げ」の項目で、「ステープル」の"2箇所とじ" を選択します。

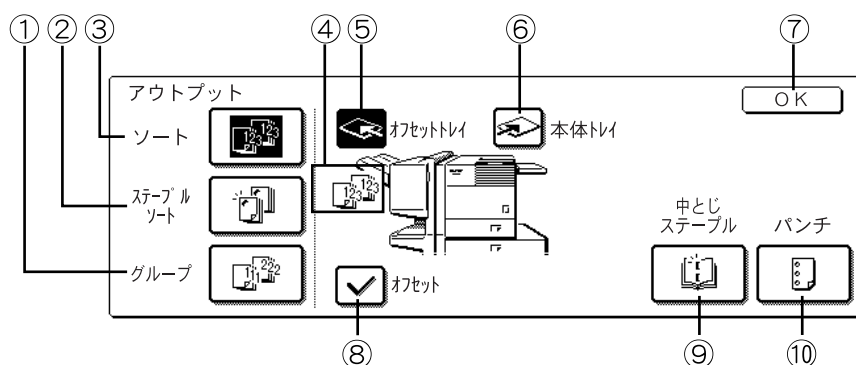
画面はWindows 98環境のSPDL2のプリンタドライバです。

■ 周辺装置のパンチユニットを装着し、パンチ機能を使うとき

右図の「メイン」タブから、「仕上げ」の項目で、「パンチ」のチェックボックスにチェックマークを付けてください。

- 上記の設定を行うためには、あらかじめプリンタドライバのプロパティで周辺装置の装着状態の設定（2-5ページ「メモ」参照）が正しく行われている必要があります。
- 用紙選択や機能の組み合わせによっては、目的の設定ができない場合があります。設定項目の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。機能を詳しく説明しています。

■ コピーモードでフィニッシャー機能を使うとき

コピーモードの基本画面に表示されている[アウトプット]キーをタッチするとソート／ステープルソート／中とじステープル／グループ機能、排紙トレイなどを選択する画面が表示されます。

① **[グループ]キー（5-18ページ）**
この機能が選択されている場合は、ページ単位で仕分けして印刷します。

② **[ステープルソート]キー（5-19ページ）**
この機能が選択されている場合は、仕分け印刷された用紙をステープルして１部ずつオフセットトレイに排紙します。（ただしオフセットはされません。）

③ **[ソート]キー（5-18ページ）**
この機能が選択されている場合は、１部ずつ仕分けして印刷します。

④ **アイコン表示**
ソート、ステープルソート、グループ、サドルステッチのいずれか選択されている機能のアイコンが表示されます。

⑤ **[オフセットトレイ]キー（5-17ページ）**
オフセットトレイが選択されている場合は、印刷された用紙をオフセットトレイに排紙します。（ステープルソート機能を選択した場合は、オフセットトレイが自動的に選択されます。）

⑥ **[本体トレイ]キー**
本体トレイが選択されている場合は、印刷された用紙を本体の上部排紙トレイに排紙します。

⑦ [OK]キー
画面を閉じて基本画面に戻すことができます。

⑧ [オフセット]キー（5-18ページ）
この機能は、チェックマークを"有り"にした場合はオフセット機能がはたらき、チェックマークを"無し"にするとオフセット機能がはたらきません。（ステープルソート機能を選択した場合は、オフセットのチェックは自動的に解除されます。）

⑨ [中とじステープル]キー（5-19ページ）
印刷された用紙の中央部にステープルを行い、中折りして排紙します。
この機能が選択されている場合は、中とじコピー機能（コピー機能編23ページ参照）が自動的に設定されます。

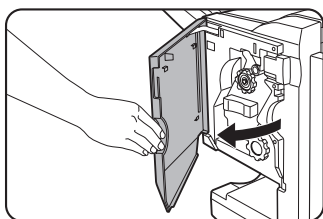
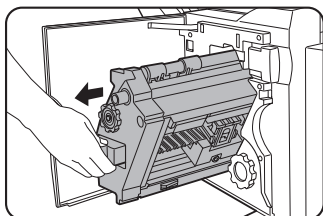
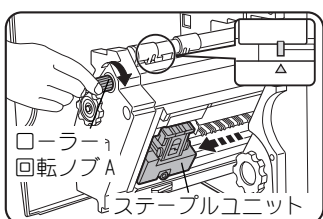
⑩ [パンチ]キー（5-19ページ）
パンチユニットを装着している場合は、印刷された用紙にパンチ穴を空けることができます。

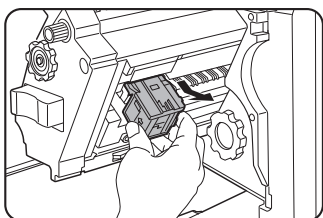
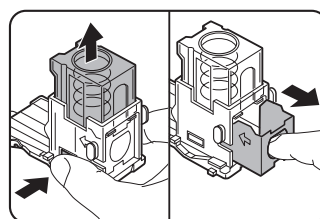
※ それぞれの機能が選択された場合は、反転表示されます。

針カートリッジの交換および針づまり処置

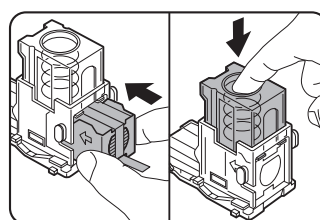
針カートリッジの針がなくなったり、針がつまると操作パネルにメッセージが表示されます。
次の手順にしたがって針カートリッジを交換、またはつまった針を取り除いてください。

■ 針カートリッジの交換

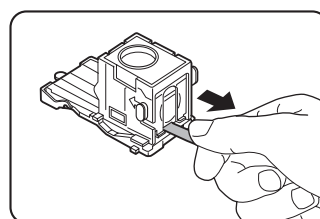
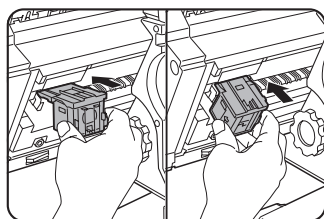
1 前面カバーを開ける

2 ステープル部を手前に引く

3 ローラー回転ノブAを矢印方向に回してステープルユニットを手前まで移動させる

図のように三角印と指標が合う位置までローラー回転ノブを回してください。

4 空になった針ケースを取り出す

5 空になった針カートリッジを取り出す

ロックボタンを押して針ケースカバーのロックをはずし、針カートリッジを取り出してください。

メモ 針が残っているときは、針カートリッジを取り出すことはできません。

6 針ケースに新しい針カートリッジをセットする

針カートリッジを挿入したら、針ケースカバーを上から押さえてロックしてください。

● **お願い** ●
- 針をとめているシールは、針ケースにセットする前にはがさないでください。
- 針カートリッジがしっかり固定されたか確認してください。
カチッと音がして、針ケースに固定されるまで押し込んでください。

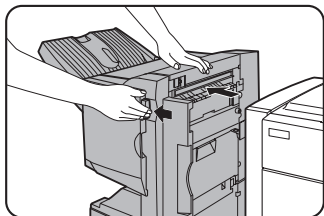
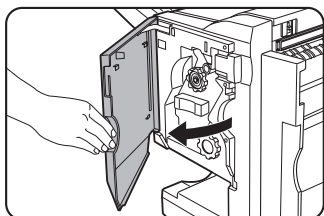
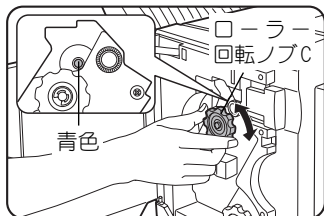
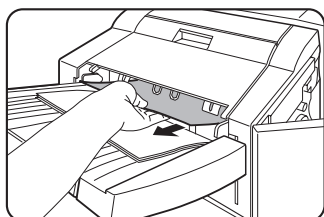
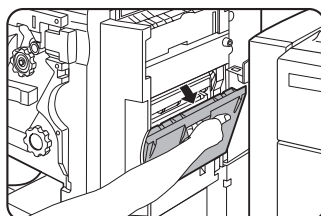
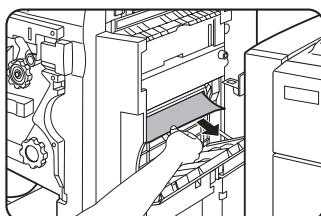
7 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜く

8 針ケースを押し込む

「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

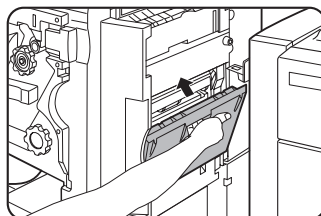
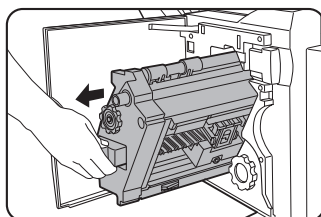
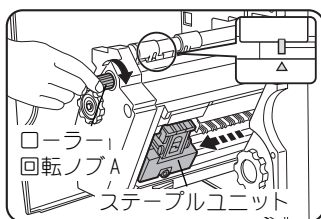
9 ステープル部を押し込む

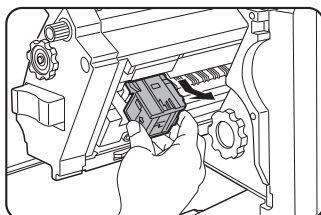
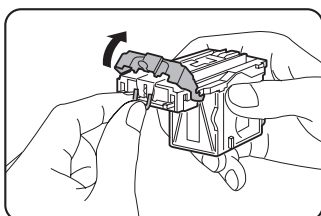
10 前面カバーを閉じる

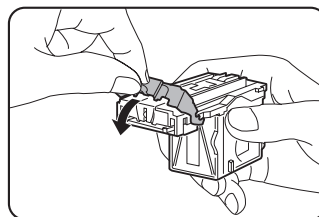
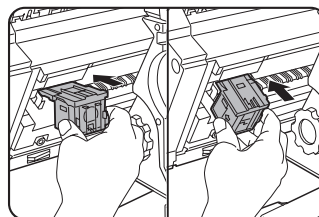
● **お願い** ●
- ステープルソートモードでためし印刷を行い、針が打たれていることを確認してください。

■ 針づまり処置

1 取っ手を引いて、本体とサドルフィニッシャーのあいだを開ける

2 前面カバーを開ける

3 ローラー回転ノブCを図のように青色の表示がでるまで回す

4 ステープルコンパイラーから用紙を取り出す

5 サドルステッチ部カバーを開ける（サドルステッチ（中とじステープル）機能使用時）

6 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

7 サドルステッチ部カバーを閉じる

8 ステープル部を手前に引く

9 ローラー回転ノブAを矢印方向に回してステープルユニットを手前まで移動させる

図のように三角印と指標が合う位置までローラー回転ノブを回してください。

10 針ケースを取り出す

11 針ケースの先端のレバーを上げる

先端の針が曲がっているときは必ず切り取ってください。曲がった針が付いたまま使用すると針づまりの原因となります。

12 先端のレバーをもどす

13 針ケースを押し込む

「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

14 ステープル部を押し込む

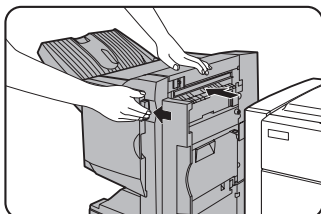
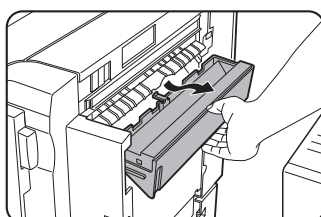
15 前面カバーを閉じる

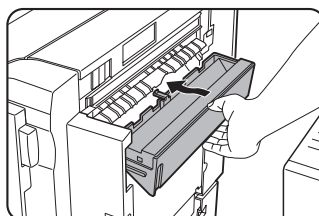
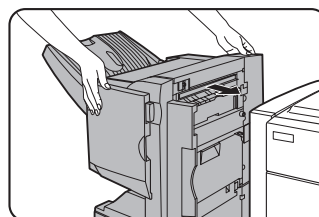
16 サドルフィニッシャーを押して本体に取り付ける

● **お願い** ●
- ステープルソートモードでためし印刷を行い、針が打たれていることを確認してください。

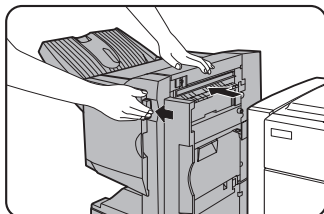
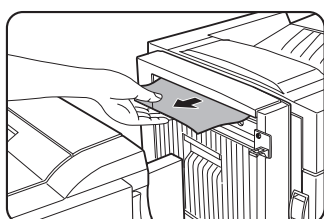
5

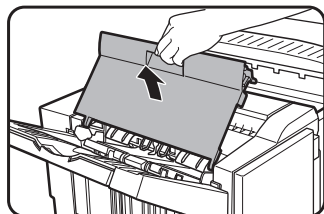
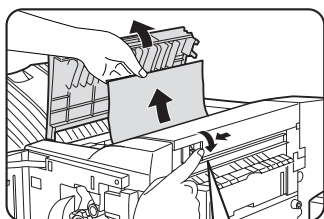
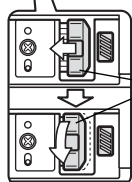
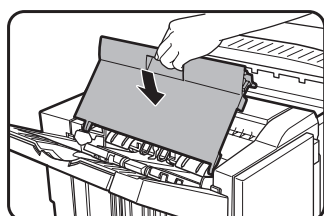
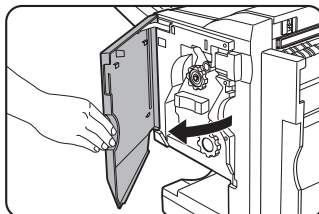
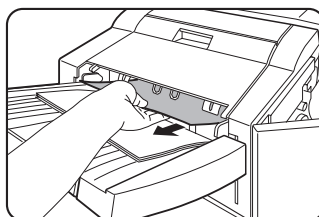
■ パンチくずの処理（周辺装置のパンチユニット装着時）

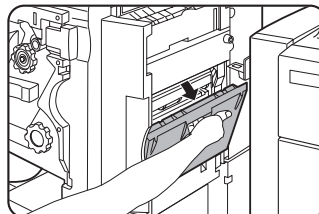
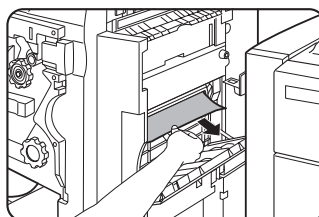
1 取っ手を引いて、本体とサドルフィニッシャーのあいだを開ける

2 パンチくず回収箱を静かに手前に引き抜き、パンチくずを取り除く

パンチくずは散らばらないように注意して、ビニール袋などに入れて捨ててください。

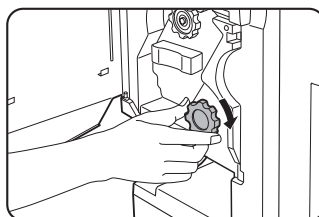
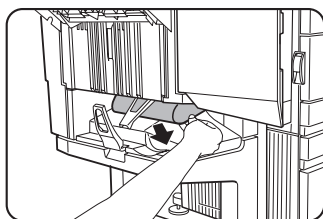
3 パンチくず回収箱をもとにもどす

4 サドルフィニッシャーを押して本体に取り付ける

サドルフィニッシャーでの紙づまり処置

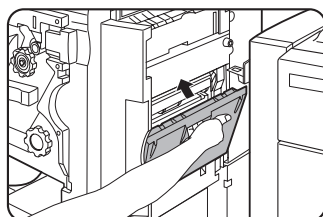
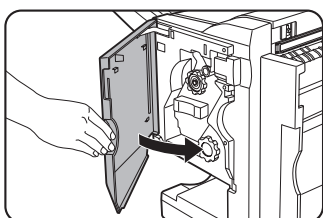
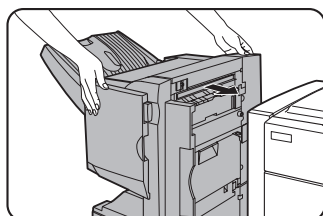
印刷中にサドルフィニッシャーで紙がつまったときは、次の手順に従ってつまった紙を取り除いてください。

1 取っ手を引いて、本体とサドルフィニッシャーのあいだを開ける

2 本体側でつまっている紙を取り出す

紙を取り出したあと、本体側紙づまりのリセット操作として、4-4ページ手順1と5の操作をしてください。

3 手順2で紙がつまってないときは、上面カバーを開く

4 パンチユニットのローラー回転ノブBを手前に引き寄せた状態で回しながら、つまっている紙を取り出す（周辺装置のパンチユニット装着時のみ）

ローラー回転ノブBを回すことにより、紙のひっかかりがはずれたら破れないように取り出してください。

5 上面カバーを閉じる

6 前面カバーを開ける（サドルステッチ（中とじステープル）機能使用時）

7 ステープルコンパイラーでつまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

8 サドルステッチ部カバーを開ける

9 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

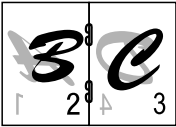
10 ローラー回転ノブDを矢印方向に回す

11 中とじステープルトレイでつまった紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

12 サドルステッチ部カバーを閉じる

13 前面カバーを閉じる

14 サドルフィニッシャーを押して、本体に取り付ける

“故障かな？”と思ったら（サドルフィニッシャー関連）

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなとき	ここをお確かめください	
ステープル位置がおかしい（サドルステッチ含む）	ステープルされる位置にあわせてステープル機能を設定していない	ステープル可能位置を確認して対処してください。（5-27、5-28ページ）
動作しない	サドルフィニッシャーの上面カバー、前面カバーが開いている	すべて閉じてください。（5-17ページ）
	ステープルコンパイラーから紙を取り除く必要があることをお知らせするメッセージが表示されている	5-22ページ手順４の操作と同じ要領でステープルコンパイラーに残っている用紙をすべて取り除いてください。
ステープルされない（サドルステッチ含む）	ステープルユニットをチェックするようにメッセージが表示される	すみやかに針づまりの処置をしてください。（5-22ページ）
	針を補給するようにメッセージが表示される	針カートリッジを交換してください。（5-21ページ）または針ケースの取付を忘れていないか確認してください。（5-22ページ）
	異なるサイズの用紙が混在している	異なるサイズの用紙を混在しているときはステープルできません。
	用紙のカールがひどく、印刷された用紙がステープルされない	用紙の質や種類の違いによっては、印刷された用紙のカールがひどい場合があります。 トレイまたは手差しトレイから用紙を取り出して、上下をひっくり返して入れ直してください。
パンチ位置がおかしい※1	パンチされる位置にあわせてパンチ機能を設定していない	パンチ穴可能位置を確認して対処してください。（5-19ページ）
パンチされない※1	パンチユニットをチェックするようにメッセージが表示される	パンチくずの処置をしてください。（5-23ページ）
	異なるサイズの用紙が混在している	異なるサイズの用紙が混在しているときはパンチできません。
	用紙のカールがひどく、印刷された用紙がパンチされない	用紙の質や種類の違いによっては、印刷された用紙のカールがひどい場合があります。 トレイまたは手差しトレイから用紙を取り出して、上下をひっくり返して入れ直してください。

※1：周辺装置のパンチユニットを装着している場合

ステープル位置早見表

ステープルするときは、印刷する画像データまたは原稿の向きと、ステープル位置、とじ位置、用紙送り方向などが複雑に関係します。下図はこれらの関係を表しています。

		印刷する画像データまたは原稿			できあがった結果	
		1ページ目（表面）	2ページ目（裏面）	両面		
縦方向印字	左とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
						短手方向の2箇所止めはできません。
	上とじ				1箇所のとき	2箇所のとき 上とじの2箇所止めはできません。
	右とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
						短手方向の2箇所止めはできません。
横方向印字	左とじ				1箇所のとき	左とじ2箇所止めはできません。
	上とじ				1箇所のとき	2箇所のとき
						短手方向の2箇所止めはできません。
	右とじ				1箇所のとき	右とじ2箇所止めはできません。

■ ■ ■ はとじ位置を表しています。

印刷画像とサドルステッチの関係

サドルステッチ（中とじステープル）するときは、印刷する画像データまたは原稿の向きと、用紙送り方向などが複雑に関係します。下図は画像とサドルステッチに必要な条件を表しています。

● **お願い** ●

- 次の用紙はステープルできません。
  パンチ済み用紙／OHP用紙／厚紙／ラベル紙／封筒／はがき
- 印刷する用紙サイズは同じサイズを選んでください。異なるサイズが含まれるとステープルできません。

第６章

キーオペレーター プログラム

この章は、キーオペレーターが使用するキーオペレータープログラムの操作について説明しています。キーオペレーターの方は、正しくお使いいただくためによくお読みください。

ページ

キーオペレータープログラム

ここでは、本機のキーオペレーターが使用するプリンタ機能とコピー機能やファクス機能などに共通するキーオペレータープログラムの操作方法について説明しています。コピー機能、ファクス機能、ネットワークスキャナ機能に使用する独自のキーオペレータープログラムはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。キーオペレータープログラムは最初にキーオペレーターコードを入力した場合にだけ使用することができます。

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合に表示されるプログラム名は｛　　　｝くくりで記載しています。

> メモ　お使いの本体や各種周辺装置の装着状況によってはキーオペレータープログラムリストのいくつかのプログラムが使用できません。

キーオペレータープログラムリスト

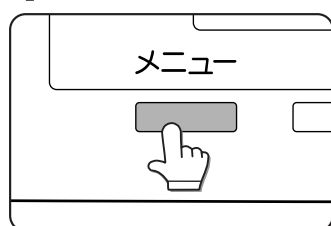
キーオペレータープログラムを使用するには

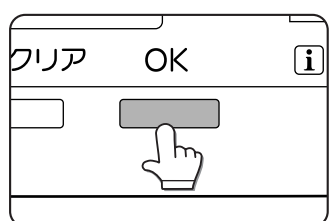
キーオペレータープログラムを使用するときの操作方法は、以下の手順にしたがって設定してください。

> はじめてキーオペレータープログラムをお使いになるときは、キーオペレーターコード番号（キーオペレータープログラムを使用する際に入力が必要な５桁の暗証番号）の登録（下記手順３～５または6-6ページ手順３～５を参照）を行ってください。

※タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は、6-6ページを参照してください。

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合

1 [メニュー]キーを押す

「ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」のメッセージが表示されるまで[メニュー]キーを押してください。

2 [OK]キーを押す

```
ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｺｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
              -----
```

[OK]キーを押すと左記のメッセージが表示されます。

3 ５桁目の暗証番号を入力して[OK]キーを押す

```
ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｺｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
              0----
```

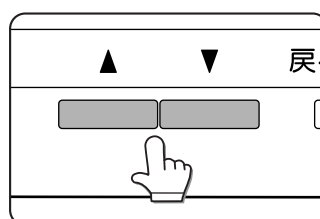
工場出荷時のキーオペレーターコード（暗証番号）は、8-7ページに記載されています。

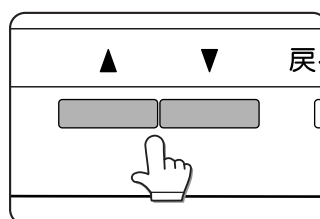
操作パネルの[▲]キーまたは[▼]キーで５桁目の数値を入力したあと、[OK]キーを押すと“＊”表示に変わり、４桁目の“－”表示が点滅します。[戻る／クリア]キーを押すと入力した数値を訂正できます。

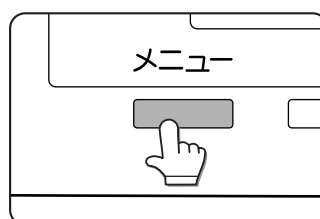
4 手順３と同じ操作で４桁目から１桁目までの暗証番号を入力して[OK]キーを押す

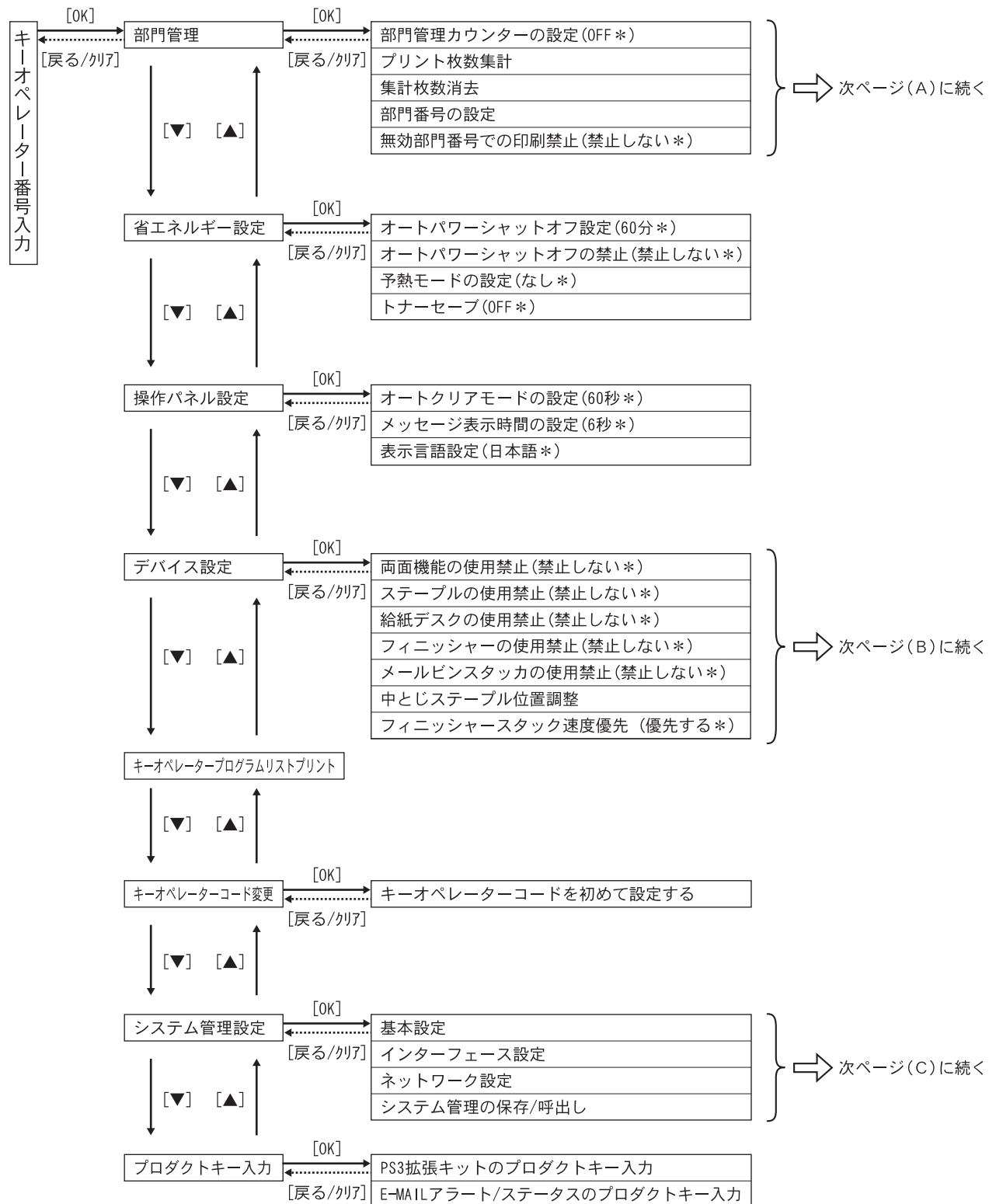
```
ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰｺｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
              *0---
```

上（５桁目）の操作と同じ操作手順で４桁目から１桁目までの数値を入力してください。

5 [▲]または[▼]キーを押して、目的の設定項目の画面を表示させて[OK]キーを押す

<例>
キーオペレーターコード番号の登録の場合「ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｺｰﾄﾞ ﾍﾝｺｳ」を選択し[OK]キーを押します。

6 [▲]または[▼]キーを押して希望の設定内容を表示させる

各設定項目の内容については、次ページの「各設定項目の分類（階層構造）詳細とキー操作補足説明」および、6-7ページからの説明を参照してください。

7 プログラムを終了するときは、[メニュー]キーを押す

各設定項目の分類(階層構造)詳細とキー操作補足説明（英数カナ表示の操作パネルを使用している場合）

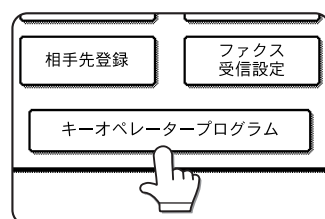
キーオペレータープログラムの設定操作は、下記のように分類(階層構造)されています。各プログラムの設定が終了したときや設定を中止するときは[戻る／クリア]キーを押すと１段上の階層に戻ります。メッセージに表示されている[C]は[戻る／クリア]キーを表しています。
[▼]キーまたは[▲]キーを押すと、同じ階層で項目の移動ができます。また、各プログラムの設定中に選択する数字をまちがえたときは[戻る／クリア]キーを押すと選択した数値を訂正することができます。[OK]キーを押して各プログラムの設定を完了させると、メッセージにアスタリスク“＊”が追加表示されます。
（　　　）内の表示は、工場出荷時の設定値です。

キーオペレータープログラムを終了するときは、操作パネルの[メニュー]キーを押してください。

(A)
部門管理カウンターの設定(OFF＊)
プリント枚数集計
集計枚数消去
部門番号の設定
無効部門番号での印刷禁止(禁止しない＊)
[OK]
[戻る/クリア]
プリント枚数集計表示
プリント枚数集計印字
[OK]
[戻る/クリア]
部門番号/登録(5桁)
部門番号/削除
部門番号/変更
部門番号/プリント
(B)
両面機能の使用禁止(禁止しない＊)
ステープルの使用禁止(禁止しない＊)
給紙デスクの使用禁止(禁止しない＊)
フィニッシャーの使用禁止(禁止しない＊)
メールビンスタッカの使用禁止(禁止しない＊)
中とじステープル位置調整
フィニッシャースタック速度優先 (優先する＊)
[OK]
[戻る/クリア]
用紙サイズ A3 (0.0mm＊)
用紙サイズ B4 (0.0mm＊)
用紙サイズ A4R (0.0mm＊)
用紙サイズ レジャー (0.0mm＊)
用紙サイズ レターR (0.0mm＊)
(C)
基本設定
インターフェース設定
ネットワーク設定
システム管理の保存/呼出し
[OK]
[戻る/クリア]
プリント印字濃度調整(標準＊)
注意通告ページ出力禁止(禁止しない＊)
テストページ印刷禁止(禁止しない＊)
A4/レターサイズ自動変換(OFF＊)
[OK]
[戻る/クリア]
16進ダンプモード(OFF＊)
パラレルポートPDL切替(自動＊)
ネットワークポートPDL切替(自動＊)
I/Oタイムアウト切替時間(20秒＊)
ポート切替方法(ジョブ毎＊)
[OK]
[戻る/クリア]
IPアドレス設定
TCP/IP有効(有効＊)
NetWare有効(有効＊)
EtherTalk有効(有効＊)
NetBEUI有効(有効＊)
NICリセット
[OK]
[戻る/クリア]
DHCP有効 (有効＊)
[OK]
[戻る/クリア]
IPアドレス設定(000.000.000.000＊)
IPネットマスク設定(000.000.000.000＊)
IPゲートウェイ設定(000.000.000.000＊)
[OK]
[戻る/クリア]
工場出荷時設定リセット
現在の設定保存
保存設定値の呼出し

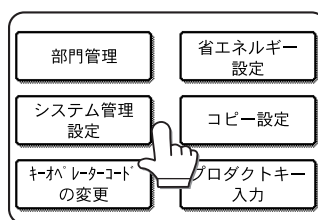
6

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合

1 [ユーザー設定]キーをタッチする

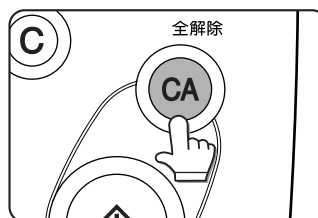
2 キーオペレータープログラムキーをタッチする

3 数字キーを使って、キーオペレーターコード（5桁の暗証番号）を入力する

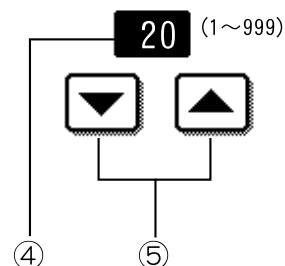
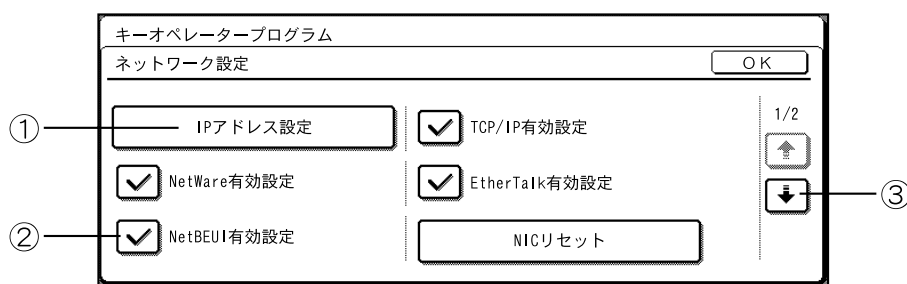
入力するごとに、メッセージ内のハイフン（－）がアスタリスク（＊）に変わります。工場出荷時のキーオペレーターコード（暗証番号）は、8-7ページに記載されています

4 いずれかのキーをタッチする

<例>
キーオペレーターコード（暗証番号）の登録の場合［キーオペレーターコードの変更］キーをタッチします。

5 希望のキーオペレータープログラムを選んだあと設定する

各設定項目の内容については、次ページからの説明を参照してください。

6 プログラムを終了するときは[CA]キーを押してください。

キーオペレータープログラムのキー操作補足説明

（タッチパネル式の操作パネルを使用している場合）

画面によっては以下のような入力キーが表示されます。

①項目が［　×××　］表示の場合は、そのキーをタッチするとその項目の設定画面が表示されます。
②項目の前に□があるものは、□をタッチすると☑のようにチェックマークが付き、設定された状態になります。
　チェックマーク（☑）が付いている状態でタッチすると□表示になり、設定が解除されます。
③設定項目が次画面にわたる場合、[↑]キーまたは[↓]キーをタッチすると、画面を切り替えることができます。
　また、[OK]キーをタッチすると、前画面に戻ります。
④設定した数値が表示されます。
⑤[▼]キーまたは[▲]キーをタッチすると数値を設定できます。

設定プログラムの説明

ここでは、本機のキーオペレーターが使用するプリンタ機能とコピー機能やファクス機能などに共通する設定プログラムの説明をしています。以降の説明文は英数カナ表示の操作パネルを使用している場合を基準に記載しています。**タッチパネル式の操作パネルを使用している場合の表示タイトルの相違、補足説明などは｛　　｝くくりで記載しています。**
英数カナ表示の操作パネルに漢字は表示されません。実際に表示される文字は英数カナ文字ですが以降の説明はわかり易さを目的にかな・漢字を使用しています。
コピー機能、ファクス機能、ネットワークスキャナ機能に使用する独自の設定プログラムや追加プログラムはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

部門管理

「部門管理」では次の項目が設定できます。
●部門管理カウンターの設定
●プリント枚数集計｛総枚数集計｝
●集計枚数消去
●部門番号の設定
●無効部門番号での印刷禁止

部門管理カウンターの設定

部門管理カウンターを設定すると部門(最大100部門)ごとに印刷枚数などをカウントさせることができ、必要なときにカウント枚数を表示させて集計することができます。部門管理カウンターが設定されている状態では、印刷する前に部門ごとに登録した部門番号(5桁の暗証番号)の入力が必要です。
部門管理カウンターを設定し、部門番号を登録しないと次の機能を使用することはできません。
●プリント枚数集計｛総枚数集計｝
●集計枚数消去

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

コピー機能、ファクス機能、ネットワークスキャナ機能を使用するときは部門番号を入力しないと原稿読み込みができないようになります。

プリント枚数集計｛総枚数集計｝

このプログラムは、各部門ごとにそれぞれの印刷集計枚数を表示し、印刷することもできます。集計枚数は紙づまりなどを起こしたものはカウントされません。

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

ファクス機能、ネットワークスキャナ機能を使用しているときは原稿の送信カウントを表示し、印刷することもできます。

※1集計枚数消去

このプログラムは、部門のプリント枚数集計を「０」にするときに使用します。

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

ファクス機能、ネットワークスキャナ機能を使用しているときは原稿の送信カウントを「０」にするときに使用します。

※1部門番号の設定

このプログラムは、プリンタを使用する部門の部門番号を新規登録、削除、変更または登録されている部門番号の一覧を印刷するときに使用します。部門番号は、最大100部門まで設定することができます。

・登録する部門番号の桁数は5桁です。１部門の登録が完了すると継続して次部門の登録ができます。
・部門番号の削除は1部門づつ削除するか全部門を一度に削除するかの二通りの方法が選択できます。
・部門番号の変更は、変更したい部門番号を入力した後から新しい部門番号を入力します。１部門の変更が完了すると継続して次部門の変更ができます。変更したい部門番号を入力する際、まちがえて未登録の部門番号を入力すると新しい部門番号の入力操作に移れません。

※1無効部門番号での印刷禁止

部門管理カウンターの設定が有効になっている場合、このプログラムを有効にすると、コンピュータ側から登録されていない部門番号を入力したり、部門番号を入力せずにプリント操作を行ったときは、プリント出力は行われません。このプログラムを無効にすると、プリント出力が行われます。そのときのプリント枚数は、「その他」の項目に対してプリント枚数がカウントされます。

メモ プログラム名に（※１）を記載しているプログラムの操作手順の最後には、プログラムの実行の確認を求めるメッセージが表示されます。
英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、［戻る／クリア］キーを押すと、このプログラムの実行を中止することができます。
タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は、［キャンセル］キーまたは［いいえ］キーをタッチすると、このプログラムの実行を中止することができます。

省エネルギー設定

「省エネルギー設定」では、お客さまの電力消費コストを節減するとともに、環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすための工夫として、次の３つの項目が設定できます。

●オートパワーシャットオフ設定
●オートパワーシャットオフの禁止｛オートパワーシャットオフ｝
●予熱モードの設定

また印刷濃度を薄くすることで、トナーの消費量を減らし通常より長く使用したいときに次のプログラムを設定することができます。

●トナーセーブ｛プリントトナーセーブモード｝

オートパワーシャットオフ設定

印刷終了後、放置された状態で設定時間が経過すると、オートパワーシャットオフがはたらき消費電力が最大限に節約されている状態で待機しています。この機能によりお客様の電力消費コストを節減するとともに、ひいてはそれが、天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすことにつながります。

［英数カナ表示の操作パネルを使用している場合］

このプログラムの時間設定は15分、30分、60分、120分、240分のいずれかを選択することができます。

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

このプログラムの時間設定は１分単位で240分まで設定できます。

メモ
- お客様の使用状況に応じて、最も適切と思われる時間に設定されることをおすすめします。
- オートパワーシャットオフの禁止（下記項目）が設定されているときは、ここで設定した時間は無効になります。

オートパワーシャットオフの禁止｛オートパワーシャットオフ｝

印刷終了後、放置された状態で設定時間が経過すると、オートパワーシャットオフの設定がはたらき消費電力が最大限に節約されている状態で待機しています。オートパワーシャットオフの禁止はこのモードの使用を禁止する（はたらかないようにする）ことができます。禁止するとオートパワーシャットオフの設定（上記項目）が無効になります。お客様の使用状況により、なんらかの理由でこのモードをはたらかせたくない場合にご使用ください。

● お願い ●

- 上記のようなオートパワーシャットオフの目的をご理解いただき、なるべくこのモードを使用禁止に設定せずに、オートパワーシャットオフ設定（上記項目）を使って、このモードがはたらくまでの時間を長めに設定することで、ご対応いただくことをおすすめいたします。

予熱モードの設定

印刷終了後、放置された状態で設定時間が経過すると予熱モードに入ります。この機能によりお客様の電力消費コストを節減するとともに、ひいてはそれが、天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすことにつながります。
お客様の使用状況に応じて、最も適切と思われる時間に設定されることをおすすめします。

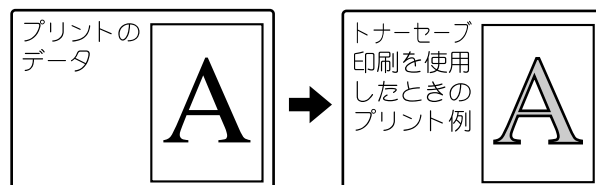
［英数カナ表示の操作パネルを使用している場合］

このプログラムの時間設定は15分、30分、60分、120分、240分、またはこのプログラムがはたらかないように設定できます。

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

このプログラムの設定時間は１分単位で240分まで設定できます。

トナーセーブ｛プリントトナーセーブモード｝

トナーセーブ印刷は、通常よりトナーの消費量を減らしてプリントするときに使用します。トナーセーブ印刷を設定すると、黒ベタ部分をハーフトーンでプリントします。（プリンタドライバを使用しない環境で有効です。プリンタドライバを使用しているときはプリンタドライバの設定が優先されます。）

［タッチパネル式の操作パネルを使用している場合］

ファクス機能、コピー機能を使用しているときはそれぞれの機能ごとにトナーセーブの有無を設定できます。設定しない場合に比べて、トナーの消費量をおさえて印刷することができます。

操作パネル設定｛操作設定｝

操作パネル設定は、おもに操作パネルに表示される項目を使用状況に応じて設定することができます。
「操作パネル設定」では、次の項目が設定できます。

- ●オートクリアモードの設定
- ●メッセージ表示時間の設定
- ●表示言語設定｛表示言語の設定｝
- ●｛ブザー音の設定｝
- ●｛ジョブ優先機能の禁止｝

オートクリアモードの設定

[英数カナ表示の操作パネルを使用している場合]

各種の設定画面の状態で、このプログラムで設定されている時間、放置されている状態が続くと、オートクリアがはたらき、メッセージが待機中表示またはジョブ状況表示に戻ります。（ただし、環境設定、ユーザー設定、キーオペレタープログラムの設定画面が表示されている状態ではオートクリアがはたらきません。）
このプログラムの時間設定は15秒、30秒、60秒、またはこのプログラムがはたらかないように設定できます。

[タッチパネル式の操作パネルを使用している場合]

コピージョブ終了後や実行中ジョブ・完了したジョブ・予約ジョブの詳細な情報確認をしている状態で、このプログラムで設定されている時間、放置されている状態が続くと、オートクリアがはたらき、コピーモードの基本画面やジョブ状況画面に戻ります。このプログラムの時間設定は10秒単位で240秒まで設定できます。このプログラムをはたらかないようにすることもできます。（ただし、この機能をはたらかないように設定してもファクスモードには適用されません。）

メッセージ表示時間の設定

このプログラムは、操作パネルに表示されるメッセージ（一定時間表示されたあと自動的に消えるもの）の表示時間を設定するときに使用します。

[英数カナ表示の操作パネルを使用している場合]

このプログラムの設定時間は３秒、６秒、９秒、12秒のいずれかを選択することができます。

[タッチパネル式の操作パネルを使用している場合]

このプログラムの設定時間は１秒単位で12秒まで設定できます。

表示言語設定｛表示言語の設定｝

このプログラムは、操作パネルに表示されるメッセージを日本語以外に切り替えるときに使用します。

｛ブザー音の設定｝

このプログラムは、タッチパネル式の操作パネルを使用している場合のみ使用できます。
このプログラムは、下記のアラーム音を鳴らすか、禁止する（鳴らないようにする）ときに使用します。通常は、アラームが鳴るように設定されています。
キータッチ音／原稿読み込み終了音／ファクス受信音／通信エラー音
音量は、「大」または「小」２種類の設定ができます。

｛ジョブ優先機能の禁止｝

このプログラムは、タッチパネル式の操作パネルを使用している場合のみ使用できます。
実行中のジョブ（プリント/コピー/ファクス受信）の次に、優先してジョブを予約する（1-14ページ）ことを禁止するときに使用します。

6

デバイス設定

本機に装着されている周辺機器が故障したときや、一時的に使用を禁止したいときに設定します。
また、周辺機器の機能設定を使用状況に応じて設定しなおしたりすることができます。
「デバイス設定」では、次の項目が設定できます。
●両面機能の使用禁止
●ステープルの使用禁止
●給紙デスクの使用禁止
●フィニッシャーの使用禁止
●メールビンスタッカの使用禁止
●中とじステープル位置調整
●フィニッシャースタック速度優先

両面機能の使用禁止

このプログラムは、両面印刷機能を禁止するときや両面モジュールが故障したときに使用します。
設定すると、片面印刷のみになります。

ステープルの使用禁止

このプログラムは、ステープルを禁止するときやフィニッシャーまたはサドルフィニッシャーのステープルユニットが故障したときに使用します。

給紙デスクの使用禁止

このプログラムは、３段給紙デスク、大容量給紙デスクの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

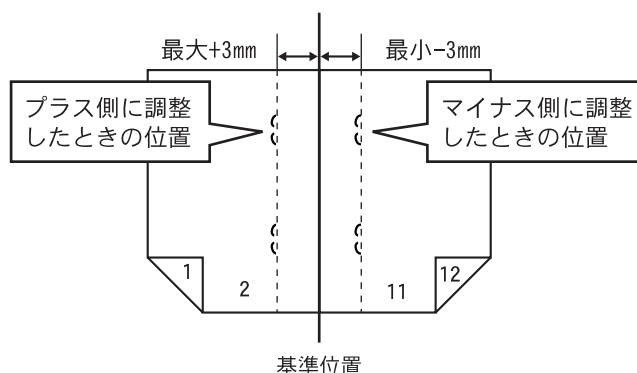
フィニッシャーの使用禁止

このプログラムは、サドルフィニッシャーまたはフィニッシャーの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

メールビンスタッカの使用禁止

このプログラムは、メールビンスタッカの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

中とじステープル位置調整

このプログラムは、サドルフィニッシャーを装着し、サドルステッチ（中とじステープル）機能を使用する場合、ステープル位置（中折り位置）を調整したいときに使用します。
設定値は、各用紙サイズごとに基準位置から0.1mm単位で±3.0mmの範囲内で調整できます。

フィニッシャースタック速度優先

このプログラムは、サドルフィニッシャーを装着し、オフセット機能を使用して印刷する際の印刷速度を優先させるときに使用します。
印刷速度を優先させた場合、排紙された用紙のオフセット状態が多少悪くなることがあります。
工場出荷時は、印刷速度を優先させる状態に設定されています。

キーオペレータープログラムリストプリント｛リスト／レポートプリント｝

キーオペレータープログラムのリストを印刷するときに使用します。

[タッチパネル式の操作パネルを使用している場合]

コピー機能、ファクス機能、ネットワークスキャナ機能のキーオペレータープログラムリストを印刷することができます。

キーオペレーターコード変更 ｛キーオペレーターコードの変更｝

このプログラムは、工場出荷時のキーオペレーターコード（暗証番号）の変更または登録した暗証番号を変更しなおすときに使用します。
キーオペレーターの方は、希望のキーオペレーターコード（暗証番号）を登録してください。
キーオペレータープログラムを操作するときはキーオペレーターコード（暗証番号）の入力が必要です。キーオペレーターコード（暗証番号）は１ 種類しか登録できません。工場出荷時のキーオペレーターコード（暗証番号）は、8-7ページに記載されています。
このページは切りとって、キーオペレーターの方が必ず保管してください。また、登録したキーオペレーターコード（暗証番号）を必ず覚えておいてください。

基本設定

基本設定は、工場出荷時の各種プリンタ機能の設定を使用状況に応じて設定しなおしたり、解除することができます。
「基本設定」では、次の項目が設定できます。
●プリント印字濃度調整
●注意通告ページ出力禁止 {注意通告ページ出力禁止}
●テストページ印刷禁止 {テストページの出力禁止}
●A4／レターサイズ自動変換

プリント印字濃度調整

印刷濃度をうすく、またはこくするときに使用します。印刷される画像の濃度を５段階に分けて調整します。

[英数カナ表示の操作パネルを使用している場合]

プリント印字濃度は、次の中から設定できます。
標準・うすい・ややうすい・ややこい・こい

[タッチパネル式の操作パネルを使用している場合]

表示されている数字は、「１」側がうすい濃度、「５」側がこい濃度を意味します。

注意通告ページ出力禁止 {注意通告ページ出力禁止}

このプログラムは、注意通告ページの印刷をしないようにするときに設定します。注意通告ページについては「注意通告ページについて」（8-5ページ）を参照してください。

テストページ印刷禁止 {テストページの出力禁止}

テストページの印刷を禁止するときに使用します。設定すると、ユーザー設定のプリンタテストページ（テストページプリント）の印刷はできません。（3-15ページ）

A4／レターサイズ自動変換

レターサイズ用紙がセットされていない状態で、レターサイズ用紙の給紙が要求されたときにA4サイズの用紙で印刷するかを設定します。
※A4サイズ用紙がないときにレターサイズ用紙に切り替えて印刷することはできません。

> メモ 例えば、海外から電子メールで送られてきた添付書類の用紙設定がレターサイズだった場合、そのまま印刷開始操作をすると国内では、レターサイズ用紙を本体側にセットしている頻度が少ないため、印刷が停滞します。このプログラムを有効にすると、自動的にA4サイズ用紙で印刷されるので停滞を回避できます。

6

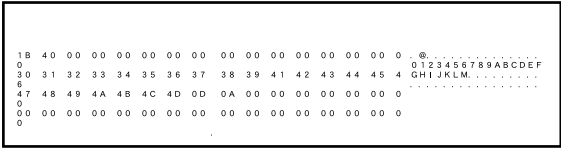
インターフェース設定

インタフェース設定は本機のパラレルポートやネットワークポートに送られてくるデータの監視や制限などを設定します。
「インタフェース設定」では次の項目が設定できます。

- 16進ダンプモード
- パラレルポートPDL切替｛パラレルポートエミュレーション切替方法｝
- ネットワークポートPDL切替｛ネットワークポートエミュレーション切替方法｝
- I/0タイムアウト切替時間
- ポート切替方法

16進ダンプモード

このプログラムは、コンピュータ側から送られてきた印刷データを16進数とそれに対応する英数カナ文字（ASCIIコード基準）で印刷するために使用します。このプログラムは、コンピュータ側からプリンタ側へ正しく印刷データが送られているか、などを確認するときに使用します。

16進ダンプモードの出力例（A4縦）

パラレルポートPDL切替｛パラレルポートエミュレーション切替方法｝

本機をパラレルポートで接続しているとき、エミュレーションするプリンタ言語を設定します。

設定できる項目	項目の内容
自動	コンピュータから入ってきたデータを自動的に判断して、プリンタ言語を切り替える。
PostScript	コンピュータから入ってきたデータをPostScriptのエミュレーションで印刷する。（別売品のPS3拡張キットが必要です。）
SPDL2	コンピュータから入ってきたデータをSPDL2モード（シャープの提供するPDL）で印刷する。
ESC/P（スーパー）	コンピュータから入ってきたデータをESC/P（スーパー）のエミュレーションで印刷する。

> メモ 印刷エラーが多発しない限り、工場出荷時に設定されている「自動」を変更しないでください。

ネットワークポートPDL切替｛ネットワークポートエミュレーション切替方法｝

本機をネットワークポートで接続しているとき、エミュレーションするプリンタ言語を設定します。設定する項目の内容は「パラレルポートPDL切替」と同じです。

> メモ 印刷エラーが多発しない限り、工場出荷時に設定されている「自動」を変更しないでください。

I/0タイムアウト切替時間｛I/0タイムアウト時間｝

このプログラムは、使用したポートで印刷データ受信待ち状態から、ある一定の時間を経過し、印刷データが送られないとき、そのポートの接続を一時中断し、ポートを自動選択させる、あるいは次の印刷待ちデータを開始させる状態にする機能です。I/0タイムアウト時間とは、印刷データ受信待ち状態からI/0タイムアウトになるまでの時間を設定します。

> メモ 入力できる数値は、1秒から999秒まで設定できます。

ポート切替方法

本機のパラレルポートとネットワークポートの切り替えを設定します。

設定できる項目	項目の内容
ジョブ毎｛ジョブ終了で切替｝	印刷作業終了後、ポートを自動選択の状態にします。
タイムアウト｛I/0タイムアウト後の切替｝	I/0タイムアウト時間（上の項目）で設定した時間になると、ポートを自動選択の状態にします。
パラレル無効｛パラレルポート無効｝	パラレルポートからの印刷を停止します。
ネットワーク無効｛ネットワークポート無効｝	ネットワークポートからの印刷ポート無効を停止します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定は、この製品をネットワークプリンタとして使用するときに設定します。
「ネットワーク設定」では、次の項目が設定できます。それぞれの項目を変更したあと、キーオペレータープログラムを終了してからメインスイッチを切り、しばらく間をあけてから再度メインスイッチを入れると有効になります。

●IPアドレス設定
●TCP/IP有効｛TCP/IP有効設定｝
●NetWare有効｛NetWare有効設定｝
●EtherTalk有効｛EtherTalk有効設定｝
●NetBEUI有効｛NetBEUI有効設定｝
●NICリセット

● **お願い** ●
「ネットワーク設定」の設定や変更は、必ずネットワーク管理者にご相談ください。

IPアドレス設定

TCP/IPプロトコルを使用したネットワークで、この製品を使用するときに、この製品のIPアドレスを設定します。（IPアドレス、IPネットマスク、IPゲートウェイ）
工場出荷時はIPアドレス設定を自動的に取得する状態（DHCP有効）に設定されています。
TCP/IPプロトコルのネットワークで、この製品を使用するときは下の項目の「TCP/IP有効」の設定を有効にしてください。

TCP/IP有効｛TCP/IP有効設定｝

TCP/IPプロコトルを使用したネットワークで、この製品を使用するときに設定します。TCP/IPプロコトルでこの製品を使用するときは、「IPアドレス設定」でIPアドレスを設定してください。

NetWare有効｛NetWare有効設定｝

NetWareプロコトルを使用したネットワークで、この製品を使用するときに設定します。

EtherTalk有効｛EtherTalk有効設定｝

EtherTalkプロコトルを使用したネットワークで、この製品を使用するときに設定します。

NetBEUI有効｛NetBEUI有効設定｝

NetBEUIプロコトルを使用したネットワークで、この製品を使用するときに設定します。

※1NICリセット

この製品で設定した、すべてのNIC（Network Interface Card：ネットワークインタフェースカード「プリント・サーバー・カード」）の設定項目を工場出荷時の状態に戻します。

プログラム名に（※1）を記載しているプログラムの操作手順の最後には、プログラムの実行の確認を求めるメッセージが表示されます。

英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、[戻る／クリア]キーを押すと、このプログラムの実行を中止することができます。

タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は、[キャンセル]キーまたは[いいえ]キーをタッチすると、このプログラムの実行を中止することができます。

6

システム管理の保存/呼び出し

環境設定（3-2ページ）および、キーオペレータープログラムのシステム管理設定（6-11ページ）で設定した内容を工場出荷時の状態に戻したり、現在の設定内容を保存し、将来、設定内容が変わってもメモリーから読み出して、保存した設定内容に復帰させることができます。
「システム管理の保存・呼出し」では、次の項目が設定できます。
●工場出荷時設定リセット
●現在の設定保存
●保存設定値の呼出し

※1 工場出荷時設定リセット

環境設定（3-2ページ）および、キーオペレータープログラムのシステム管理設定（基本設定/インタフェース設定）（6-11、6-12ページ）で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。戻す前に設定内容を控えておきたい場合は、ユーザー設定のリストプリント（3-15ページ）およびキーオペレータープログラムのリストプリント（6-10ページ）であらかじめ印刷しておいてください。

> メモ このプログラムを実行したあと、キーオペレータープログラムを終了してからメインスイッチを切り、しばらく間をあけてから再度メインスイッチを入れると有効になります。

※1 現在の設定保存

環境設定（3-2ページ）および、キーオペレータープログラムのシステム管理設定（基本設定/インタフェース設定/ネットワーク設定）（6-11、6-12ページ）で設定した内容をメモリーに保存します。保存内容はメインスイッチを切っても消えません。保存した設定を読み出すときは、次の項目で説明する「保存設定値の呼出し」を使用します。

※1 保存設定値の呼出し

このプログラムは、「現在の設定保存」プログラムで保存した内容を読み出して保存されている設定に復帰させるときに使用します。

> メモ このプログラムを実行したときに「TCP/IP有効」「NetWare有効」「NetBEUI有効」「EtherTalk有効」の設定が変更されている場合は、キーオペレータープログラムを終了してからメインスイッチを切り、しばらく間をあけてから再度メインスイッチを入れると有効になります。

> メモ プログラム名に（※1）を記載しているプログラムの操作手順の最後には、プログラムの実行の確認を求めるメッセージが表示されます。
> 英数カナ表示の操作パネルを使用している場合は、[戻る／クリア]キーを押すと、このプログラムの実行を中止することができます。
> タッチパネル式の操作パネルを使用している場合は、[キャンセル]キーまたは[いいえ]キーをタッチすると、このプログラムの実行を中止することができます。

プロダクトキー入力

次のような場合は、このプログラムでプロダクトキー（暗証番号）の入力操作を行う必要があります。

PS3拡張キットのプロダクトキー入力

本機をPostScript互換プリンタとして使用する場合に使用します。
入力するパスワードは、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

{ネットワークスキャナ拡張キットのプロダクトキー入力}

ネットワークスキャナ機能を使用する場合（タッチパネル式の操作パネルを使用している場合のみ）に使用します。
入力するパスワードは、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

E-MAILアラート/ステータスのプロダクトキー入力

このプログラムは現在ご使用になれません。将来ネットワークシステムを使ってお客様の製品サポートを行う目的で準備されています。

第7章

知っておいて いただきたいこと

この章は、この製品を使用するために知っておいていただきたい参考知識を説明しています。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

① 「“故障かな？”と思ったら」（4-8～4-11ページ）をよくお読みください。
② それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、お買いあげ販売店またはシャープドキュメントシステム（株）に次のことをご連絡のうえ、修理をお申しつけください。
お申し出により出張修理いたします。

> 品名および形名
> 故障の状態（できるだけ詳しく）
>
> 品名および形名はお買いあげいただいた製品の構成によって異なります。（本機の品名や形名についての一覧は、別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書を参照）また周辺装置を装着している場合は、その装置の品名や形名についてもお伝えください。（周辺装置の品名や形名についての一覧は1-6～1-8ページ）また周辺装置が故障していると思われる場合は、その装置の状態について詳しくお伝えください。

⚠ **注意**

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

③ アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。次ページのとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

■ 転居されるときは

この製品を移動するときは内部のデベロッパーやトナーなどを取り出す必要がありますので、ご転居の際はお買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

●保証期間
当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後、７年保有しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守サービスシステムについて

機器の性能や機能を維持するための保守サービスシステムが準備されています。
別冊（はじめにお読みください）の取扱説明書を参照してください。

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へ

窓口区分
- 製品のお取扱い方法やご意見・ご質問などは………… 相談 窓口へ
- 製品の修理・サプライ用品のお問い合わせは………… 修理 窓口へ
- 製品の持込修理についてのお問い合わせは…………… 持込 窓口へ

お客様ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
相談 修理	北海道	札幌技術センター	(011)641-0751	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
修理		函館	(0138)52-5190	〒040-0001	函館市五稜郭町31-17
修理		釧路	(0154)24-8191	〒085-0051	釧路市光陽町8-13
修理		帯広	(0155)21-2881	〒080-0018	帯広市西8条南3-17
相談 修理		旭川技術センター	(0166)22-8284	〒070-0031	旭川市一条通4-左10
修理		北見	(0157)36-6814	〒090-0836	北見市三輪435
相談 修理	青森県	青森技術センター	(017)738-7778	〒030-0121	青森市妙見3-3-4
修理		八戸	(0178)45-2631	〒031-0802	八戸市小中野2-8-16
相談 修理	岩手県	岩手技術センター	(019)638-6085	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
相談 修理	宮城県	仙台技術センター	(022)288-9161	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
修理	山形県	山形	(023)631-6634	〒990-2332	山形市飯田2-7-43
修理		シャープ事務機山形販売(株)	(023)633-3215	〒990-2214	山形市大字青柳字柳田55-3
相談 修理	秋田県	秋田技術センター	(018)865-1258	〒010-0941	秋田市川尻町字大川反170-56
相談 修理	福島県	福島技術センター	(024)946-0196	〒963-0111	郡山市安積町荒井字方八丁33-1
修理		いわき	(0246)28-2487	〒970-8033	いわき市自由ケ丘37-10
相談 修理	茨城県	水戸技術センター	(029)243-0909	〒310-0851	水戸市千波町1963
相談 修理	栃木県	宇都宮技術センター	(028)634-0256	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
相談 修理	群馬県	前橋技術センター	(027)252-7311	〒371-0855	前橋市問屋町1-3-7
相談 修理	埼玉県	出張修理受付窓口	(03)5711-8100		
持込		埼玉技術センター	(048)666-7148	〒330-0038	大宮市宮原町2-107-2
持込		埼玉東技術センター	(0489)79-6459	〒343-0804	越谷市大字南荻島346-1
相談 修理	千葉県	出張修理受付窓口	(03)5711-8100		
持込		千葉技術センター	(043)299-8855	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
持込		西千葉技術センター	(047)368-8346	〒270-2231	松戸市稔台295-1
相談 修理	東京都	出張修理受付窓口	(03)5711-8100		
持込		ドキュメントサービス部 第1地区	(03)3624-7476	〒130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
持込		ドキュメントサービス部 第2地区	(03)3260-5253	〒162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8
持込		ドキュメントサービス部 第3地区	(03)3777-0850	〒143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15
持込		東京第1技術センター	(03)3624-7476	〒130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
持込		東京第2技術センター	(03)3973-7789	〒174-0074	東京都板橋区東新町1-33-11
持込		西東京技術センター	(042)583-1993	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
持込	山梨県	山梨	(055)228-3833	〒400-0049	甲府市富竹2-1-17
相談 修理	神奈川県	出張修理受付窓口	(03)5711-8100		
持込		横浜技術センター	(045)753-9540	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
持込		湘南	(045)753-9540	〒254-0013	平塚市田村1381
持込		相模原	(045)753-9540	〒229-1122	相模原市横山2-2-12
相談 修理	長野県	松本技術センター	(0263)27-1636	〒399-0002	松本市芳野8-14
相談 修理		長野技術センター	(026)293-6360	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
相談 修理	新潟県	新潟技術センター	(025)284-6023	〒950-0993	新潟市上所中1-7-21
相談 修理		長岡技術センター	(0258)23-1850	〒940-1104	長岡市摂田屋町字崩2600
相談 修理	富山県	富山技術センター	(076)451-3933	〒930-0906	富山市金泉寺71-1
相談 修理	石川県	金沢技術センター	(076)249-9033	〒921-8801	石川郡野々市町字御経塚町1096-1
修理	福井県	福井	(0776)53-6050	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
修理		シャープ事務機福井販売(株)	(0776)27-1800	〒910-0067	福井市新田塚1-70-26
相談 修理	岐阜県	岐阜技術センター	(058)274-7996	〒500-8358	岐阜市六条南3-12-9

お客様ご相談窓口

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
相談 修理	静岡県	静岡技術センター	(054)283-9497	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
修理		沼津	(0559)24-1028	〒410-0062	沼津市宮前町11-4
相談 修理		浜松技術センター	(053)465-0735	〒430-0803	浜松市植松町1476-2
相談 修理	愛知県	ドキュメントサービス部	(052)332-2748	〒454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
相談 修理		名古屋技術センター	(052)332-2758	〒454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
相談 修理		豊橋技術センター	(0532)54-1830	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1
修理		岡崎	(0564)25-0611	〒444-0065	岡崎市柿田町1-21
相談 修理	三重県	三重技術センター	(059)231-1573	〒514-0102	津市栗真町屋町字蒲池328
相談 修理	京都府	京都技術センター	(075)681-9551	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
修理		北近畿	(0773)23-6996	〒620-0054	福知山市末広町6-13
相談 修理	滋賀県	滋賀技術センター	(077)543-2331	〒520-2151	大津市栗林町11-35
相談 修理	大阪府	ドキュメントサービス部	(06)6794-6901	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
相談 修理		大阪技術センター	(06)6796-5430	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
相談 修理		堺技術センター	(0722)45-5855	〒590-0824	堺市老松町1-39
相談 修理		北大阪技術センター	(0726)34-4683	〒567-0831	茨木市鮎川5-15-3
相談 修理	兵庫県	神戸技術センター	(078)452-1762	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
相談 修理		阪神技術センター	(06)6421-2304	〒661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10
相談 修理		姫路技術センター	(0792)66-8295	〒671-2222	姫路市青山5-7-7
相談 修理	奈良県	奈良技術センター	(0743)53-2023	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
相談 修理	和歌山県	和歌山技術センター	(073)445-6298	〒641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
相談 修理	島根県	松江技術センター	(0852)21-6110	〒690-0017	松江市西津田3-1-10
修理	鳥取県	鳥取	(0857)26-4227	〒680-0802	鳥取市青葉町2-204
相談 修理	岡山県	岡山技術センター	(086)292-5830	〒701-0301	都窪郡早島町大字矢尾828
相談 修理	広島県	広島技術センター	(082)874-6100	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
修理		東広島	(0824)28-3065	〒739-0142	東広島市八本松東4-3-30
相談 修理		福山技術センター	(0849)52-0736	〒720-0841	福山市津之郷町大字津之郷272-1
相談 修理	山口県	山口技術センター	(083)972-4525	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
相談 修理	香川県	高松技術センター	(087)823-4980	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
修理	徳島県	徳島	(088)625-8840	〒770-0813	徳島市中常三島町3-11-14
修理	高知県	高知	(088)883-7039	〒780-8123	高知市高須960-1
相談 修理	愛媛県	松山技術センター	(089)973-0121	〒791-8036	松山市高岡町178-1
相談 修理	福岡県	福岡技術センター	(092)572-2617	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
相談 修理		南福岡技術センター	(0942)45-4551	〒839-0841	久留米市御井旗崎3-7-14
相談 修理		北九州技術センター	(093)592-6510	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
相談 修理	大分県	大分技術センター	(097)552-2164	〒870-0913	大分市松原町3-5-3
相談 修理	長崎県	長崎技術センター	(0957)53-3858	〒856-0817	大村市古賀島町613-3
修理	佐賀県	佐賀	(0952)25-0983	〒840-0857	佐賀市鍋島町大字八戸字五本松篭2043-2
相談 修理	熊本県	熊本技術センター	(096)372-1251	〒862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
相談 修理	鹿児島県	鹿児島技術センター	(099)259-0628	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
修理	宮崎県	宮崎	(0985)28-8371	〒880-0007	宮崎市原町4-12
相談 修理	沖縄県	沖縄シャープ電機株式会社	(098)861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープ株式会社

シャープ製品に対するご意見・ご要望など一般のご相談は下記ご相談窓口へ

東日本相談室	☎(043)299-8021	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	☎(06)6794-8021	FAX(06)6792-5993	〒581-8585	八尾市北亀井町3-1-72

受付時間　月曜日～土曜日　午前９時～午後６時
日曜日・祝日　午前10時～午後5時(12月30日～1月４日は休みます。)
所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(010602)

第8章

付録

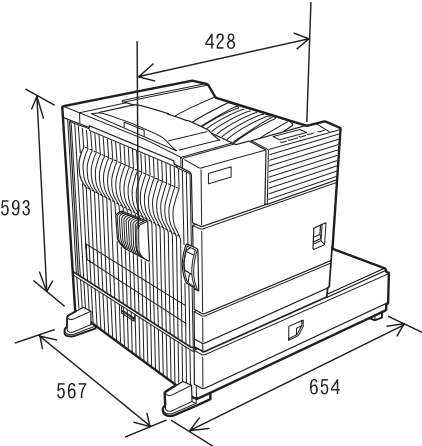
この章は、この製品の仕様などについての詳細な情報を記載しています。

ページ

プリンタ仕様

仕様

形式	デスクトップ（周辺装置の３段給紙デスクまたは大容量給紙デスク装着時はコンソール）
記録方式	電子写真方式
露出方式	半導体レーザーダイオード方式
感光体種類	OPC
現像方式	乾式２成分磁気ブラシ現像方式
給紙方式	給紙カセット
定着方式	ヒートローラー方式
ＣＰＵ	64bit RISC 200MHz
搭載メモリー（標準装備）	標準32MB/マルチファンクションコントローラー付きは64MB
増設用DIMMスロット	1基（64MB～256MB装着可能）
ページ記述言語	SPDL2、ESC/P、ESC/Pスーパーエミュレーション、PS3エミュレーション※1
搭載フォント	アウトラインフォント 欧文フォント45書体（SPDL2モード専用） ラインプリンタフォント1書体（SPDL2モード専用） 欧文フォント136書体（PostScript互換※1） 漢字フォント5書体（PostScript互換※1） ※1　別売品のPS3拡張キットが必要です ビットマップフォント 欧文フォント2書体（ESC/P、ESC/Pスーパー用） 漢字フォント2書体（ESC/P、ESC/Pスーパー用）
インターフェース仕様	IEEE1284準拠パラレルインタフェイス（P1284Bコネクター）
ネットワーク仕様	10 Base-T/100 Base-TX（本機にネットワーク機能を拡張するには周辺装置の「プリント・サーバー・カード」が必要です）
ウォーミングアップ時間	約80秒
連続印刷速度	35枚機：35枚/分　　45枚機：45枚/分
解像度	600 × 600dpi
印刷色	黒
印刷方向	縦方向（ポートレート） / 横方向（ランドスケープ）
電源	AC100V 50 / 60Hz
最大消費電力	1450W
動作環境	温度 ： 15℃～30℃　　相対湿度 ： 20％～80％

寸法（単位：ミリメートル）

質量約50Kg
（多目的給紙トレイを含む）

騒音放出値（ISO7779に準拠する騒音測定）

		稼動中（連続プリント中）	待機中
音響パワーレベルL_{WA}		6.7 B	4.8 B
音圧レベル L_{pA}	バイスタンダ位置	53 dB(A)	33 dB(A)

エミッション濃度（RAL UZ62に準拠する測定）

オゾン	0.02 mg/m^3 以下
粉じん	0.075 mg/m^3 以下
スチレン	0.07 mg/m^3 以下

プリンタ機能のおもな仕様一覧

			別売品のPS3拡張キット装着時		
機能		SPDL2	PS	PPD (Windows)	PPD (Macintosh)
よく使う設定	部数	1-999	1-999	1-999	1-999
	印刷の向き	○	○	○	○
	両面プリント	○	○	○	○
	中とじ	○	○	×	×
	とじ方向	左/上/右	左/上/右	長辺/短辺	長辺/短辺
	N-up	2/4/6/8	2/4/6/8	2/4※3※4	2/4/6/9/16
	N-up方向	Z	Z	Z	Z/逆Z/N/逆N
	N-up枠線	○	○	○(Always)	○
給紙方法	用紙サイズ	○	○	○	○
	ユーザー定義用紙	1サイズ	1サイズ	3サイズ※3※5	×
	給紙方法	○	○	○	○
	第1ページの給紙トレイ	○	○	×	○
	OHP合い紙	○	○	×	○
排紙方法	排紙先選択	○	○	○	○
	メールビン	○	○	○	○
	ステープル	○	○	○	○
	オフセット	○	○	○	○
	パンチ	○	○	○	○
画質	解像度	600/300dpi	600dpi	600dpi	600dpi
	ハーフトーン	×	○	○	×
	グラフィックモード選択	○	×	×	×
	スムージング	○	○	○	○
	トナーセーブ	○	○	○	○
	高精細写真	○	○	×	×
	白黒反転	×	○	○	○
	ミラーイメージ	×	縦/横	横	縦/横
	ズーム	×	×	○	○
	フィットページ	○	○	×	×
フォント	使用可能内蔵フォント	46種類	136種類+日本語5書体	136種類+日本語5書体※6	35種類+日本語5書体
	選択できるダウンロード形式	Bitmap TrueType、Graphic	Bitmap Type1 TrueType	Bitmap Type1 TrueType	×
その他の機能	ウォーターマーク※7	○	○	○	○
	オーバーレイ	○	○	×	×
	ジョブリテンション※1	○	○	×	○
	プリント部門管理	○	○	×	○
	ユーザー設定	○	○	×	×
	オプション自動設定※2	○	○	×	○
	ジョブ完了通知	○	○	×	×

※1 …… 周辺装置のハードディスクドライブの装着が必要です。
※2 …… 本体に周辺装置を装着した場合にはたらきます。
※3 …… Windows NT 4.0はサポートしていません。
※4 …… Windows2000は2/4/6/9/16をサポートしています。
※5 …… Windows2000は1サイズのみサポートしています。
※6 …… Windows NT 4.0は35種類のみとなります。
※7 …… PPDは、機能制限があります。

周辺装置組み合わせリスト

下表のように、Ⓐ の列の周辺装置を装着するために、Ⓑの列の周辺装置の同時装着が必要であったり、また同時には装着できない組み合わせがあります。

Ⓐ ＼ Ⓑ	DSPF付スキャナユニット	SPF付スキャナユニット	スキャナラック	済スタンプユニット	多目的給紙トレイ	3段給紙デスク	大容量給紙デスク	手差しトレイ付き両面モジュール	両面モジュール	サドルフィニッシャー	フィニッシャー	メールビンスタッカ	排紙トレイ	上部排紙トレイ延長モジュール	パンチユニット	マルチファンクションコントローラー	プリント・サーバー・カード	PS3拡張キット	ネットワークスキャナ拡張キット	ファクス拡張キット	ハンドセット	ファクス用増設メモリー（8MB）	電源ユニット	ハードディスクドライブ
スキャナ関連																								
DSPF付スキャナユニット	ー	×	○		×	○※1										○							○	
SPF付スキャナユニット		ー	○		×	○※1										○							○	
スキャナラック	○※1		ー		×	○※1										○							○	
済スタンプユニット	○※1		○	ー	×	○※1										○				○			○	
給紙装置関連																								
多目的給紙トレイ	×	×	×	×	ー	×	×			×					×				×	×	×	×		
3段給紙デスク					×	ー	×																○	
大容量給紙デスク					×	×	ー																○	
手差しトレイ付き両面モジュール						○※1		ー		×					×								○※2	
両面モジュール						○※1			ー														○※2	
排紙装置																								
サドルフィニッシャー					×	○※1		×	○	ー	×		×										○	
フィニッシャー						○※1				×	ー	×			×								○	
メールビンスタッカ						○※1					×	ー											○	
排紙トレイ									○	×			ー		×									
上部排紙トレイ延長モジュール											×	×		ー										
パンチユニット					×	○※1		×	○	○	×		×		ー								○	
機能拡張関連、その他																								
PS3拡張キット																		ー						
ネットワークスキャナ拡張キット	○※1		○		×	○※1										○	○		ー				○	
ファクス拡張キット	○※1		○		×	○※1										○				ー			○	
ハンドセット	○※1		○		×	○※1										○				○	ー		○	
ファクス用増設メモリー（8MB）	○※1		○		×	○※1										○				○		ー	○	
電源ユニット																							ー	
ハードディスクドライブ																								ー
マルチファンクションコントローラー	○※1		○		×	○※1										ー							○	
プリント・サーバー・カード																	ー							

○＝装着が必要、○※1＝いずれかの装置の装着が必要、○※2＝3段給紙デスクまたは大容量給紙デスクを同時装着する場合に必要、×＝同時装着できない組み合わせ

注意通告ページについて

プリンタ機能として使用しているときに機能の制約などで指定された通りの印刷が行えない場合で、かつその原因が操作パネルに表示されないとき、指定された通りに印刷が行えない原因を記載した注意通告ページを印刷します。（注意通告ページが印刷されたときは、印刷された注意通告ページをよく読んで対処してください。）

次のような場合に注意通告ページを印刷します。

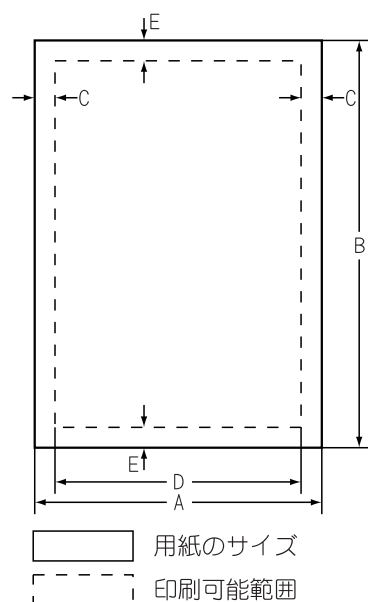
- 単一ジョブの印刷データが多くてメモリーに入りきらないとき。（印刷データは小さくてもコピージョブ、ファクスジョブ、その他のジョブがメモリーを占有しているときは、注意通告ページを印刷するケースは多くなります。）
- 100件のプリントホールドジョブが存在している状態で、更にプリントホールドジョブの印刷が行われたとき。
- 単一ジョブの中で用紙サイズの異なる印刷データが存在し、かつ指定された排紙先に出力できない用紙サイズが含まれているとき。（印刷された用紙が指定された排紙先と指定外の排紙先に別れて出力される場合）
- 両面モジュール使用禁止、ステープル使用禁止、パンチ使用禁止、指定された排紙先の使用禁止、などキーオペレータープログラムで使用の禁止が設定されている機能を指示されているとき。
- 部門管理カウンターが設定されているときに未登録の部門番号を使用されているとき。

注意通告ページを出さないようにするときは

キーオペレータープログラムで注意通告ページを印刷しないように設定できます。「注意通告ページ出力禁止」（6-11ページ）

8

印刷範囲

本機の印刷範囲は、以下の通りです。

- Windows 用やMacintosh 用のプリンタドライバを使って印刷する場合は、ここに記載している印刷可能範囲は小さくなります。また、実際の印刷可能範囲は、使用するプリンタドライバの種類によっても、変わります。

用紙サイズ	A	B	C	D	E
A3	297	420	4	289	4
B4	257	364	4	242	4
A4	210	297	4	202	4
B5	182	257	4	168	4
A5	148	210	4	140	4
官製葉書	100	148	4	92	4
Wレター	279	432	4	271	4
リーガル	216	356	4	208	4
Foolscap	216	330	4	208	4
レター	216	279	4	208	4
Executive	184	267	4	183	4
インボイス	140	216	4	132	4
Com-10(封筒)	105	241	4	97	4
C5(封筒)	162	229	4	154	4
Monarch(封筒)	98	191	4	90	4
DL(封筒)	110	220	4	102	4
ISO B5(封筒)	176	250	4	168	4

SPDL2シンボルセット

数値	選択項目
1	Roman-8
2	ISO 8859-1 Latin 1
3	PC-8
4	PC-8 Danish/Norwegian
5	PC-850
6	ISO 6 ASCII
7	Legal
8	ISO 21 German
9	ISO 17 Spanish
10	ISO 69 French
11	ISO 15 Italian
12	ISO 60 Norwegian v1
13	ISO 4 United Kingdom
14	ISO 11 Swedish : names
15	PC1004 (OS/2)
16	DeskTop
17	PS Text
18	Microsoft Publishing
19	Math-8
20	PS Math

数値	選択項目
21	Pi Font
22	ISO 8859-2 Latin 2
23	ISO 8859-9 Latin 5
24	ISO 8859-10 Latin 6
25	PC-852
26	PC-775
27	PC Turkish
28	MC Text
29	Windows 3.1 Latin 1
30	Windows 3.1 Latin 2
31	Windows 3.1 Latin 5
32	Windows Baltic (not 3.1)
33	Windows 3.0 Latin 1
34	Symbol
35	Wingdings

- 記述されているすべてのシンボルセット、会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

キーオペレーターコード番号について

※ このページは切りとって、本機のキーオペレーターの方が必ず保管してください。

工場出荷時のキーオペレーターコード番号（5桁の暗証番号）は“00000”です。

本機のキーオペレーターの方は、6-3または6-6ページに記載している手順に従って、すみやかにこの番号から希望の暗証番号に登録し直してください。
また、登録した番号を必ず覚えておいてください。

8

お客様へ…お買いあげ年月日、お買いあげ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ年月日	年　　月　　日
お買いあげ店名	
	電話番号

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話　(06) 6621-1221 (大代表)

ドキュメントシステム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
電話　(0743) 53-5521 (大代表)

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは取扱説明書内に記載の“お客様ご相談窓口”へお問い合わせください。

01C　KS1
TINSJ2056FCZZ